

令和5年度
市民の生活状況に関する調査
～社会参加に問題を抱える方への支援に向けて～

結果報告書

令和6年3月
横手市

目次

序章 はじめに	1
第1章 調査の概要	2
第2章 調査結果	3
1 ひきこもり当事者の属性	3
2 ひきこもり当事者の特徴	7
3 ひきこもり当事者本人の声	13
4 ひきこもり当事者を抱える家族の声	40
5 ひきこもり当事者における回答内容の比較（本人とその家族の考え方）	58
6 調査結果を踏まえた考察	59
第3章 資料編	60
1 アンケート調査全体の回答内容	60
2 本報告書に関する留意点(結果報告書を見る上での留意点)	70
3 調査票	71

序章 はじめに

近年、ひきこもりの長期化、8050世帯や介護と育児のダブルケアなどが進む中、内閣府が2022年度に実施した「こども・若者の意識と生活に関する調査」によると、ひきこもり状態にある人は、15～39歳で2.05%、40～64歳で2.02%おり、全国の数字にあてはめて推計146万人に上ることがわかりました。

ひきこもりになった主な理由の1つとして、およそ5人に1人が「新型コロナウイルスの流行」をあげ、コロナ禍での社会環境の変化が背景にあることをうかがわせる結果となりました。ひきこもりについては、社会的自立に至っているかどうかに着目し「趣味の用事のときだけ外出する」「近所のコンビニ等には出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」のいずれかを選択した人のうち、現在の状態となって6か月以上かつ病気等を理由としないう者を「広義のひきこもり」と定義し、同一の定義を一律にあてはめた結果であるため、実際には引きこもり状態にない者が含まれている可能性や引きこもり状態にある者が除かれている可能性があるといわれています。

本市においては、ひきこもりで悩んでいる方を特定し、支援策に反映するとともに、より多くの方を個別支援につなげることを目的に約2万2千世帯を対象に「令和5年度 市民の生活状況に関する調査 ～社会参加に問題を抱える方への支援に向けて～」というアンケート調査を実施しました。

その結果、約1万世帯から回答があり、有効回答率は、45.3%にのぼり、多くの方のご協力により、ひきこもり当事者を把握することができました。

本調査で得られた情報を支援策に反映し、より多くのひきこもり当事者と家族を支援につなげ、誰もが安心して地域で暮らせるように取り組んでまいります。

この調査の実施に際し、ご自身の状況をお伝えしていただいた当事者、家族の皆様等、多くの方にご協力いただき誠にありがとうございました。

～ひきこもり当事者について～

本調査では「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」で、15歳（中学校卒業後）から64歳までの方を対象としています。

第1章 調査の概要

①調査名

令和5年度市民の生活状況に関する調査

②調査対象

横手市の15歳から64歳の方が属する全ての世帯を対象

③調査基準日

令和6年2月1日(木)

④調査対象世帯数

21,894世帯

⑤調査方法

郵送調査とWEB調査についてどちらか一方を選択

⑥調査期間

令和6年2月9日(金)～3月5日(火)

⑦回答数

総回答数 10,162世帯

うち、郵送回答 7,919世帯(うち無効回答208世帯)

WEB回答 2,243世帯(うち無効回答29世帯)

総回答率 46.4%

有効回答 9,925世帯

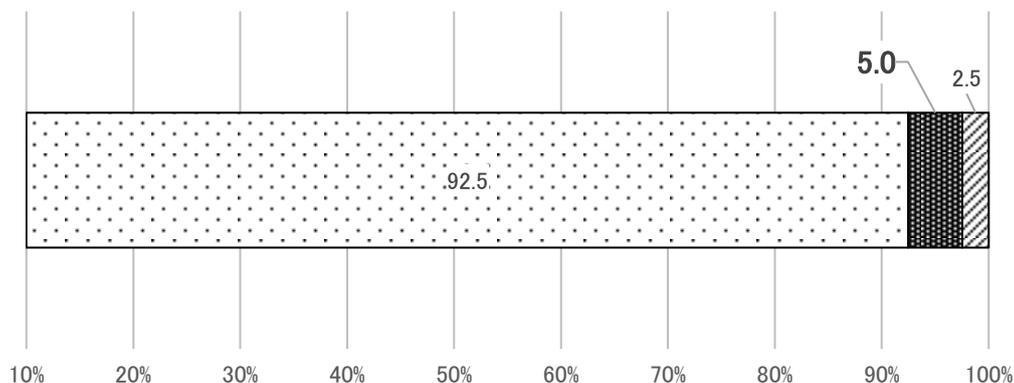
うち、郵送回答 7,711世帯

WEB回答 2,214世帯

有効回答率 45.3%

⑧ひきこもり当事者の条件に当てはまる世帯数及びその割合

ひきこもり当事者の条件に当てはまる世帯 500世帯 **5.0% (9,925世帯/500世帯)**



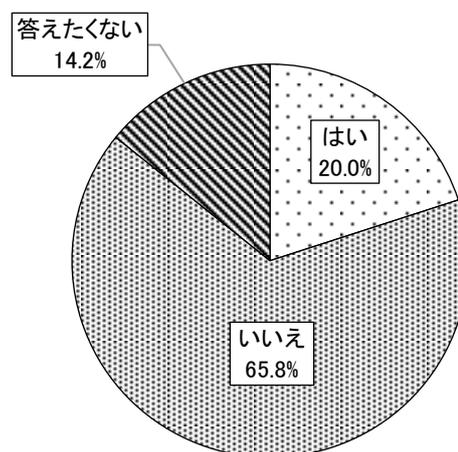
□ いない ■ いる ▨ 答えたくない

第2章 調査結果

1 ひきこもり当事者の属性

ひきこもり当事者の条件に当てはまると回答した方（500世帯）で、回答した方はご本人かの質問に対して、「はい（本人）」と答えた人の割合は20%（100名）、「いいえ（本人以外）」は65.8%（329名）、「答えたくない」は14.2%（71名）であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	はい	100	20.0
2	いいえ	329	65.8
3	答えたくない	71	14.2
	無回答	0	-
	合計	500	100.0

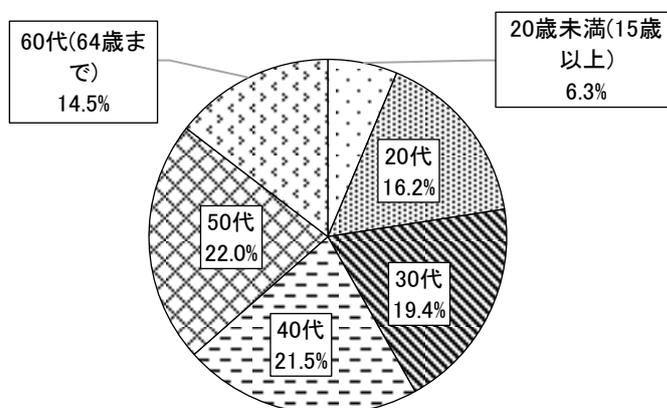


総数: 500

①年齢

ひきこもりの方の22.0%が50代で最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	20歳未満(15歳以上)	26	6.3
2	20代	67	16.2
3	30代	80	19.4
4	40代	89	21.5
5	50代	91	22.0
6	60代(64歳まで)	60	14.5
	無回答	87	-
	回答者数	413	100.0

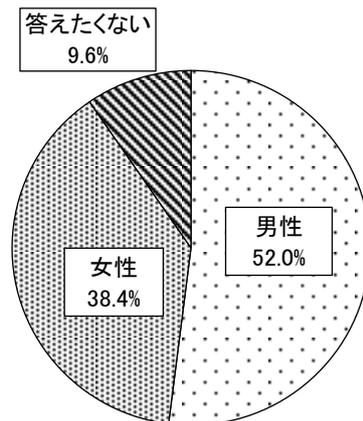


総数: 413

②性別

ひきこもりの52.0%が男性であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	男性	260	52.0
2	女性	192	38.4
3	答えたくない	48	9.6
	無回答	0	-
	回答者数	500	100.0

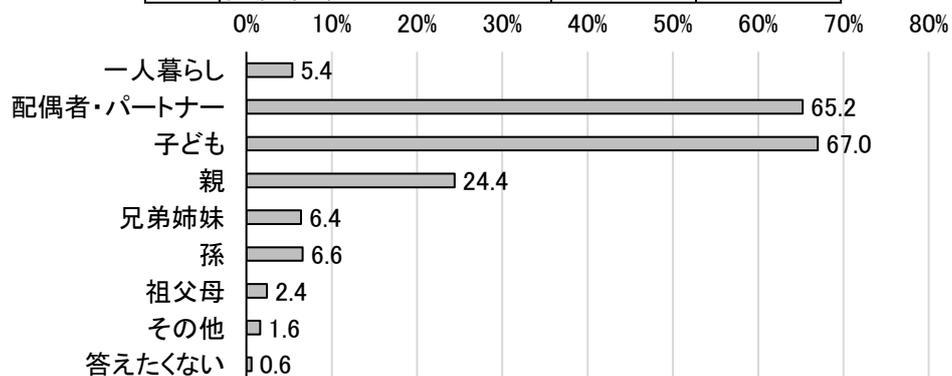


総数:500

③同居の続柄

ひきこもりの6割以上が「配偶者・パートナー」や「子ども」と暮らしている。

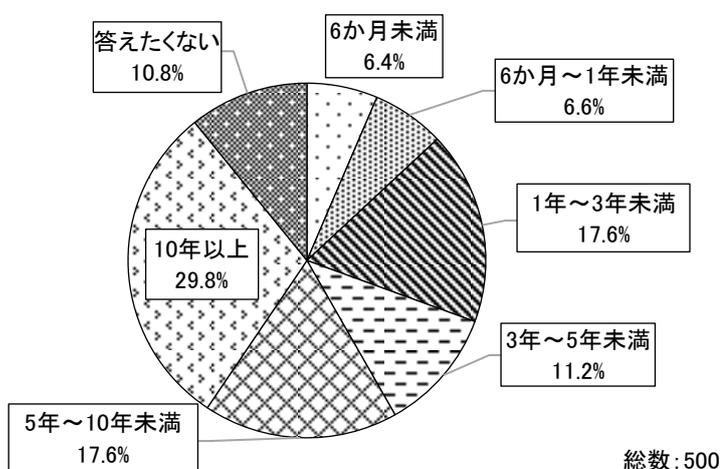
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	一人暮らし	27	5.4
2	配偶者・パートナー	326	65.2
3	子ども	335	67.0
4	親	122	24.4
5	兄弟姉妹	32	6.4
6	孫	33	6.6
7	祖父母	12	2.4
8	その他	8	1.6
9	答えたくない	3	0.6
	無回答	0	-
	回答者数	500	-



④ひきこもり期間

ひきこもり状態になってからの期間が一番多いのは10年以上で29.8%であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	6か月未満	32	6.4
2	6か月～1年未満	33	6.6
3	1年～3年未満	88	17.6
4	3年～5年未満	56	11.2
5	5年～10年未満	88	17.6
6	10年以上	149	29.8
7	答えたくない	54	10.8
	無回答	0	-
	回答者数	500	100.0

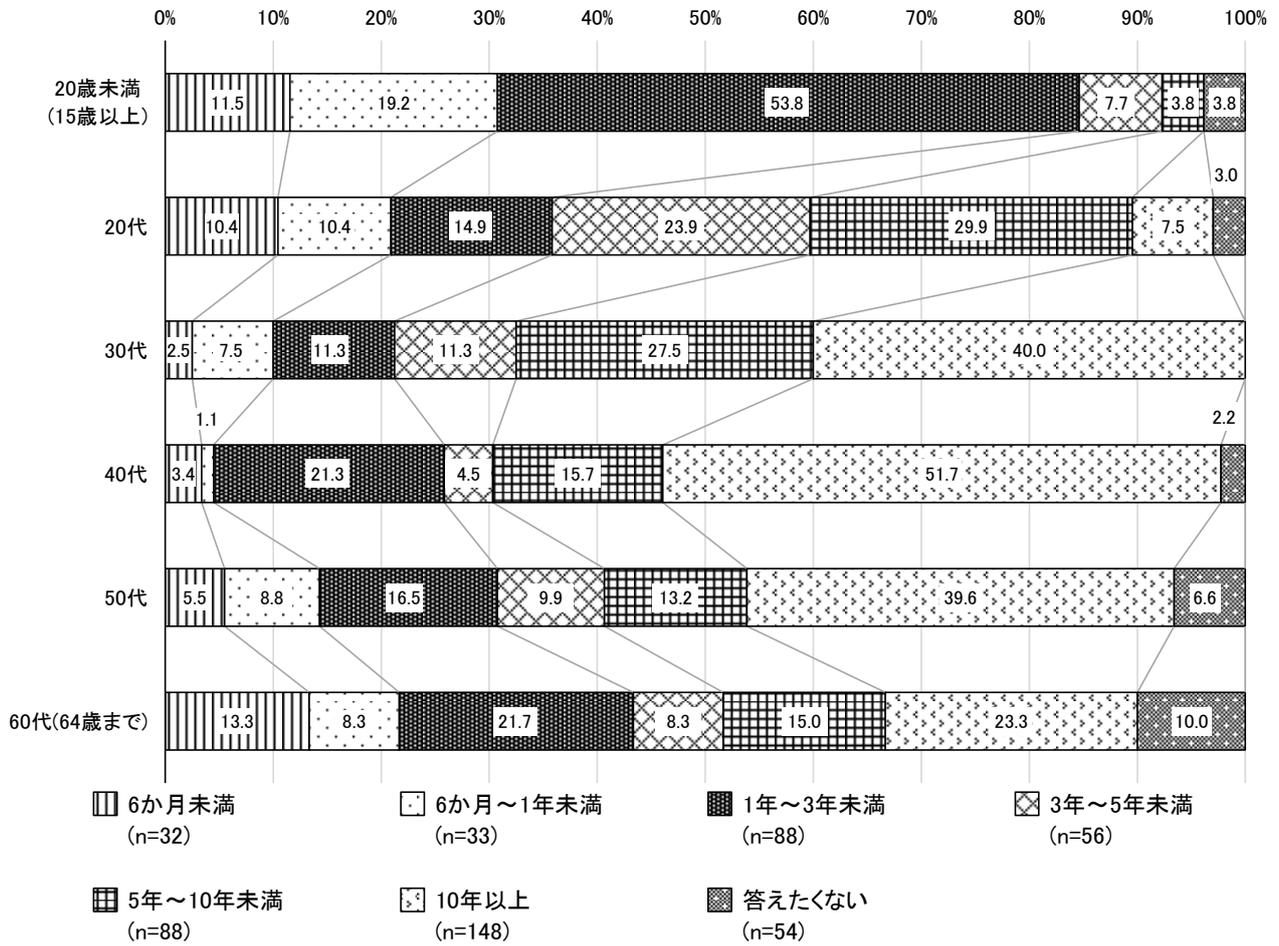


⑤ひきこもり期間と年齢の関係

20歳未満（15歳以上）、は「1年～3年未満」の割合が最も多い。

20歳代は「5年～10年未満」の割合が最も多い。

30歳代、40歳代、50歳代、60歳代（64歳まで）は「10年以上」の割合が最も多い。

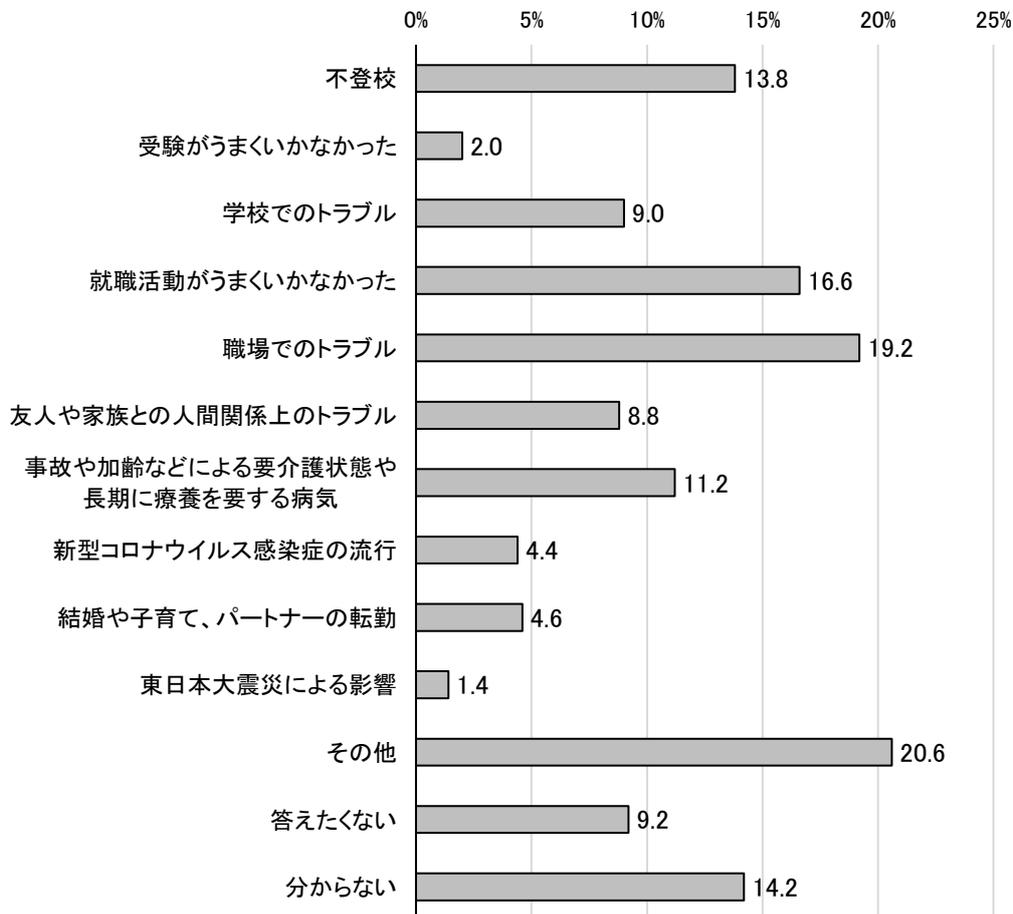


2 ひきこもり当事者の特徴

①ひきこもりの状況になったきっかけ

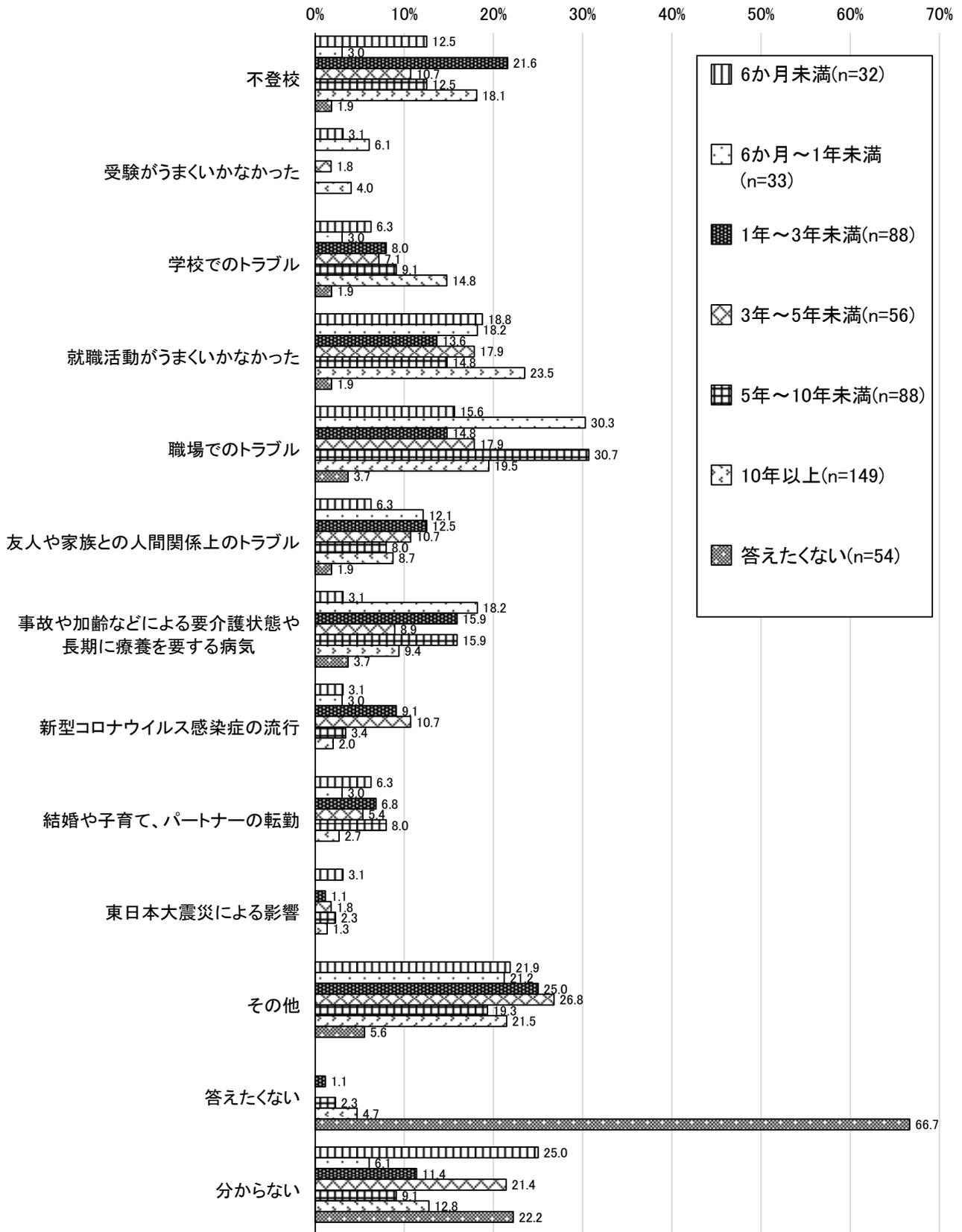
「その他」と回答した割合が最も多く 20.6%であり、主な理由として「退職」や「精神疾患」などの回答が見られた。次いで「職場でのトラブル」が 19.2%であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	不登校	69	13.8
2	受験がうまくいかなかった	10	2.0
3	学校でのトラブル	45	9.0
4	就職活動がうまくいかなかった	83	16.6
5	職場でのトラブル	96	19.2
6	友人や家族との人間関係上のトラブル	44	8.8
7	事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気	56	11.2
8	新型コロナウイルス感染症の流行	22	4.4
9	結婚や子育て、パートナーの転勤	23	4.6
10	東日本大震災による影響	7	1.4
11	その他	103	20.6
12	答えたくない	46	9.2
13	分からない	71	14.2
	無回答	0	-
	回答者数	500	-



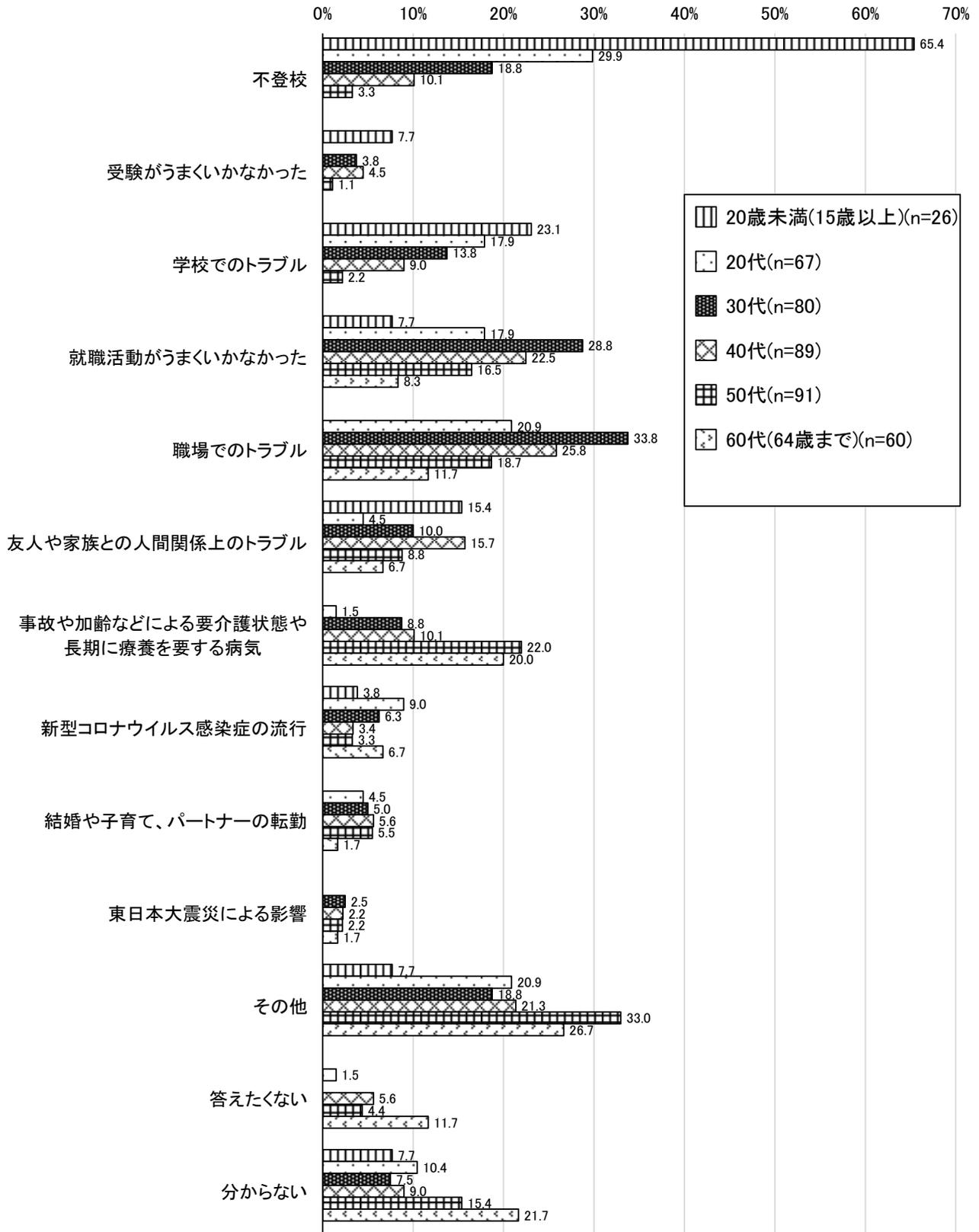
(1) 「きっかけ」と「期間」の関係

ひきこもり期間「5年～10年未満」の方が「職場でのトラブル」がきっかけと回答した割合が30.7%と最も多い。



(2) 「きっかけ」と「年齢」の関係

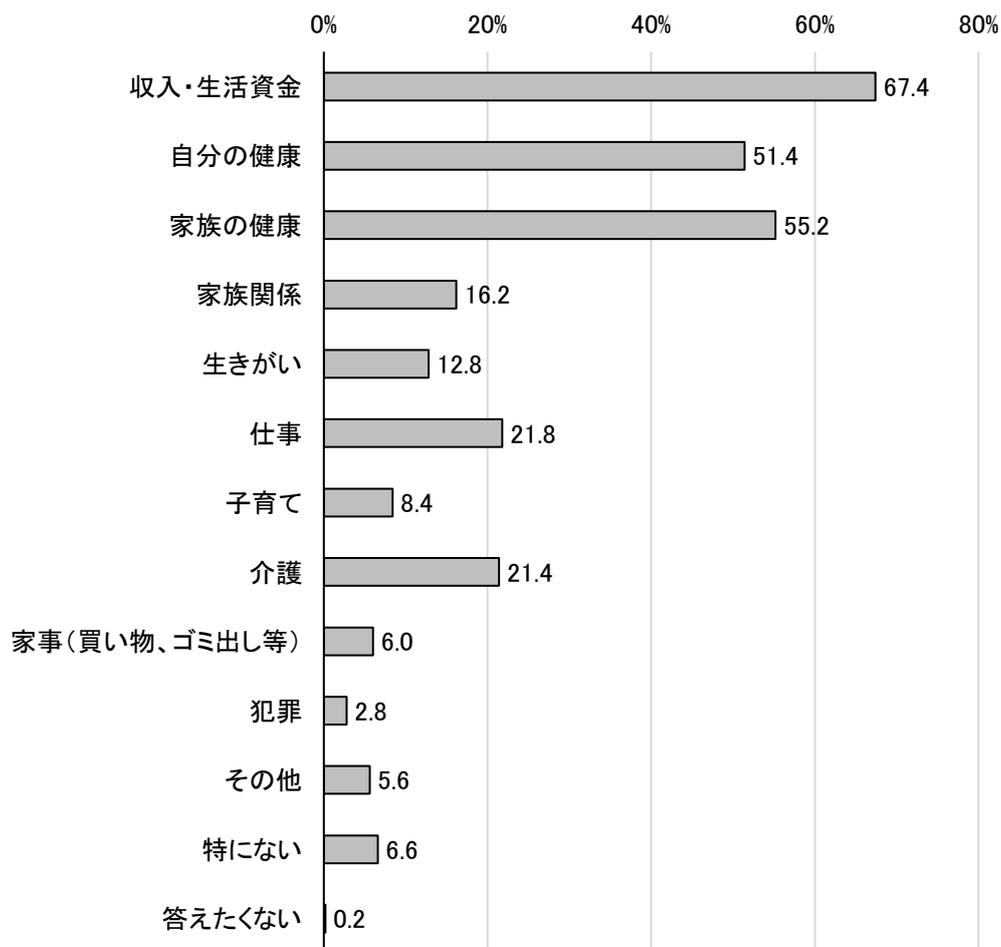
年齢「20歳未満（15歳以上）」の方が「不登校」がきっかけと回答した割合が65.4%と最も多い。



②日常生活において不安に思っていること

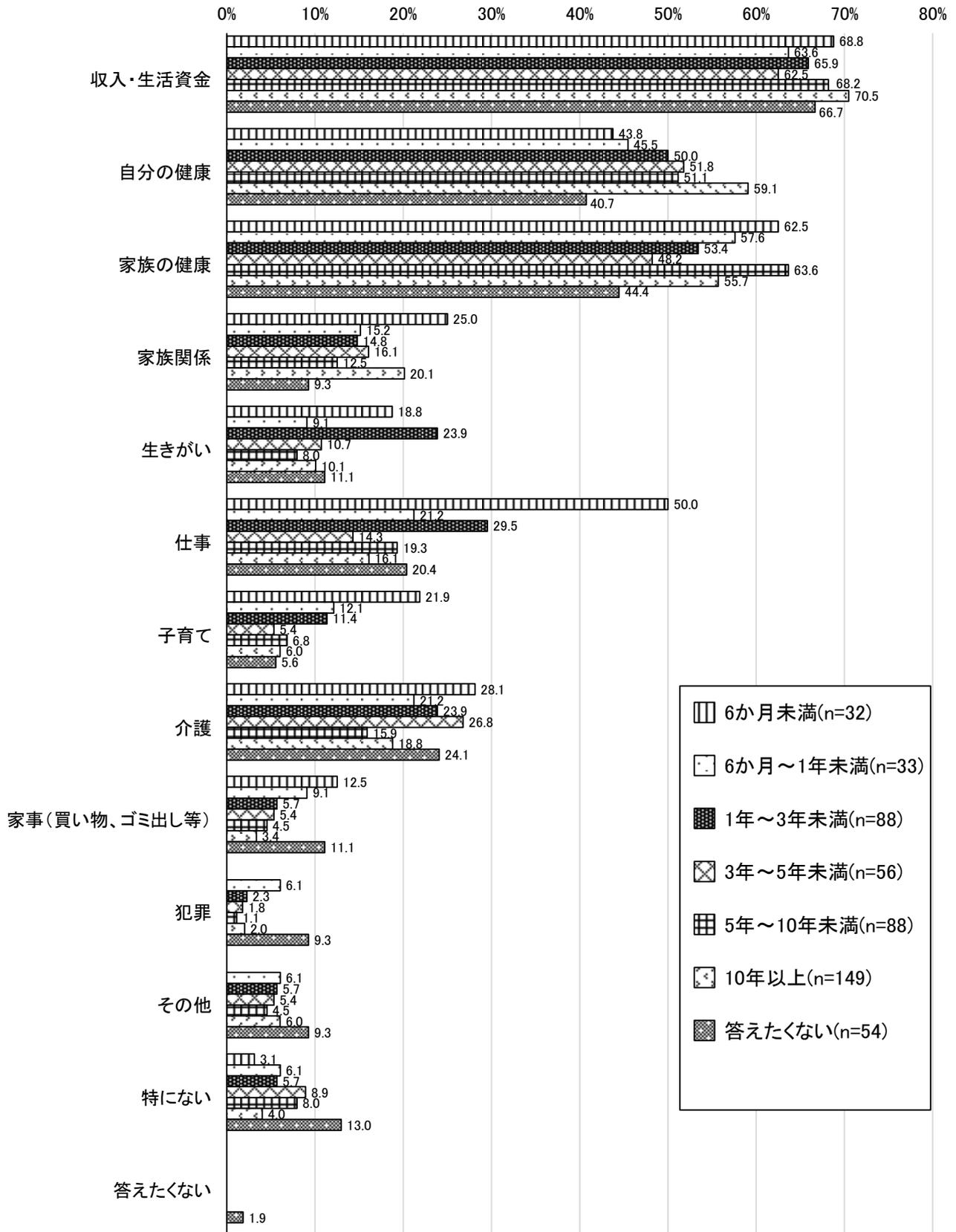
「収入・生活資金」と回答した割合が67.4%と最も多い。次いで「家族の健康」が55.2%であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	収入・生活資金	337	67.4
2	自分の健康	257	51.4
3	家族の健康	276	55.2
4	家族関係	81	16.2
5	生きがい	64	12.8
6	仕事	109	21.8
7	子育て	42	8.4
8	介護	107	21.4
9	家事(買い物、ゴミ出し等)	30	6.0
10	犯罪	14	2.8
11	その他	28	5.6
12	特にない	33	6.6
13	答えたくない	1	0.2
	無回答	0	-
	回答者数	500	-



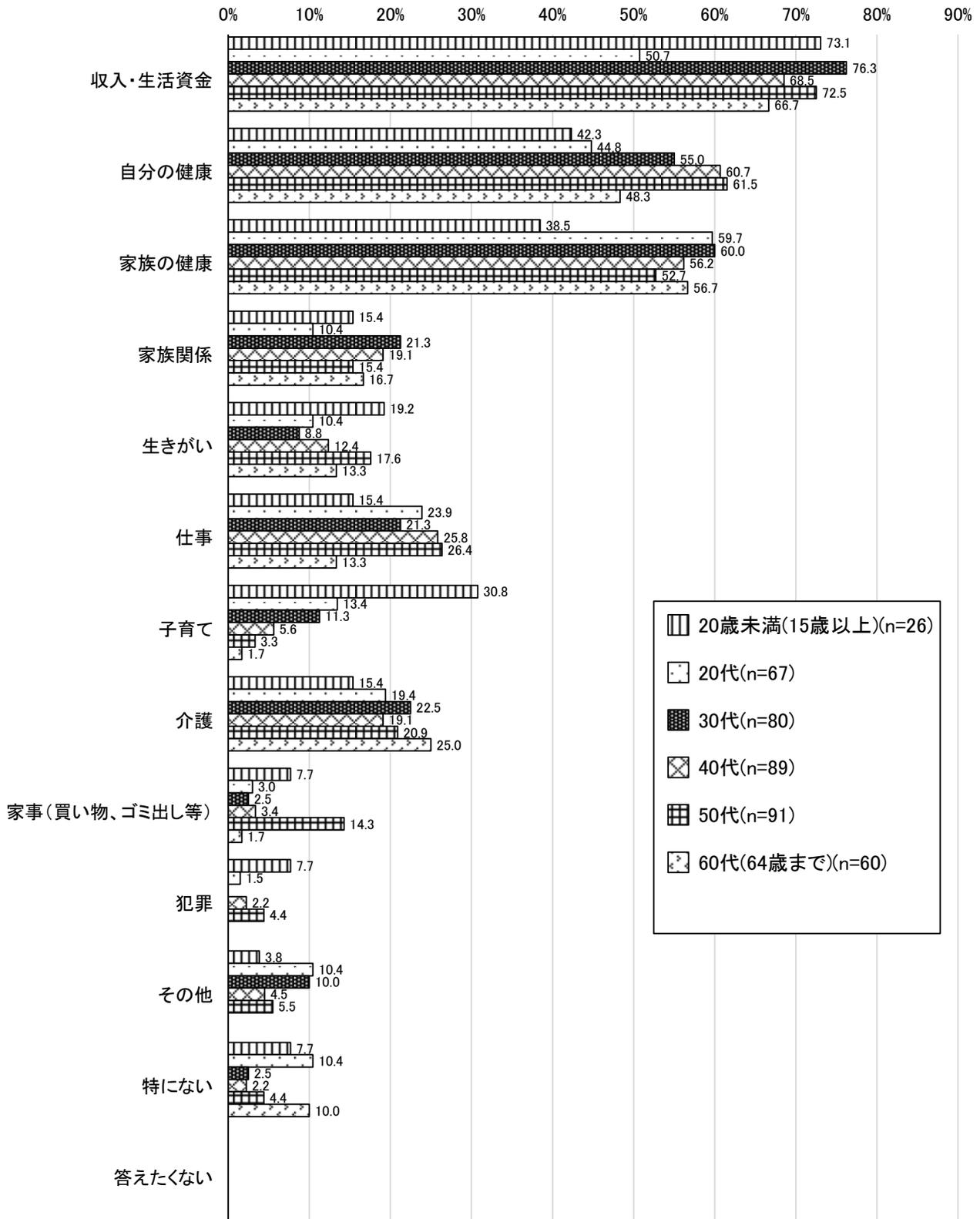
(1) 「不安に思っていること」と「期間」の関係

ひきこもり期間「10年以上」の方が「収入・生活資金」を不安に思っていると回答した割合が70.5%と最も多い。



(2) 「不安に思っていること」と「年齢」の関係

年齢「30歳代」の方が「収入・生活資金」を不安に思っていると回答した割合が76.3%と最も多い。



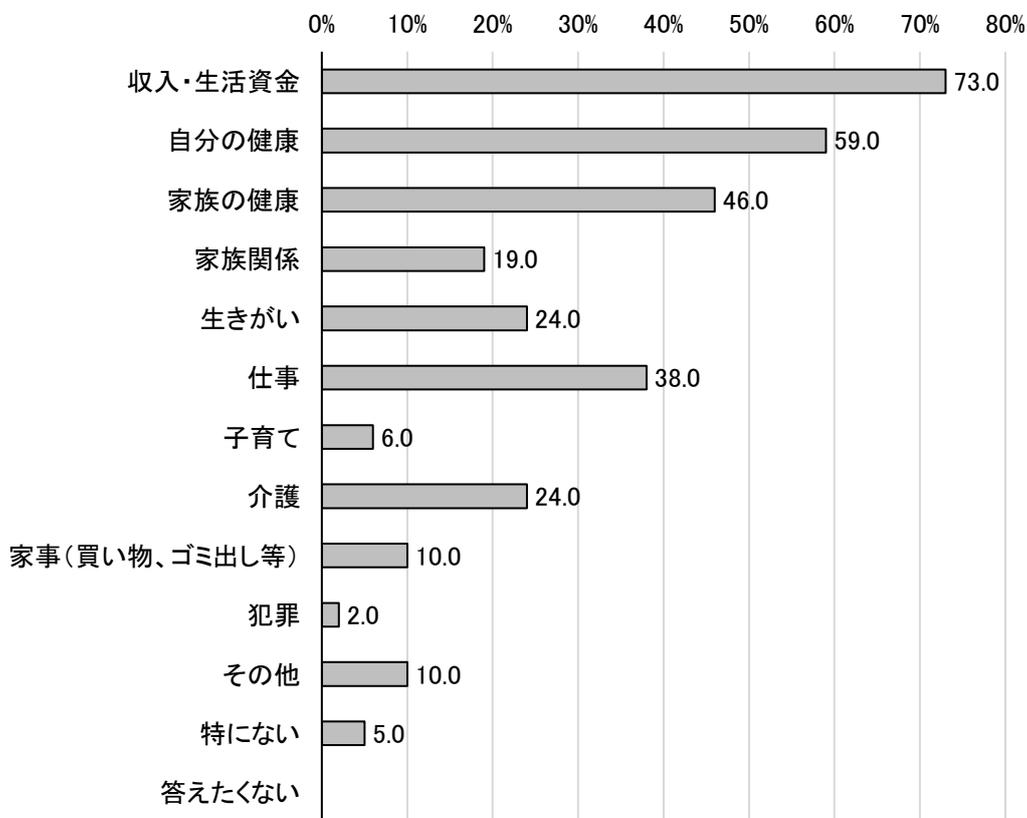
3 ひきこもり当事者本人の声

本調査において回答者がひきこもり当事者本人（100名）の回答内容を以下にまとめた。

①日常生活の不安

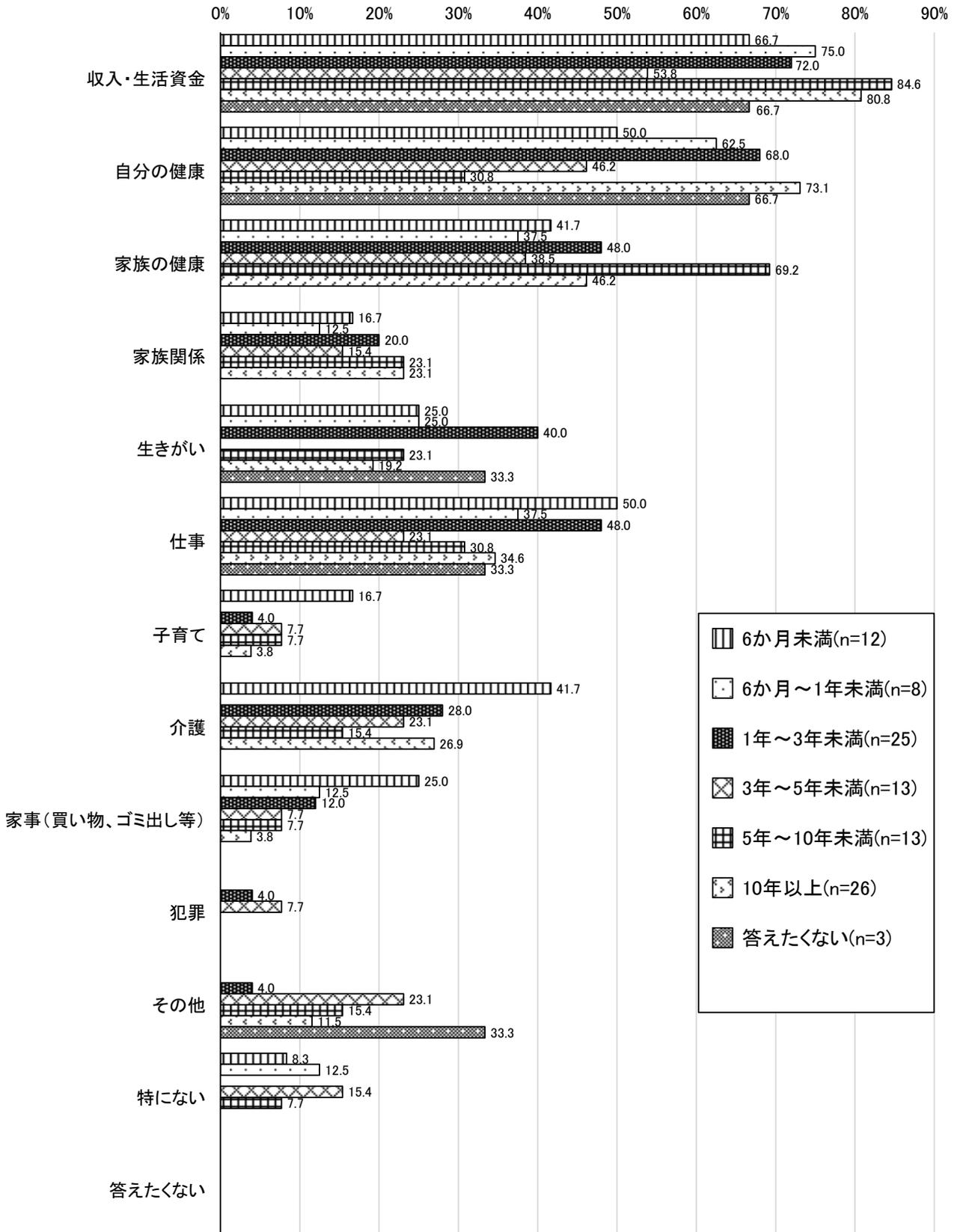
「収入・生活資金」と回答した割合が73.0%と最も多く、次いで「自分の健康」であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	収入・生活資金	73	73.0
2	自分の健康	59	59.0
3	家族の健康	46	46.0
4	家族関係	19	19.0
5	生きがい	24	24.0
6	仕事	38	38.0
7	子育て	6	6.0
8	介護	24	24.0
9	家事(買い物、ゴミ出し等)	10	10.0
10	犯罪	2	2.0
11	その他	10	10.0
12	特にない	5	5.0
13	答えたくない	0	0.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



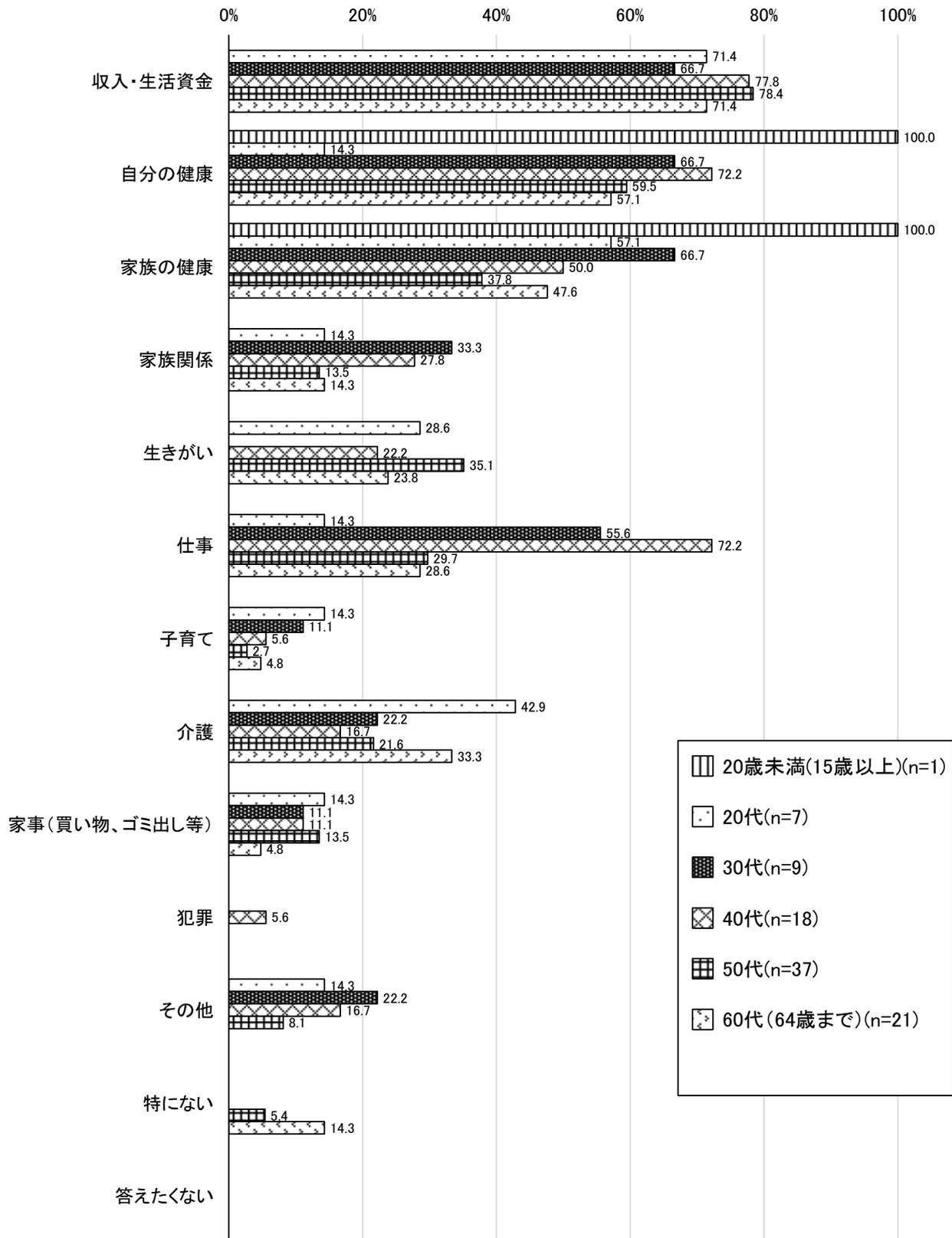
(1) 「日常生活の不安」と「期間」の関係

ひきこもり期間「5年～10年未満」の方が「収入・生活資金」を不安に思っていると回答した割合が84.6%と最も多い



(2) 「日常生活の不安」と「年齢」の関係

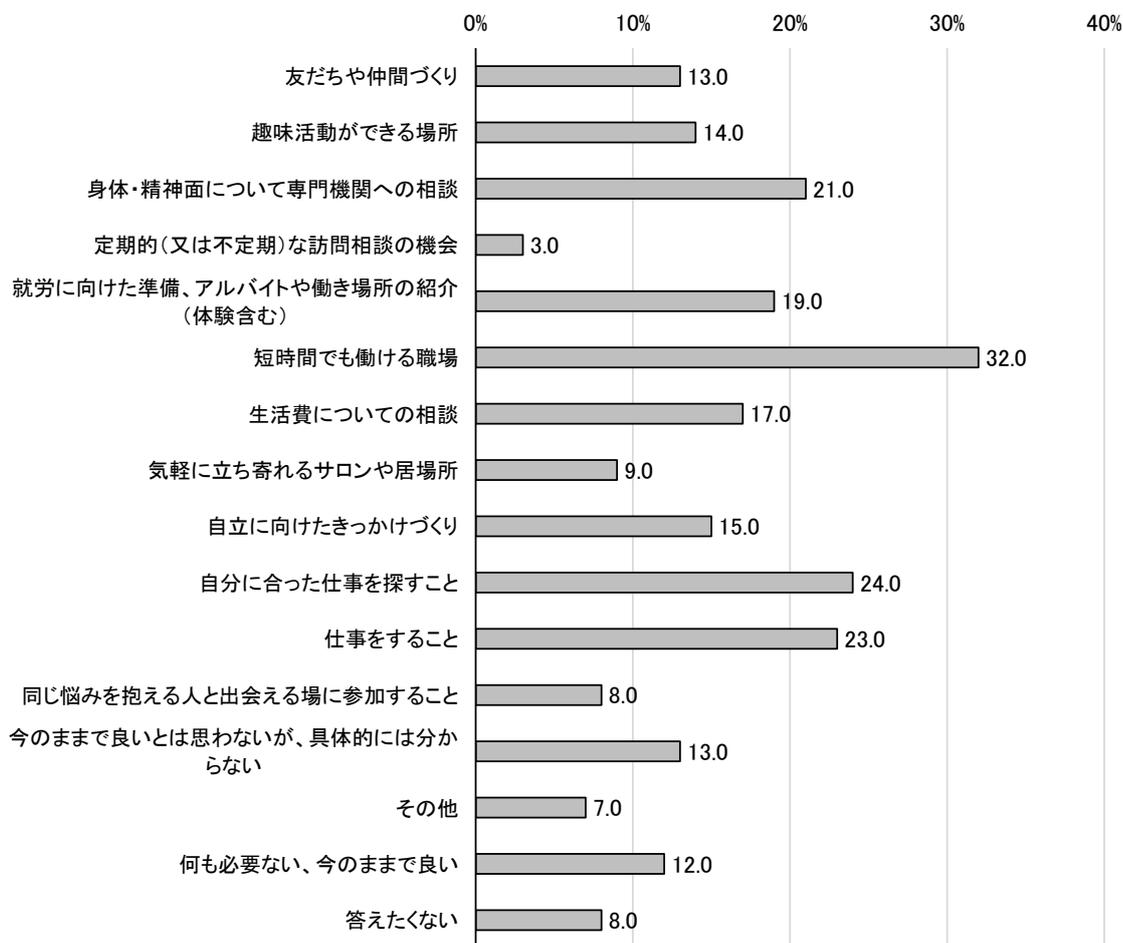
年齢「50歳代」の方が「収入・生活資金」を不安に思っていると回答した割合が78.4%と最も多い。(20歳代未満の回答を除く)



②必要と思われるもの

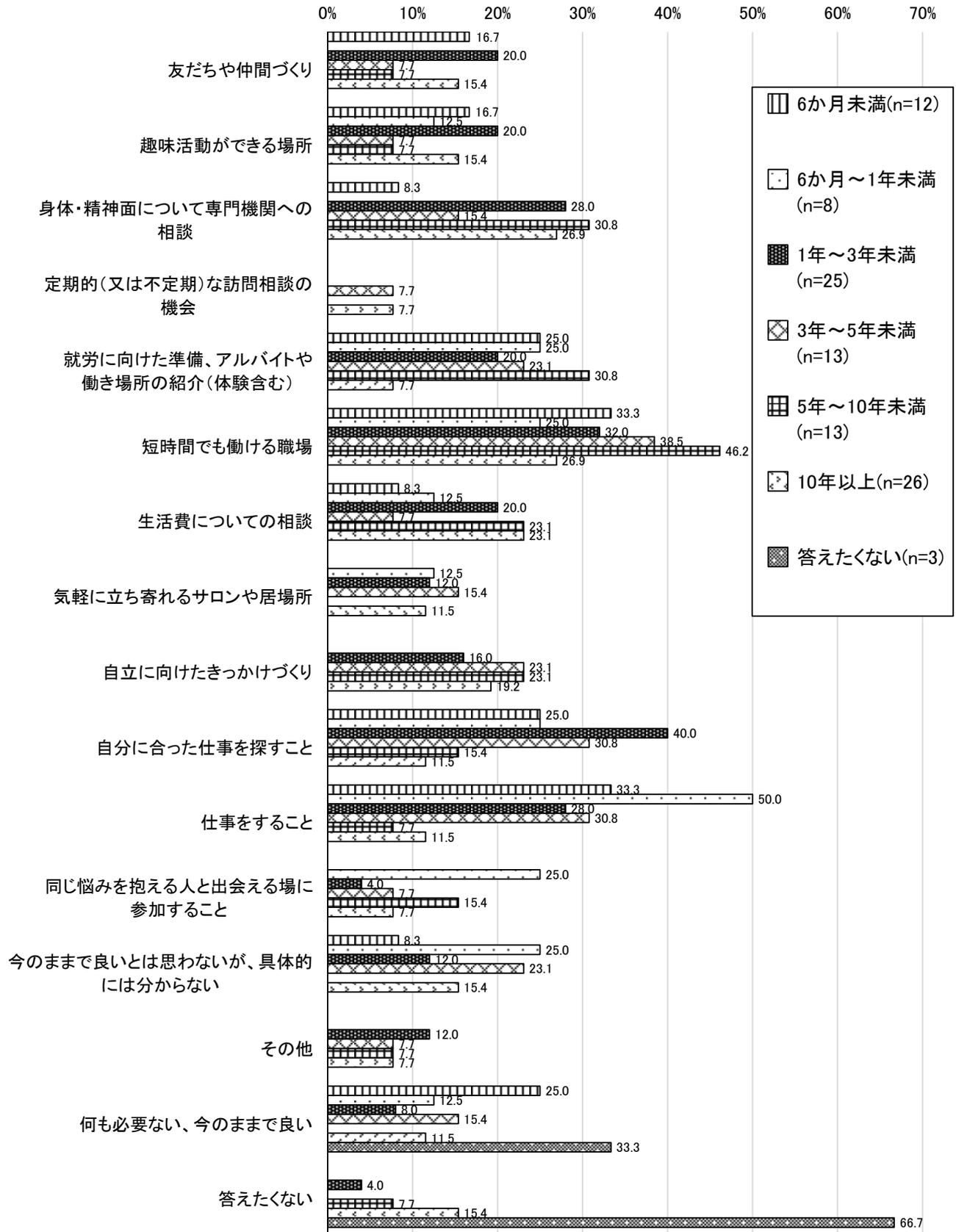
「短期間でも働ける職場」と回答した割合が32.0%と最も多く、次いで「自分に合った仕事を探すこと」であった。

No.	カテゴリ名	回答数	割合(%)
1	友だちや仲間づくり	13	13.0
2	趣味活動ができる場所	14	14.0
3	身体・精神面について専門機関への相談	21	21.0
4	定期的(又は不定期)な訪問相談の機会	3	3.0
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介(体験含む)	19	19.0
6	短時間でも働ける職場	32	32.0
7	生活費についての相談	17	17.0
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	9	9.0
9	自立に向けたきっかけづくり	15	15.0
10	自分に合った仕事を探すこと	24	24.0
11	仕事をする事	23	23.0
12	同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること	8	8.0
13	今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない	13	13.0
14	その他	7	7.0
15	何も必要ない、今のままで良い	12	12.0
16	答えたくない	8	8.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



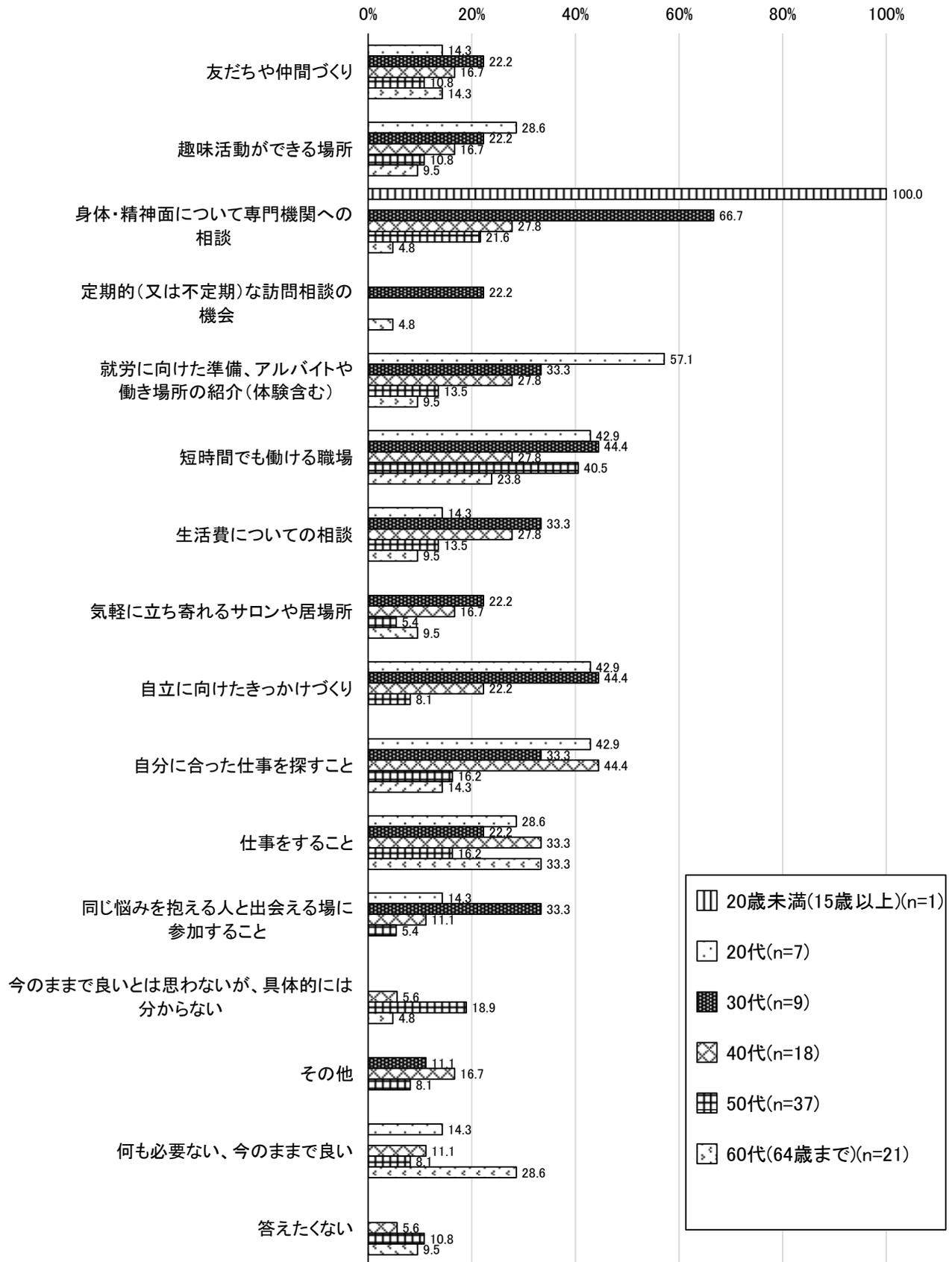
(1) 「必要と思われるもの」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「仕事をする事」が必要と思われると回答した割合が50.0%と最も多い。（「答えたくない」の回答を除く）



(2) 「必要と思われるもの」と「年齢」の関係

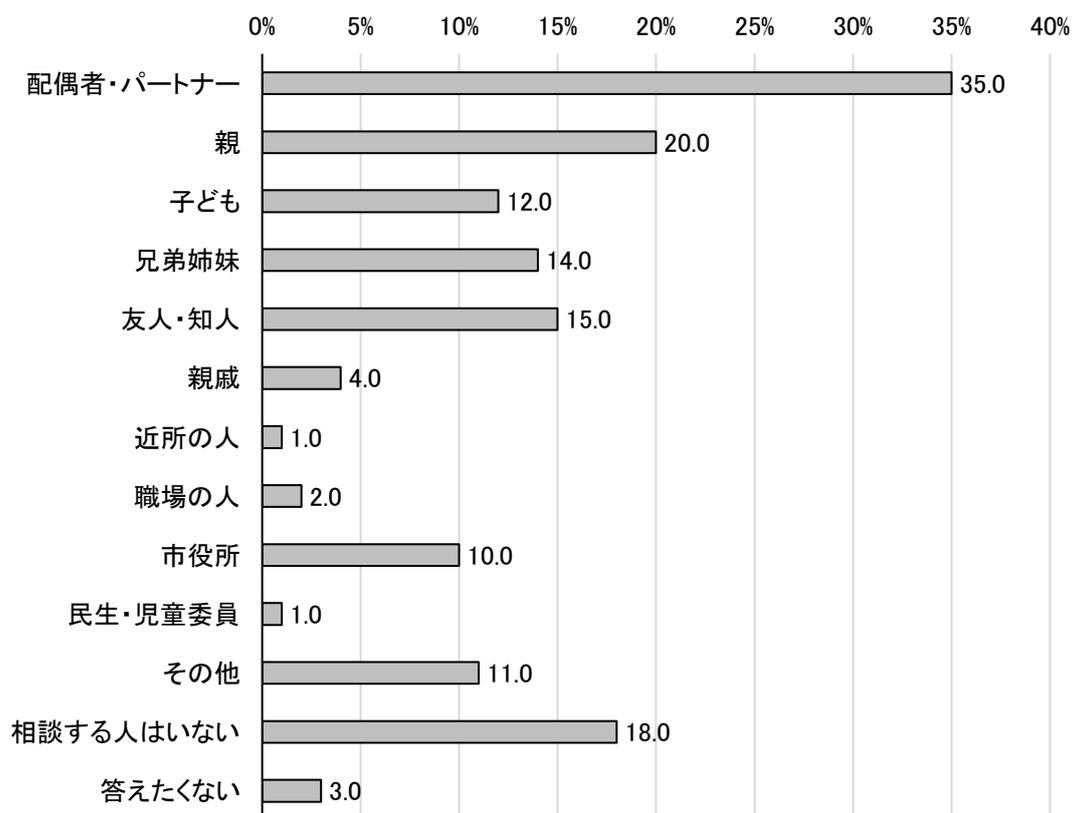
年齢「30歳代」の方が「身体・精神面について専門機関への相談」が必要と思われると回答した割合が66.7%と最も多い。(20歳未満の回答を除く)



③相談相手

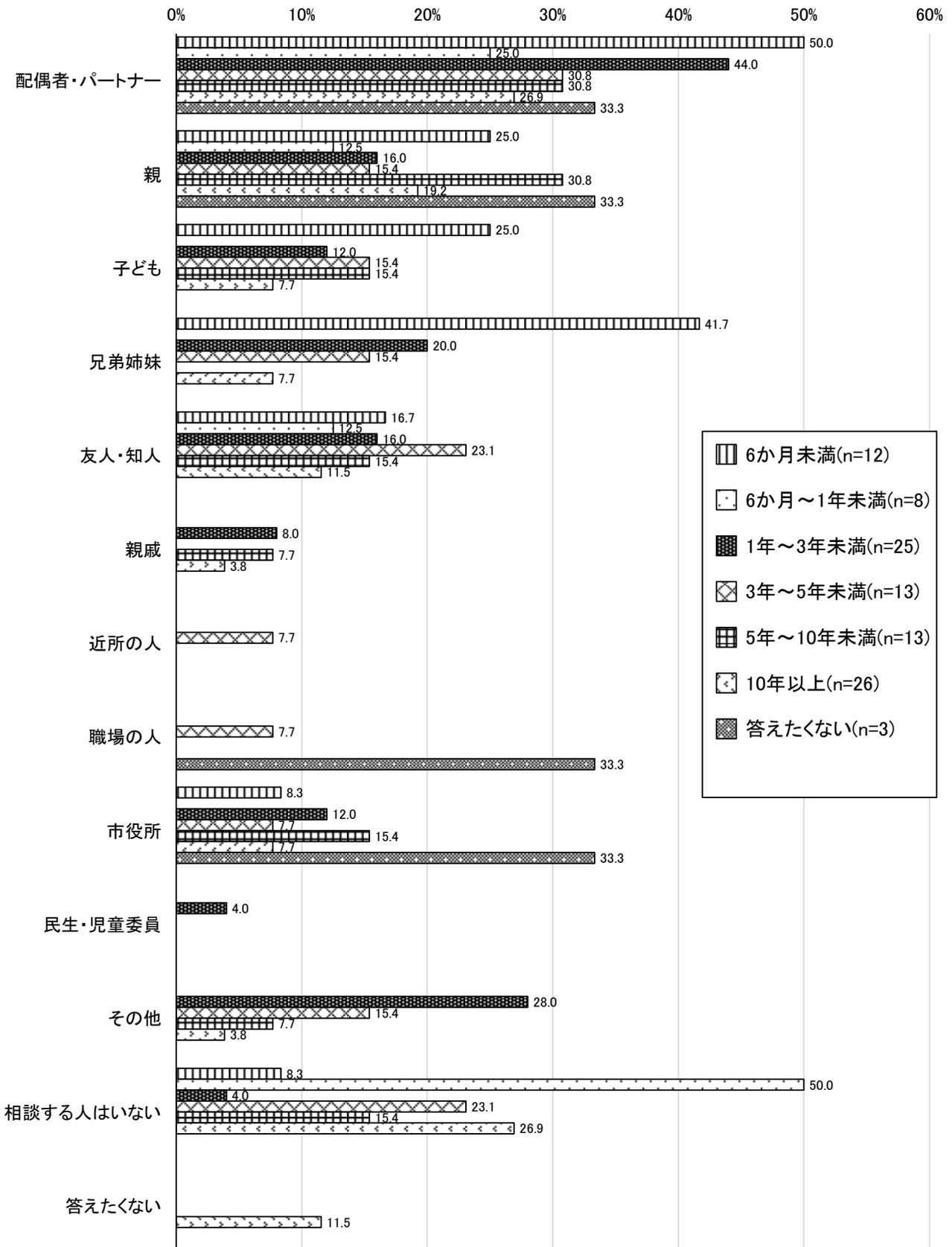
悩みなどの相談相手として「配偶者・パートナー」と回答した割合が35.0%と最も多い。次いで「親」であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合
1	配偶者・パートナー	35	35.0
2	親	20	20.0
3	子ども	12	12.0
4	兄弟姉妹	14	14.0
5	友人・知人	15	15.0
6	親戚	4	4.0
7	近所の人	1	1.0
8	職場の人	2	2.0
9	市役所	10	10.0
10	民生・児童委員	1	1.0
11	その他	11	11.0
12	相談する人はいない	18	18.0
13	答えたくない	3	3.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



(1) 「相談相手」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月未満」の方が「配偶者・パートナー」が相談相手と回答した割合が50.0%と最も多い。同じくひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「相談する相手はいない」と回答した割合が50.0%であった。



(2) 「相談相手」と「年齢」の関係

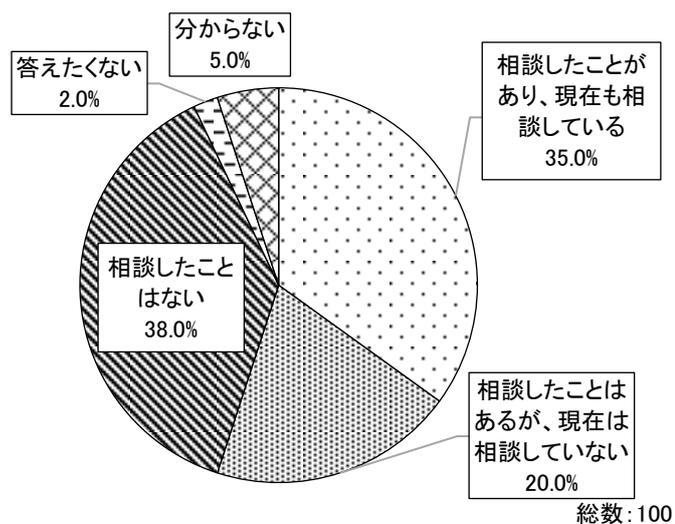
年齢「20歳代」の方が「配偶者・パートナー」が相談相手と回答した割合が71.4%と最も多い。(20歳未満の回答を除く)



④専門機関等への相談状況について

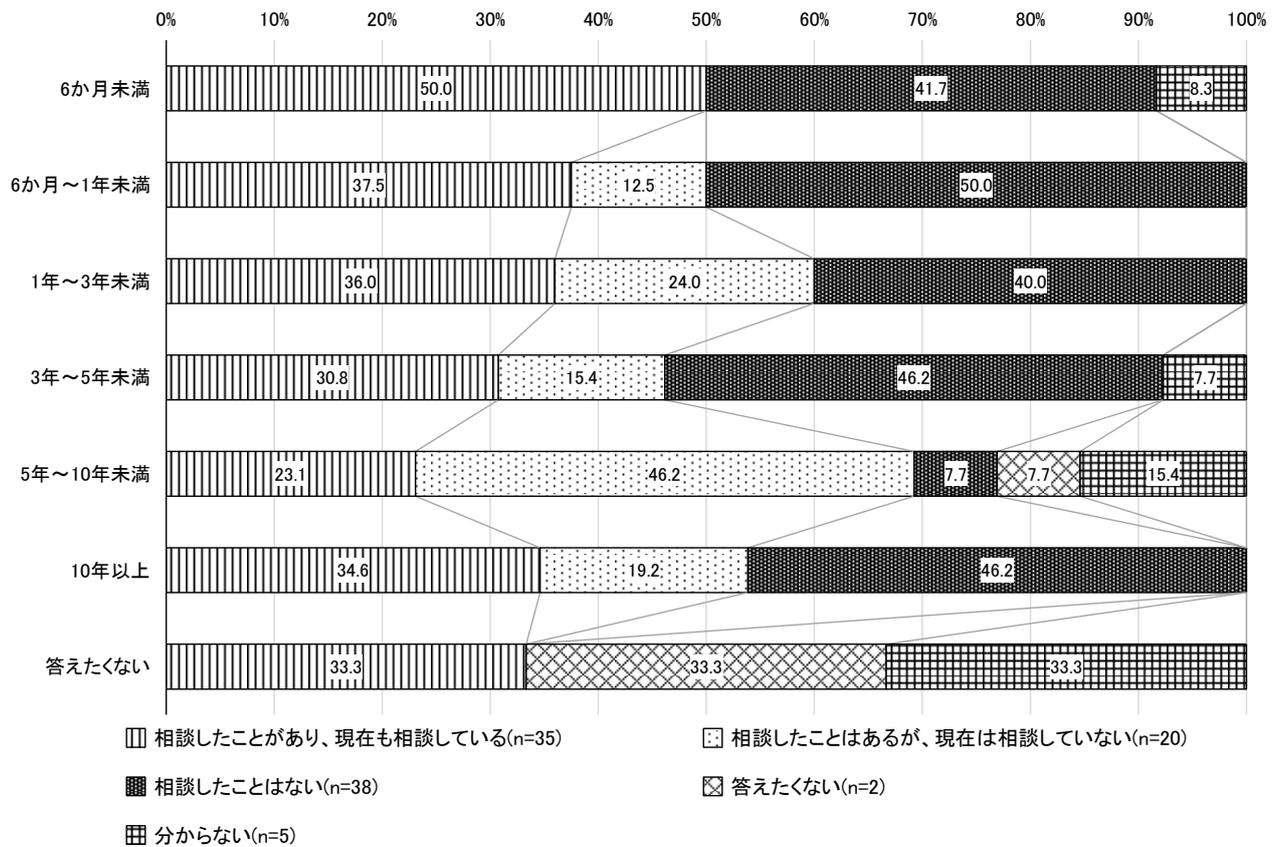
「相談したことはない」と回答した割合が38.0%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	相談したことがあり、現在も相談している	35	35.0
2	相談したことはあるが、現在は相談していない	20	20.0
3	相談したことはない	38	38.0
4	答えたくない	2	2.0
5	分からない	5	5.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	100.0



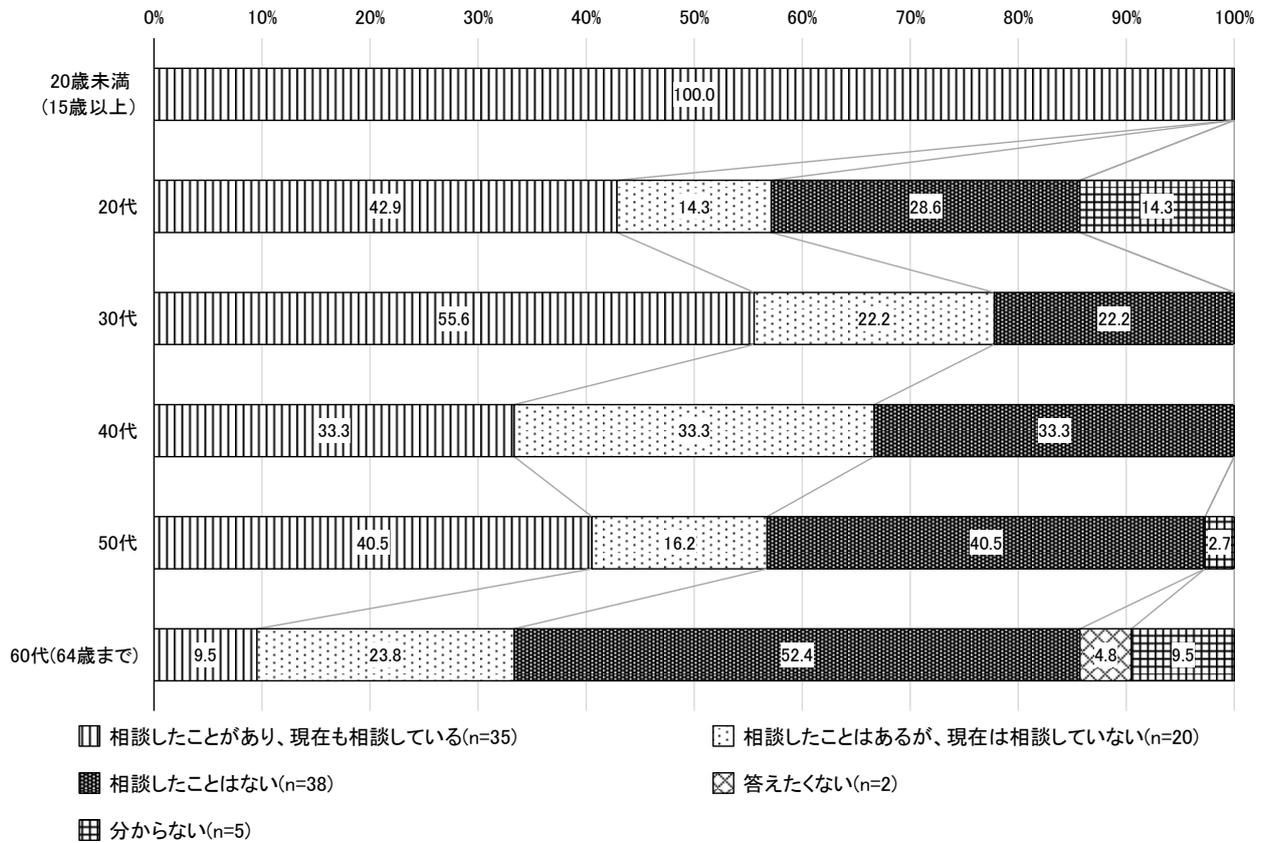
(1) 「専門機関等への相談状況」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「相談したことはない」と回答した割合が50.0%と最も多い。



(2) 「相談状況」と「年齢」の関係

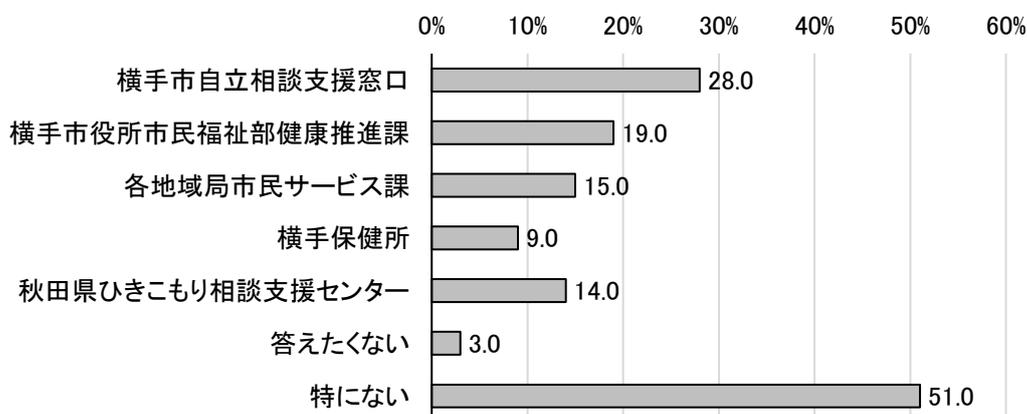
年齢「30歳代」の方が「相談したことがあるが現在も相談している」と回答した割合が55.6%と最も高い。(20歳未満の回答を除く)



⑤相談窓口の有無について

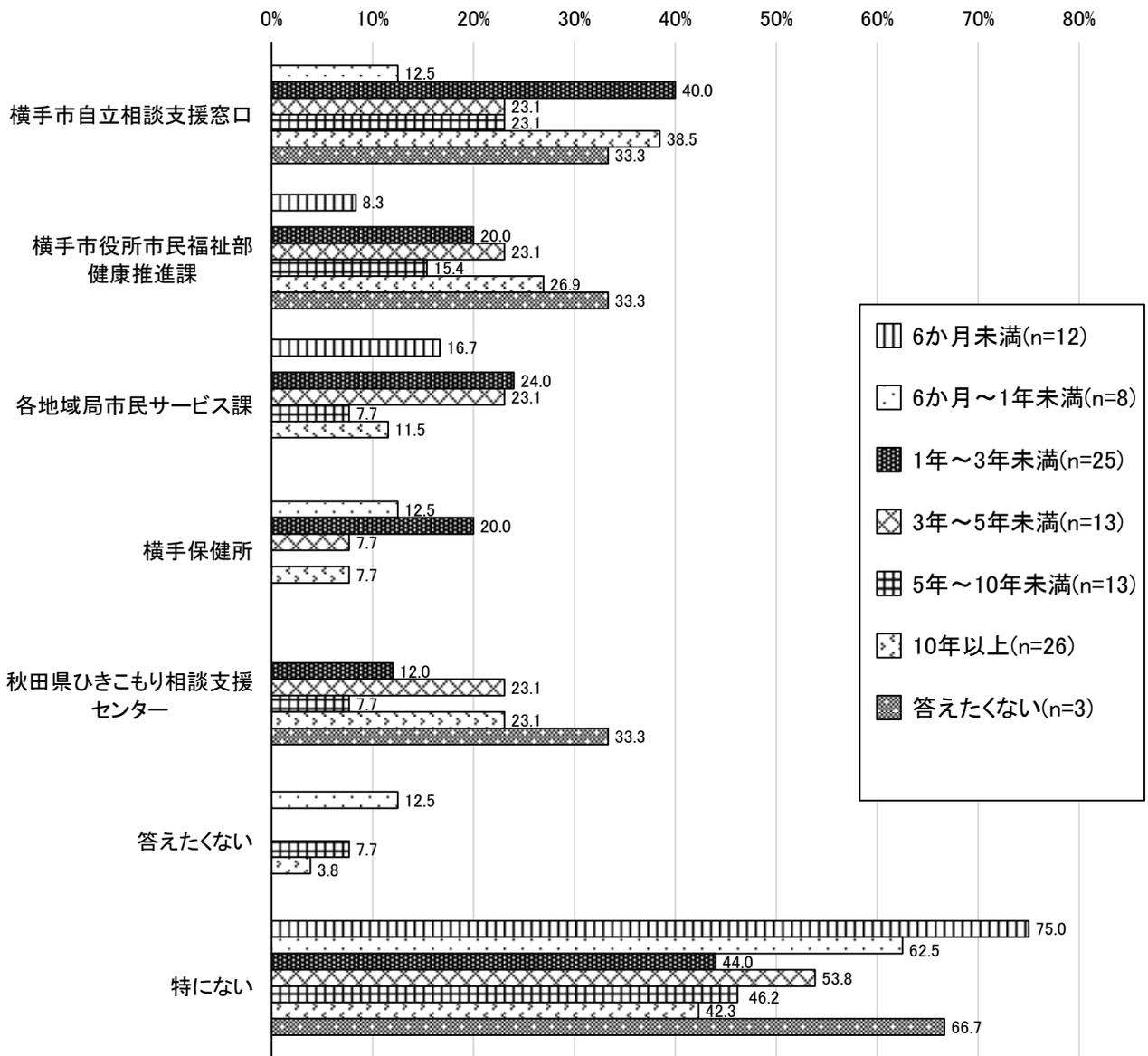
「特にない」の回答以外で「横手市自立相談支援窓口」と回答した割合が28.0%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	横手市自立相談支援窓口	28	28.0
2	横手市役所市民福祉部健康推進課	19	19.0
3	各地域局市民サービス課	15	15.0
4	横手保健所	9	9.0
5	秋田県ひきこもり相談支援センター	14	14.0
6	答えたくない	3	3.0
7	特にない	51	51.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



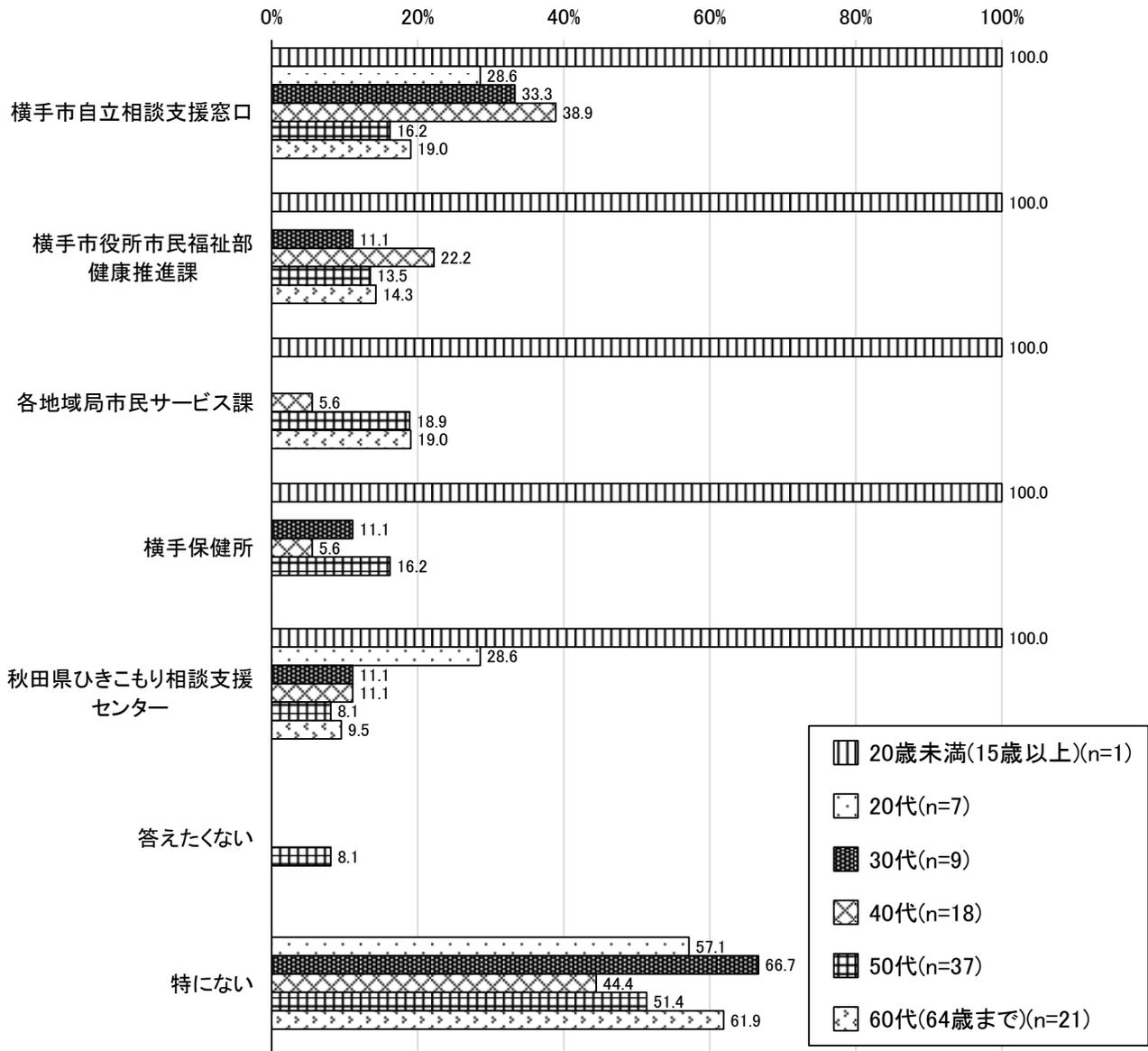
(1) 「相談窓口の有無」と「期間」の関係

「特にない」の回答以外でひきこもり期間「1年～3年未満」の方が「横手市自立相談支援窓口」と回答した割合が40.0%と最も多い。



(2) 「相談窓口の有無」と「年齢」の関係

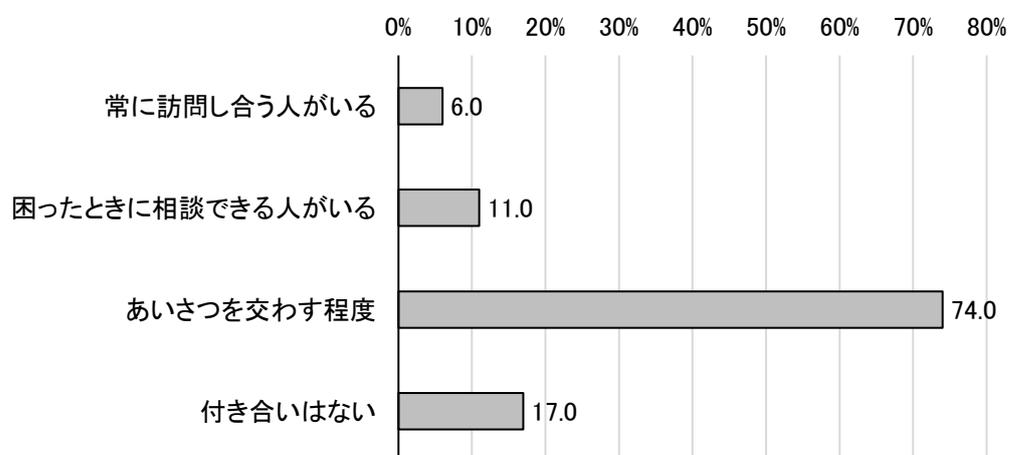
年齢「40歳代」で「横手市自立相談支援窓口」と回答した割合が38.9%と最も多い。(20歳未満の回答の回答と「特にない」の回答を除く)



⑥近所付き合い

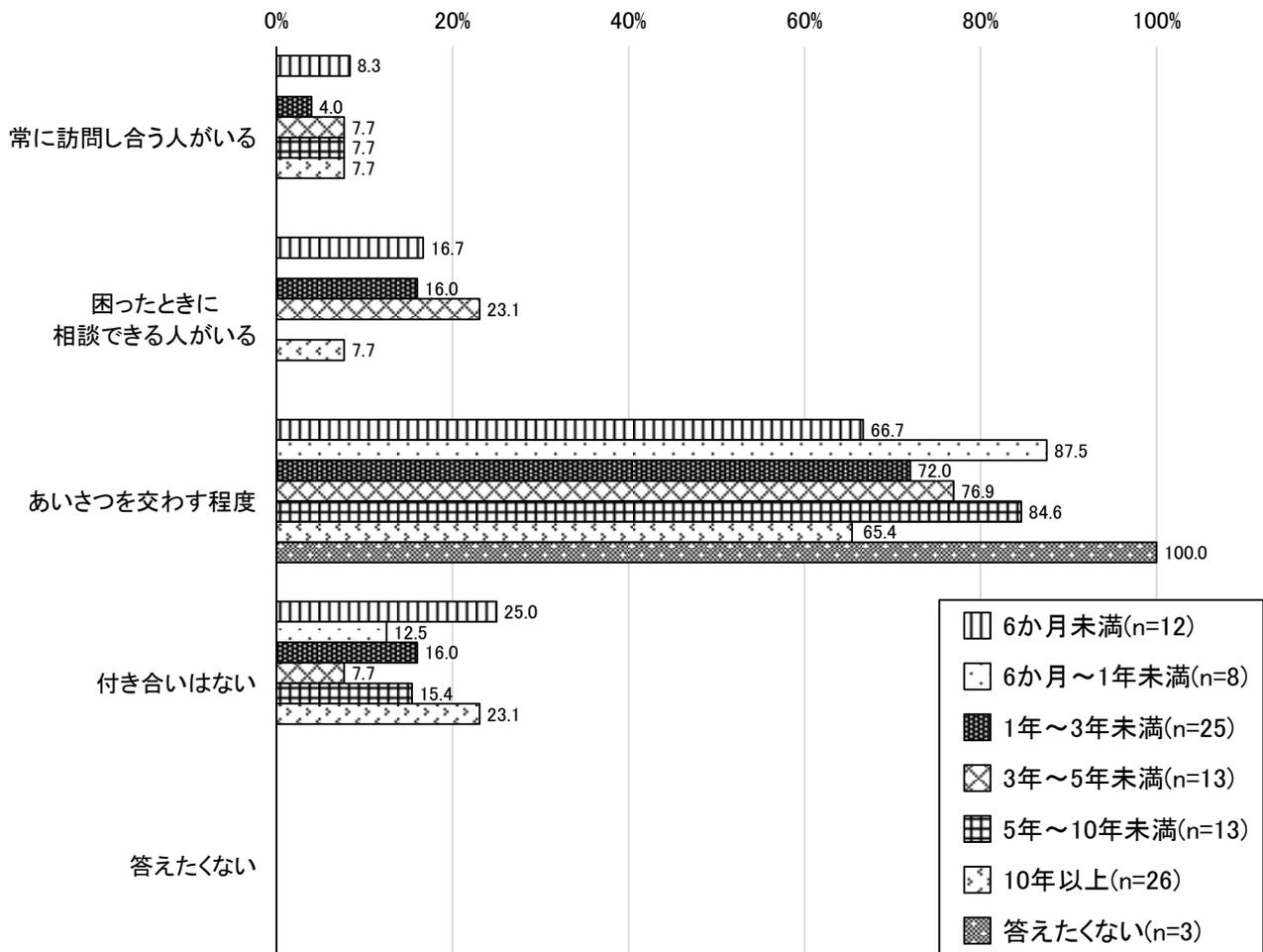
「あいさつを交わす程度」と回答した割合が74.0%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	常に訪問し合う人がいる	6	6.0
2	困ったときに相談できる人がいる	11	11.0
3	あいさつを交わす程度	74	74.0
4	付き合いはない	17	17.0
5	答えたくない	0	0.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



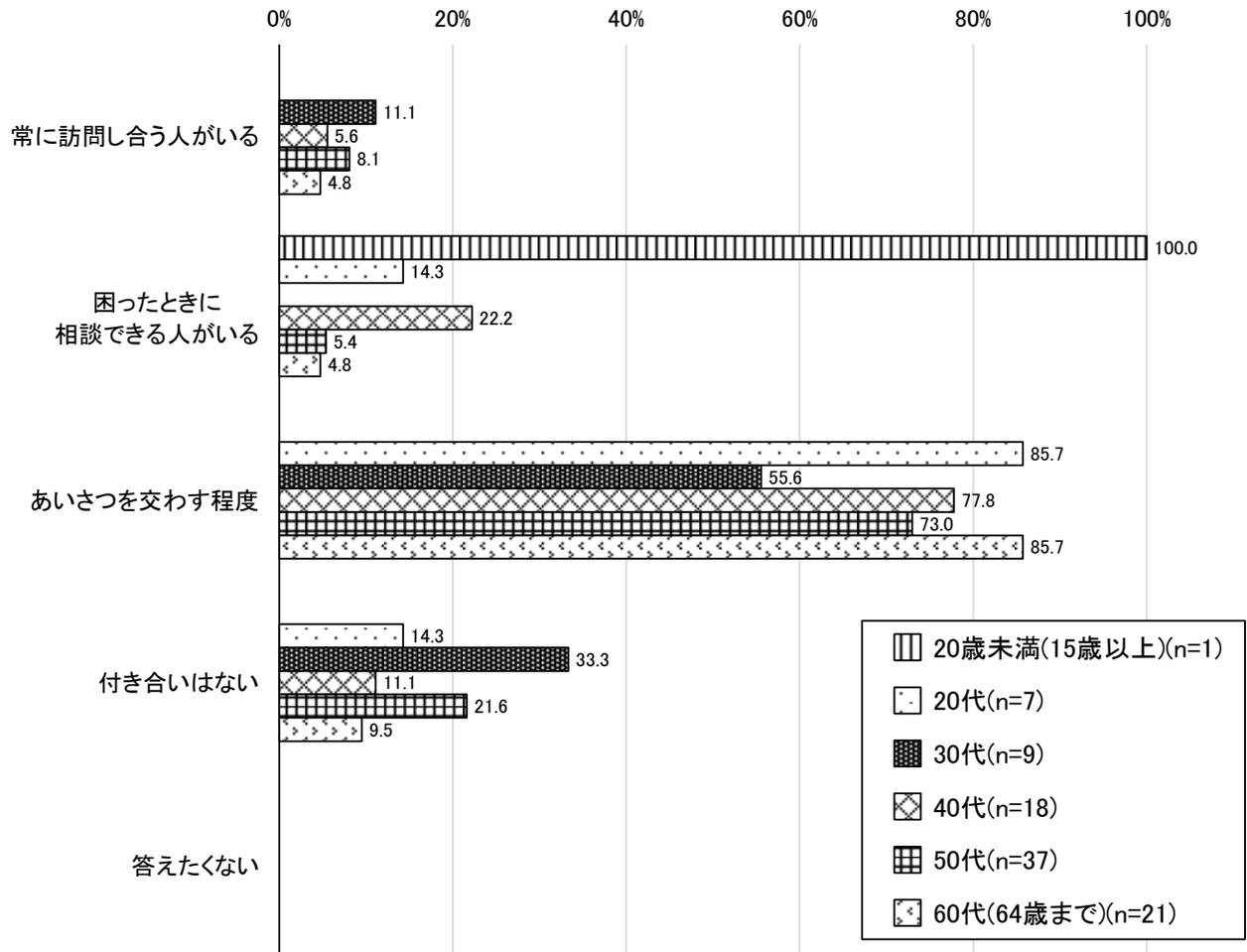
(1) 「近所付き合い」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「あいさつを交わす程度」と回答した割合が87.5%と最も多い。（「答えたくない」の回答を除く）



(2) 「近所付き合い」と「年齢」の関係

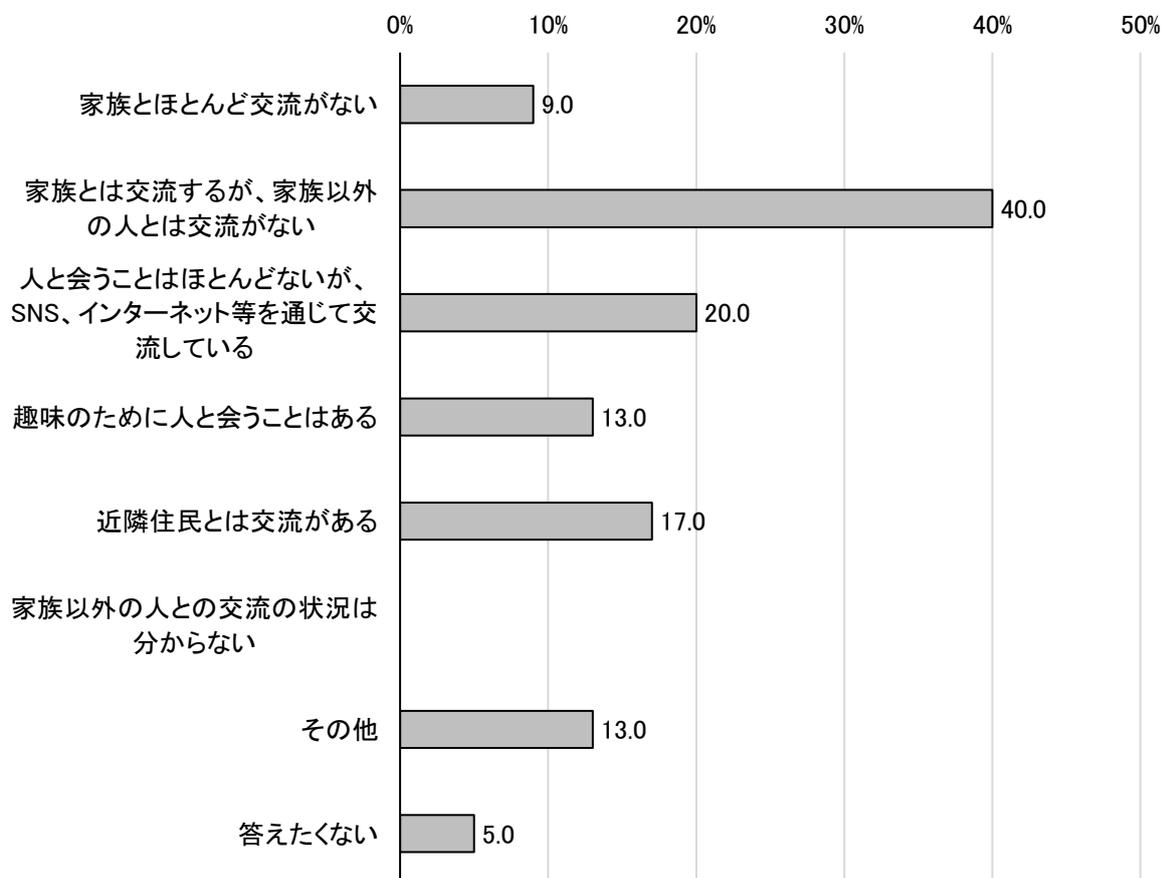
年齢「20歳代」「60歳代(64歳まで)」の方が「あいさつを交わす程度」と回答した割合が87.5%と最も多い。(20歳未満の回答を除く)



⑦交流の状況

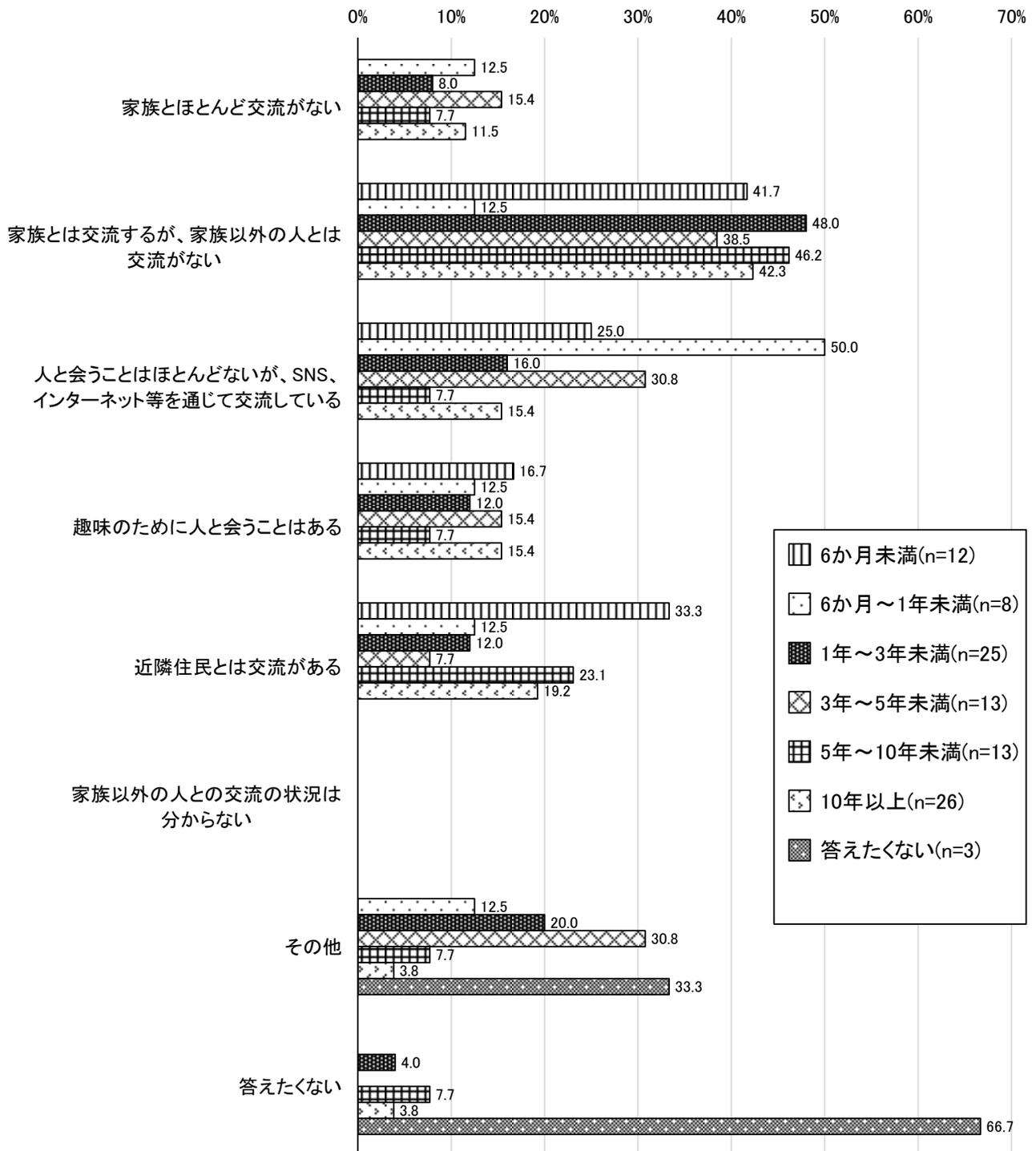
「家族とは交流するが、家族以外の人とは交流がない」と回答した割合が40.0%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	家族とほとんど交流がない	9	9.0
2	家族とは交流するが、家族以外の人とは交流がない	40	40.0
3	人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて交流している	20	20.0
4	趣味のために人と会うことはある	13	13.0
5	近隣住民とは交流がある	17	17.0
6	家族以外の人との交流の状況は分からない	0	0.0
7	その他	13	13.0
8	答えたくない	5	5.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



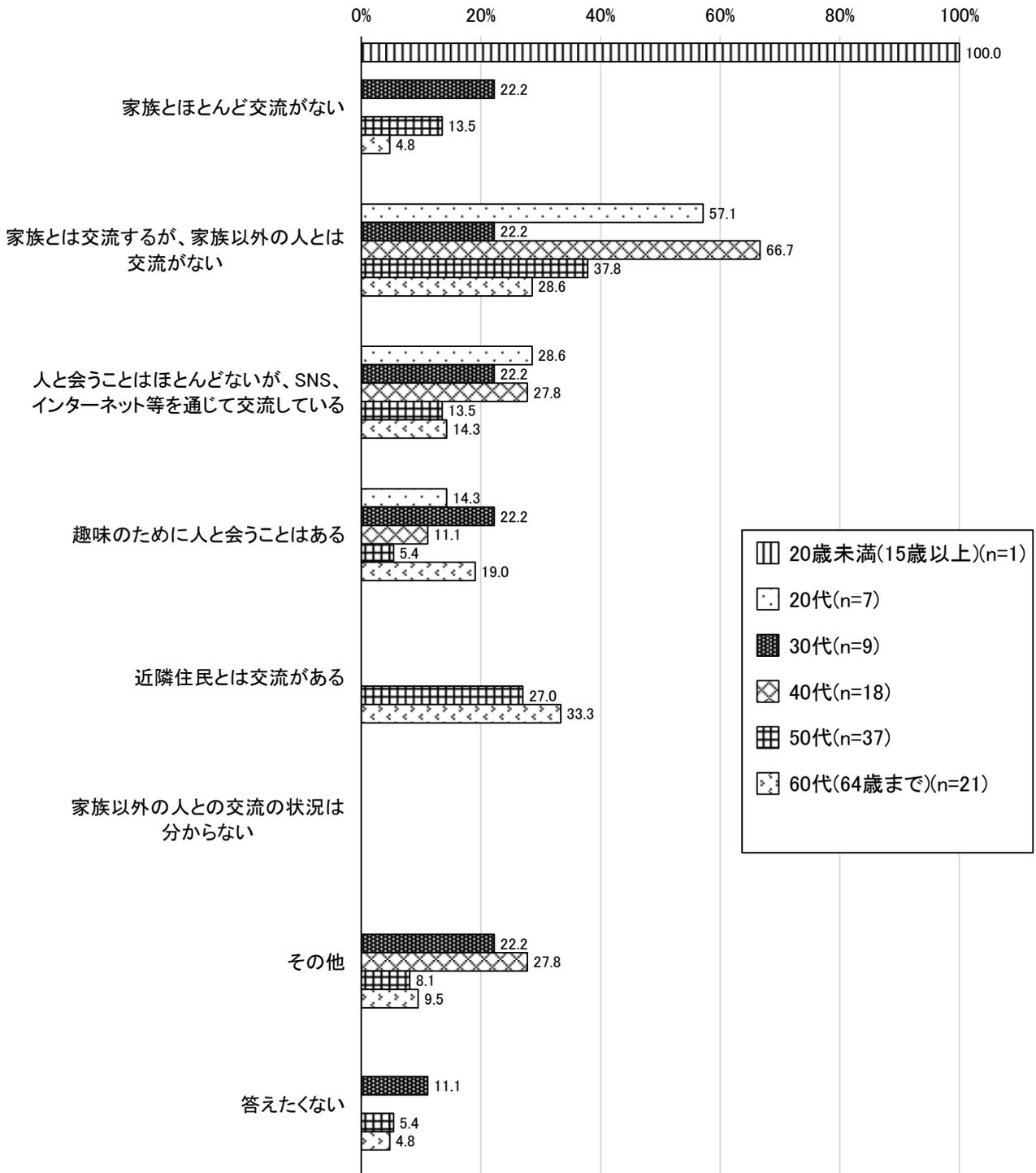
(1) 「交流の状況」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「人と会うことはほとんどないが、SNS インターネット等を通じて交流している」と回答した割合が50.0%と最も多い。



(2) 「交流の状況」と「年齢」の関係

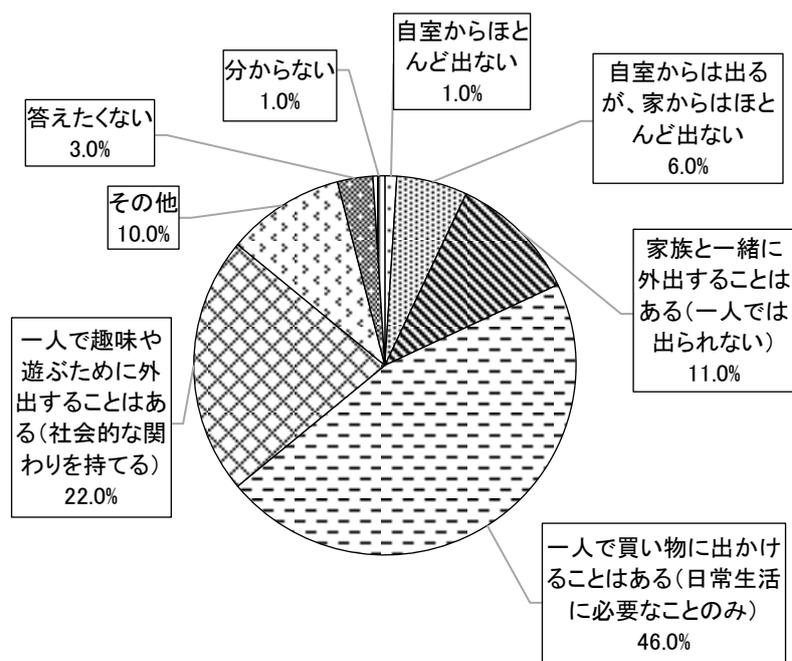
年齢「40歳代」の方が「家族とは交流するが家族以外の人とは交流がない」と回答した割合が66.7%と最も多い。(20歳未満の回答を除く)



⑧外出の状況

「一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）」と回答した割合が 46.0%と最も多い。

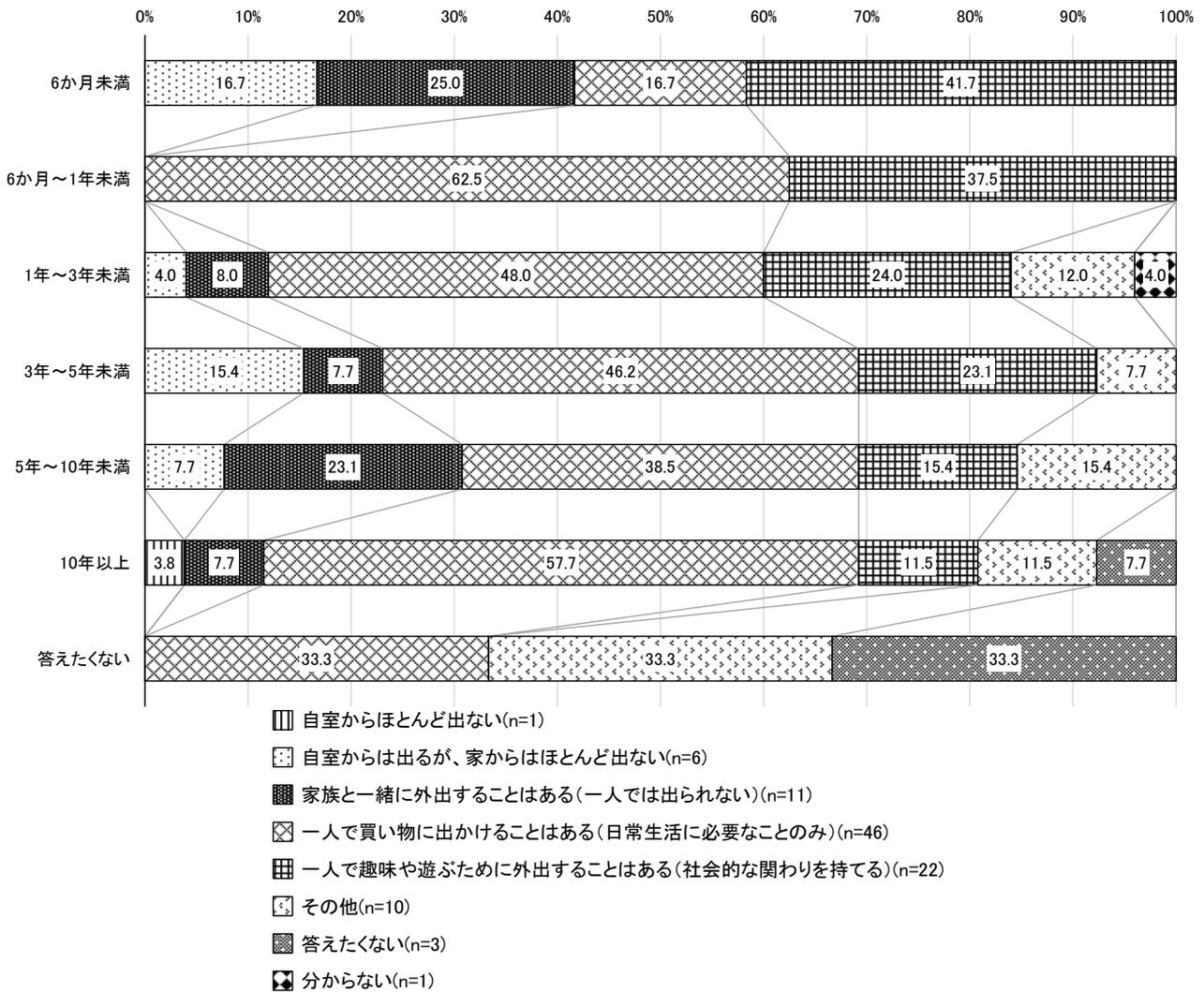
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	自室からほとんど出ない	1	1.0
2	自室からは出るが、家からはほとんど出ない	6	6.0
3	家族と一緒に外出することはある（一人では出られない）	11	11.0
4	一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）	46	46.0
5	一人で趣味や遊ぶために外出することはある（社会的な関わりを持てる）	22	22.0
6	その他	10	10.0
7	答えたくない	3	3.0
8	分からない	1	1.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	100.0



総数：100

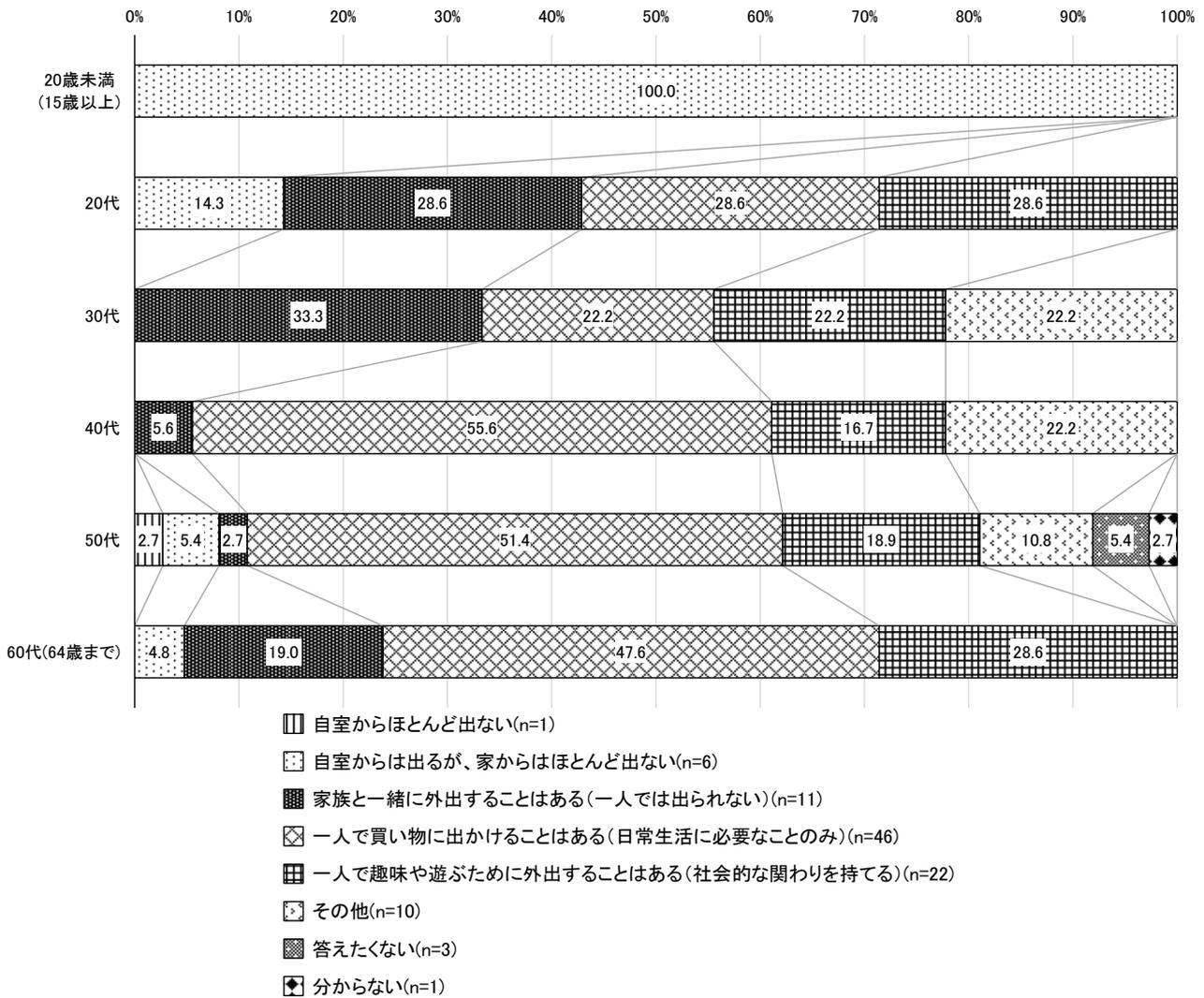
(1) 「外出の状況」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）」と回答した割合が62.5%と最も多い。



(2) 「外出の状況」と「年齢」の関係

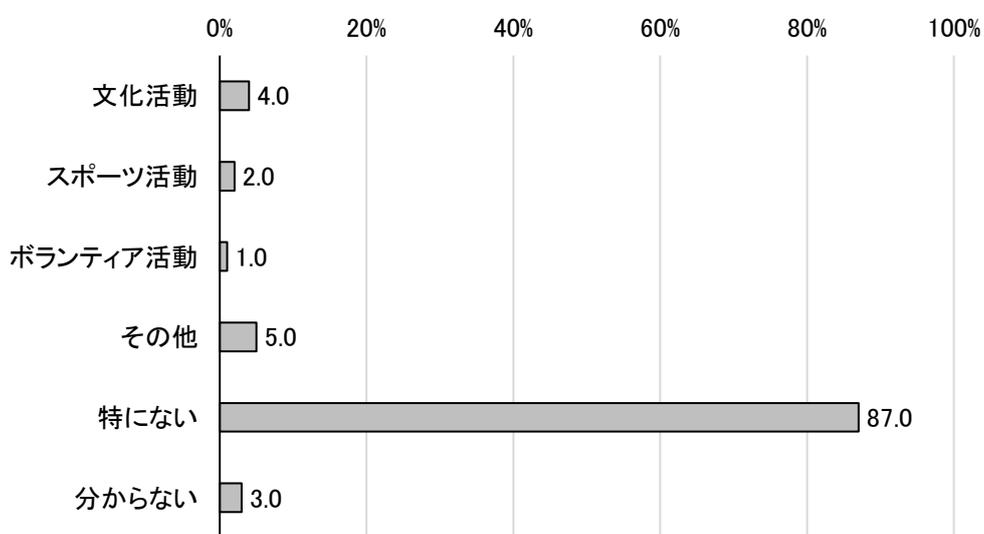
年齢「40歳代」の方が「一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）」と回答した割合が55.6%と最も多い。（20歳未満の回答を除く）



⑨参加している活動

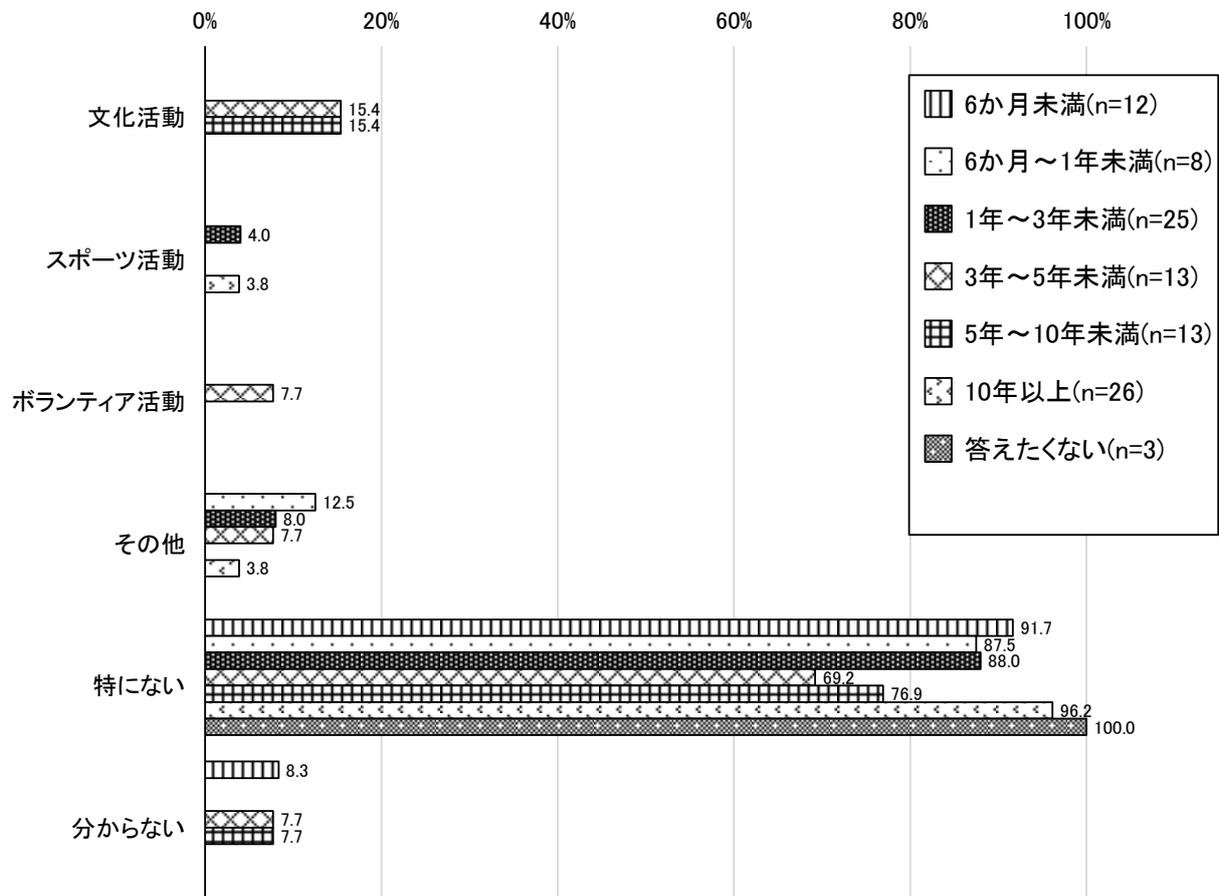
「特にない」と回答した割合が87.0%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	文化活動	4	4.0
2	スポーツ活動	2	2.0
3	ボランティア活動	1	1.0
4	その他	5	5.0
5	特にない	87	87.0
6	分からない	3	3.0
	無回答	0	-
	回答者数	100	-



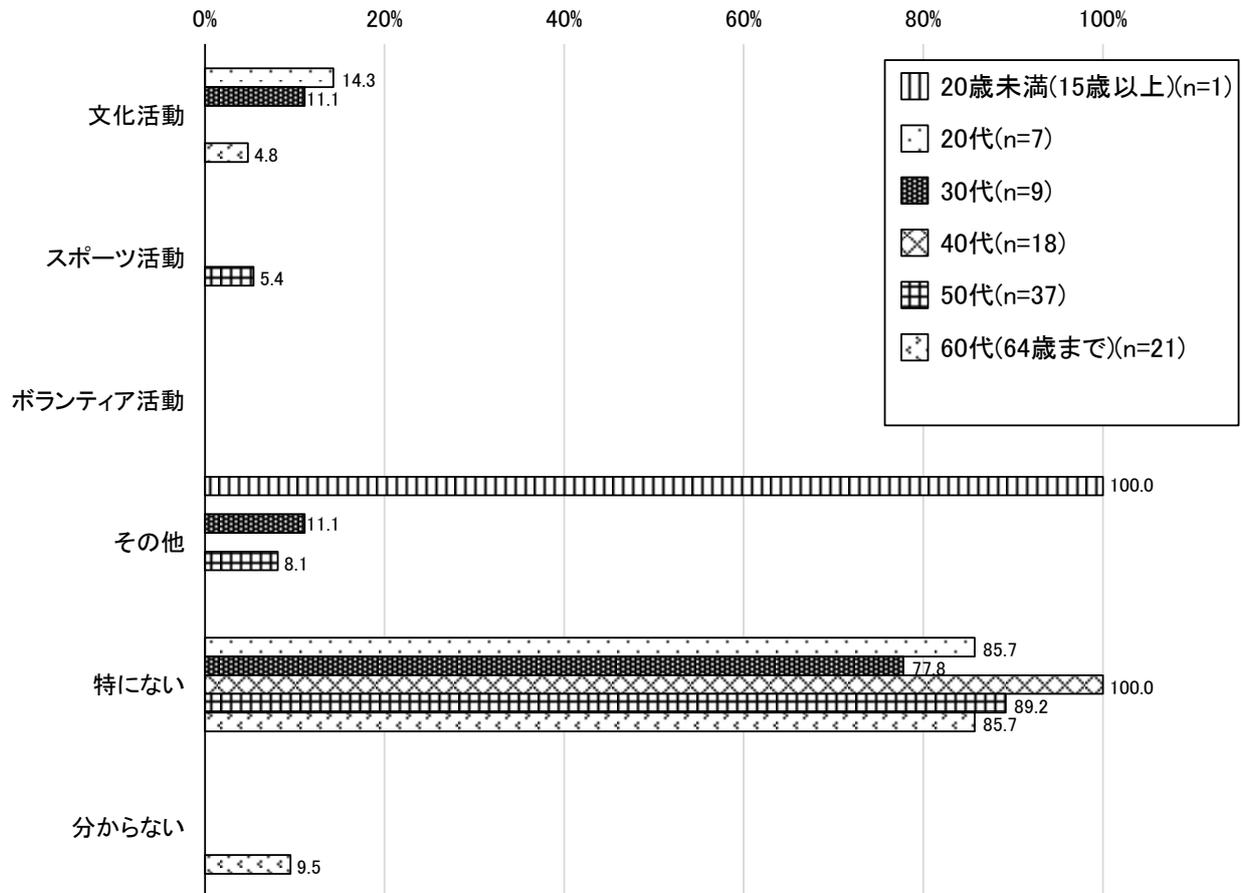
(1) 「参加している活動」と「期間」の関係

ひきこもり期間「10年以上」の方で「特にない」と回答した割合が96.2%と最も多い。（「答えたくない」の回答を除く）



(2) 「参加している活動」と「年齢」の関係

年齢「40歳代」の方が「特にない」と回答した割合が100%と最も多い。(20歳未満の回答を除く)



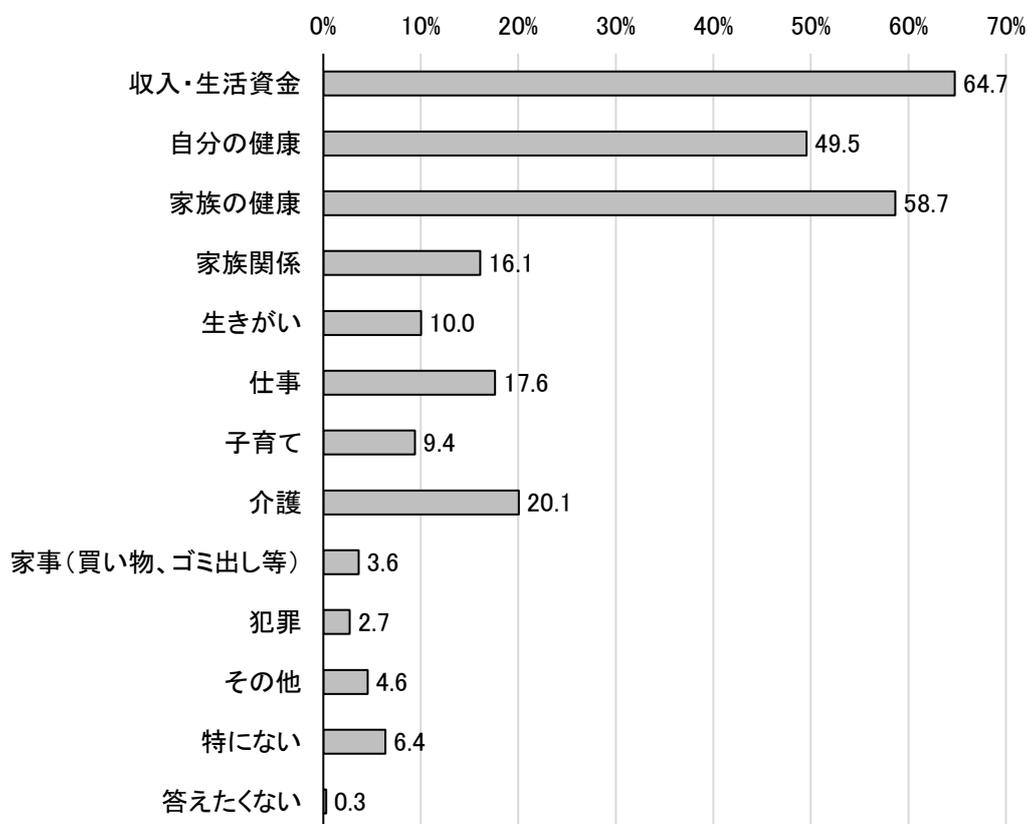
4 ひきこもり当事者を抱える家族の声

ひきこもり当事者を抱える家族（329名）がそのひきこもり状態について分かる範囲で回答をした結果を以下にまとめた。

①日常生活の不安

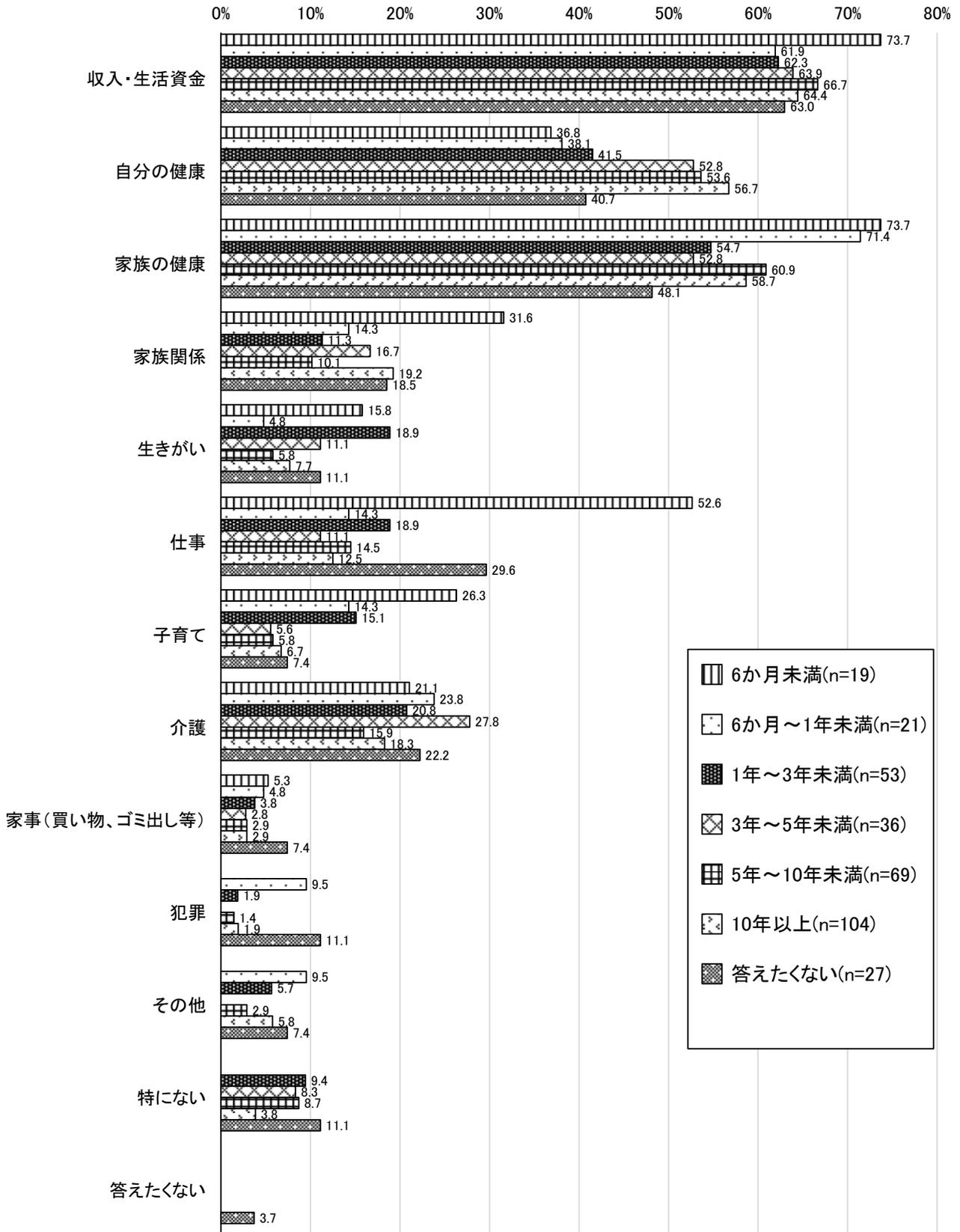
「収入・生活資金」と回答した割合の方が64.7%と最も多く、次いで「家族の健康」であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	収入・生活資金	213	64.7
2	自分の健康	163	49.5
3	家族の健康	193	58.7
4	家族関係	53	16.1
5	生きがい	33	10.0
6	仕事	58	17.6
7	子育て	31	9.4
8	介護	66	20.1
9	家事(買い物、ゴミ出し等)	12	3.6
10	犯罪	9	2.7
11	その他	15	4.6
12	特にない	21	6.4
13	答えたくない	1	0.3
	無回答	0	-
	回答者数	329	-



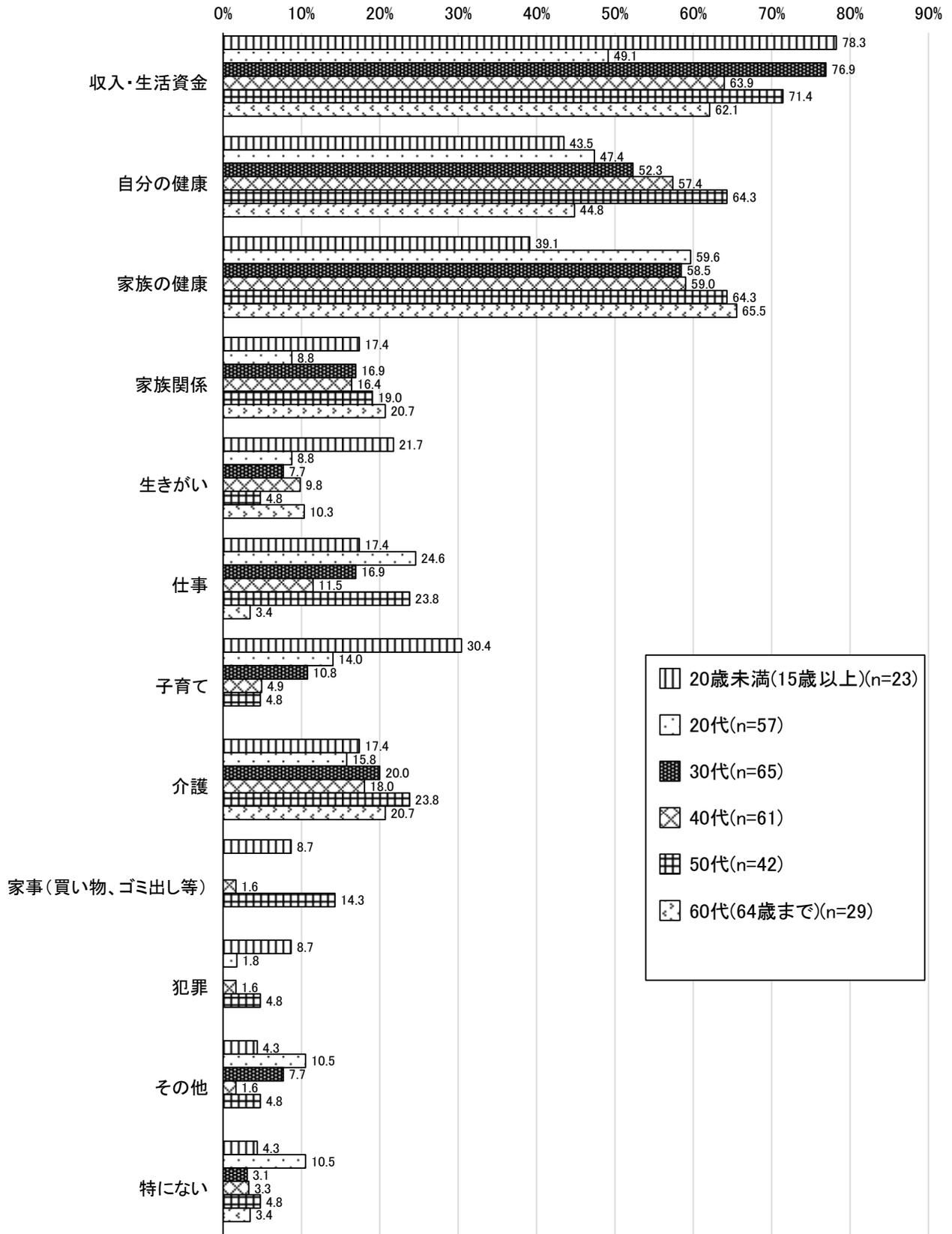
(1) 「日常生活の不安」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月未満」の家族の方が「収入・生活資金」「家族の健康」を不安に思っていると回答した割合が73.7%と最も多い



(2) 「日常生活の不安」と「年齢」の関係

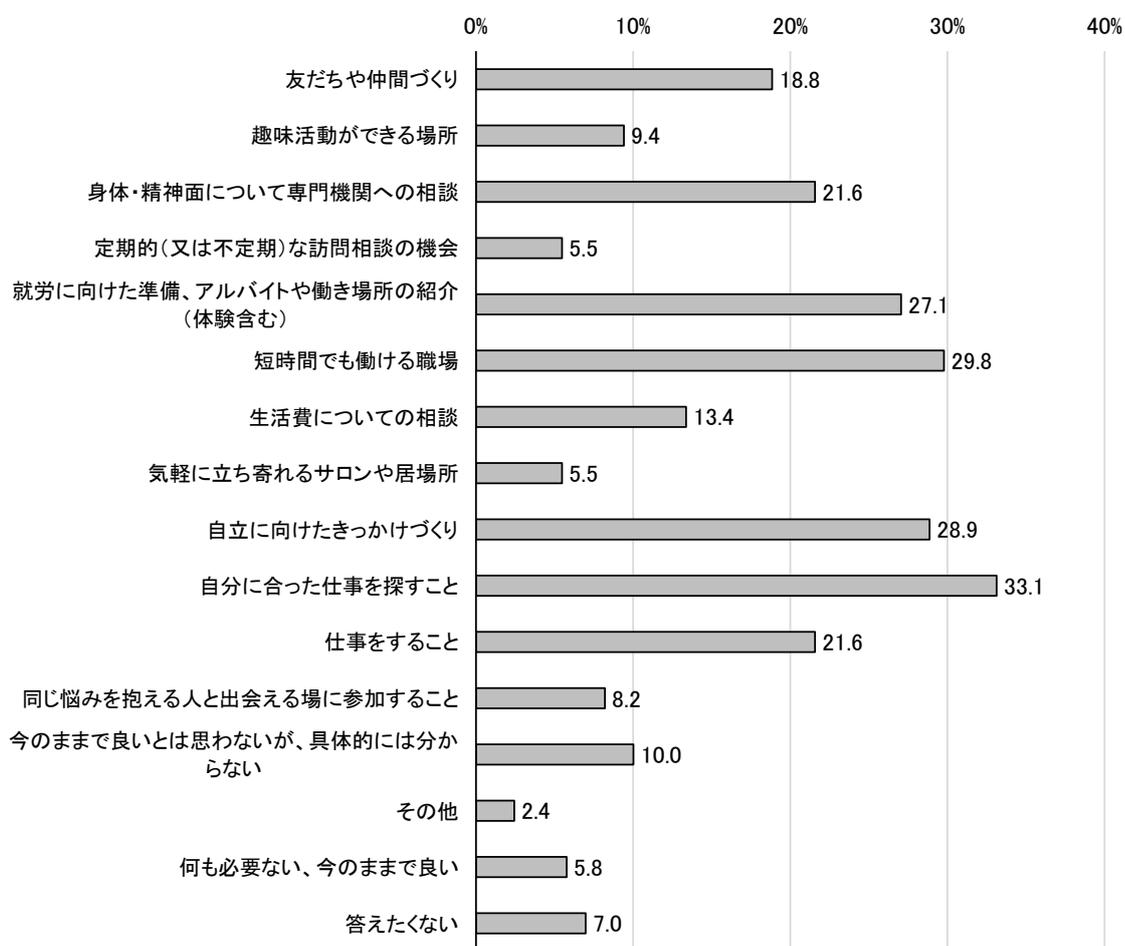
年齢「20歳未満(15歳以上)」の家族の方が「収入・生活資金」を不安に思っていると回答した割合が78.3%と最も多い。



②必要と思われるもの

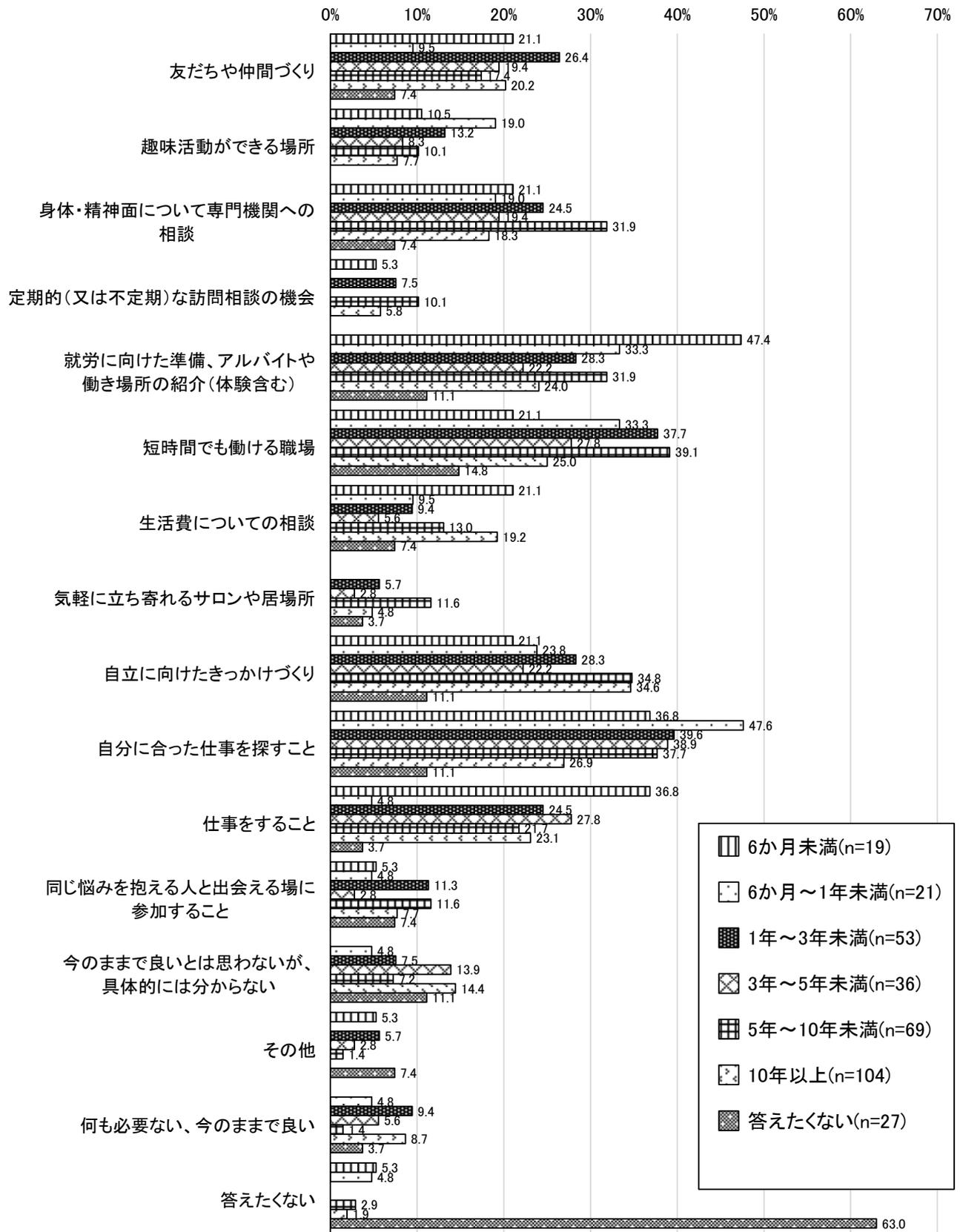
「自分に合った仕事を探すこと」と回答した割合が 33.1%と最も多く次いで「短時間でも働ける職場」であった。

No.	カテゴリ名	回答数	割合(%)
1	友だちや仲間づくり	62	18.8
2	趣味活動ができる場所	31	9.4
3	身体・精神面について専門機関への相談	71	21.6
4	定期的(又は不定期)な訪問相談の機会	18	5.5
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介(体験含む)	89	27.1
6	短時間でも働ける職場	98	29.8
7	生活費についての相談	44	13.4
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	18	5.5
9	自立に向けたきっかけづくり	95	28.9
10	自分に合った仕事を探すこと	109	33.1
11	仕事をする事	71	21.6
12	同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること	27	8.2
13	今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない	33	10.0
14	その他	8	2.4
15	何も必要ない、今のままで良い	19	5.8
16	答えたくない	23	7.0
	無回答	0	-
	回答者数	329	-



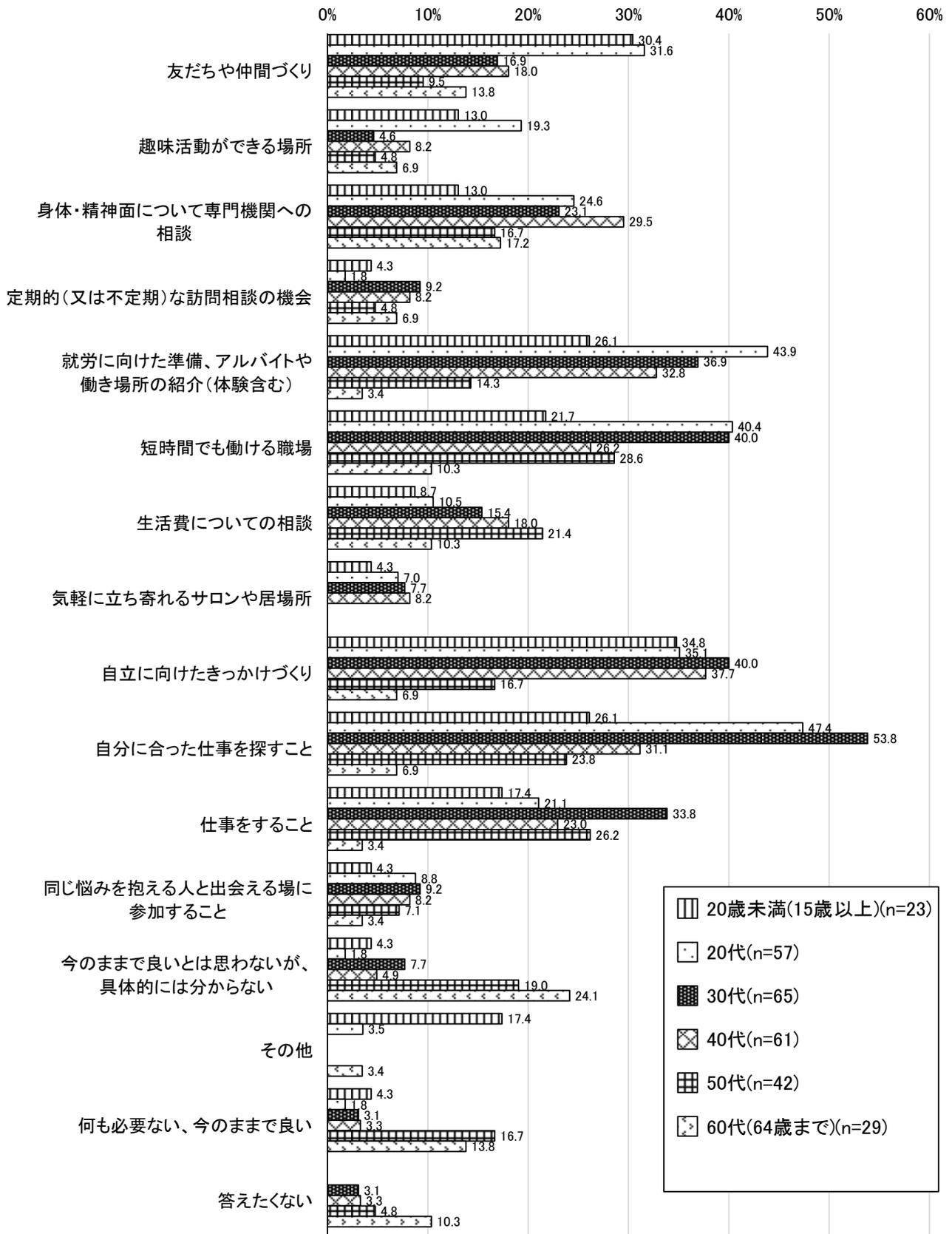
(1) 「必要と思われるもの」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の家族の方が「自分に合った仕事を探すこと」が必要と思われる割合が47.6%と最も多い。（「答えたくない」の回答を除く）



(2) 「本人に必要と考えるもの」と「年齢」の関係

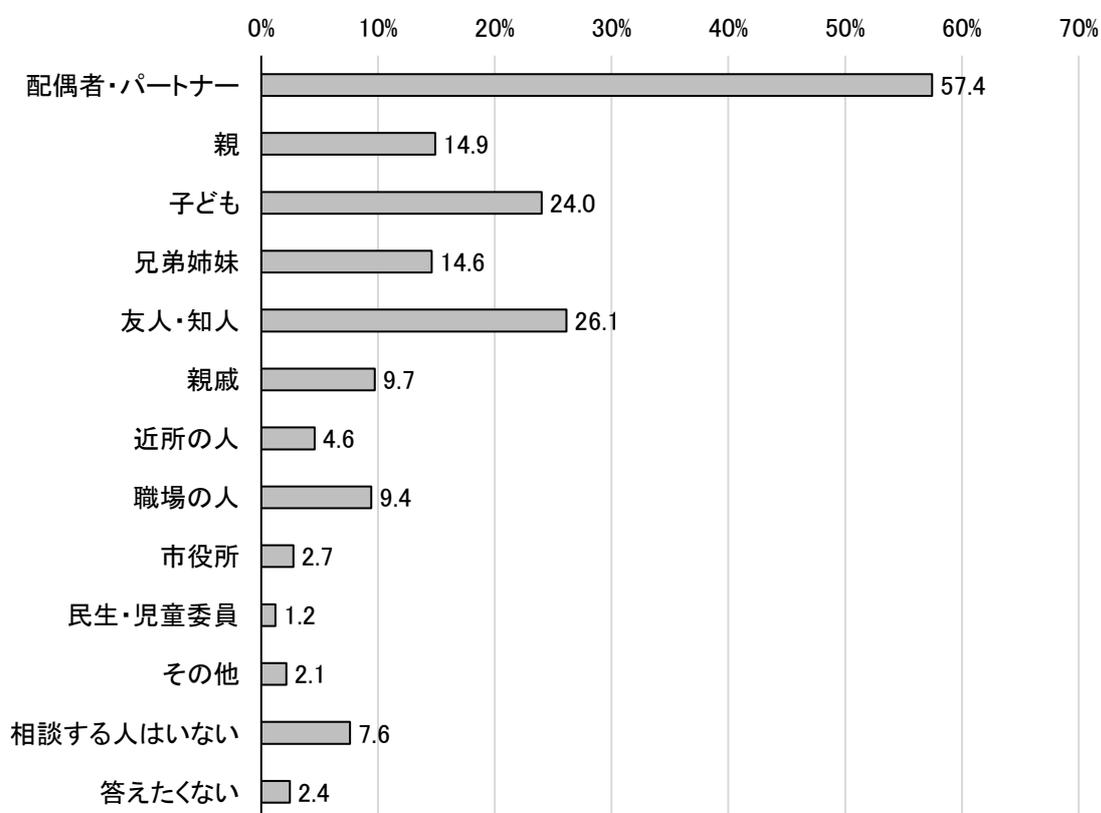
年齢「30歳代」の家族の方が「自分に合った仕事を探すこと」が必要と思われると回答した割合が53.8%と最も多い。



③相談相手

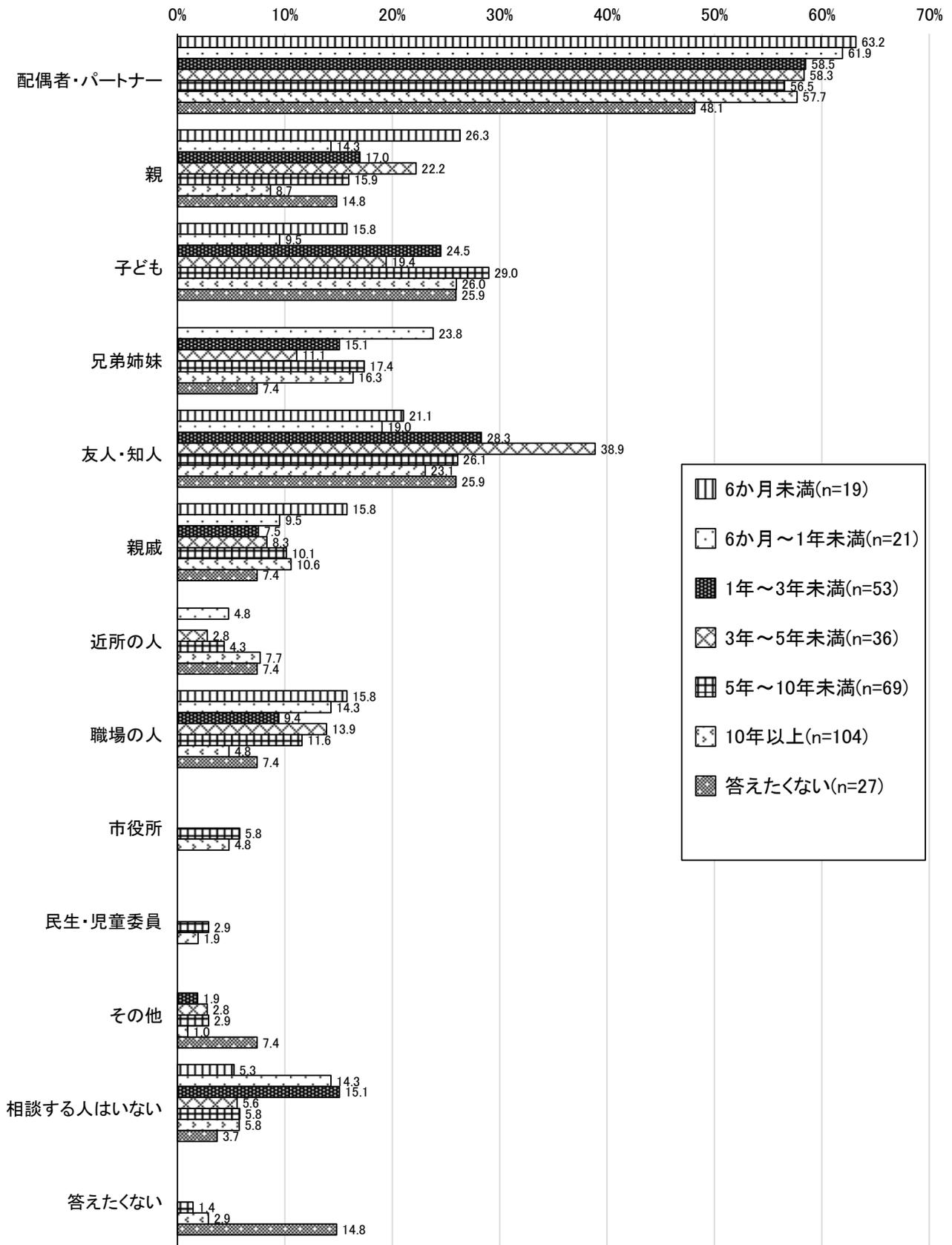
悩みなどの相談相手として「配偶者・パートナー」と回答した割合が57.4%と最も多い。次いで「友人・知人」であった。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	配偶者・パートナー	189	57.4
2	親	49	14.9
3	子ども	79	24.0
4	兄弟姉妹	48	14.6
5	友人・知人	86	26.1
6	親戚	32	9.7
7	近所の人	15	4.6
8	職場の人	31	9.4
9	市役所	9	2.7
10	民生・児童委員	4	1.2
11	その他	7	2.1
12	相談する人はいない	25	7.6
13	答えたくない	8	2.4
	無回答	0	-
	回答者数	329	-



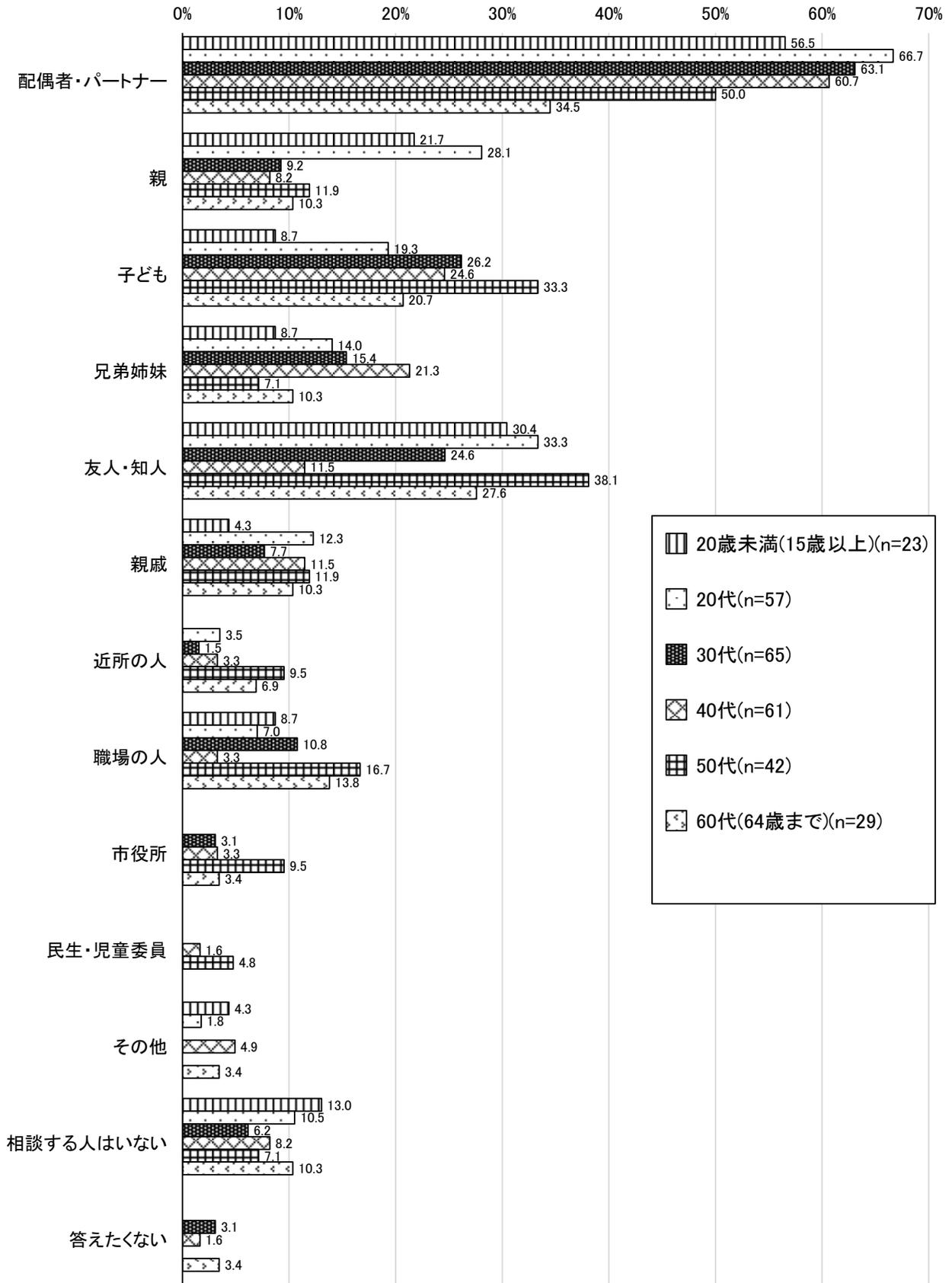
(1) 「相談相手」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月未満」の家族の方が「配偶者・パートナー」が相談相手と回答した割合が63.2%と最も多い。



(2) 「相談相手」と「年齢」の関係

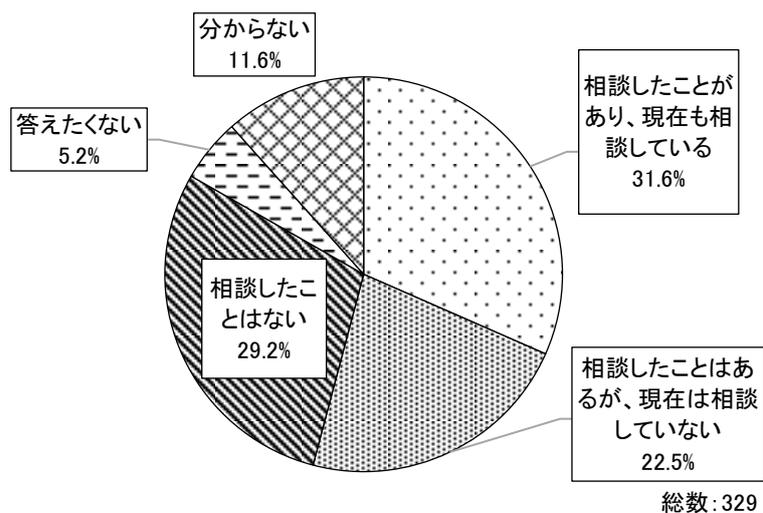
年齢「20歳代」の家族の方が「配偶者・パートナー」が相談相手と回答した割合が66.7%と最も多い。(20歳未満の回答を除く)



④専門機関等への相談状況について

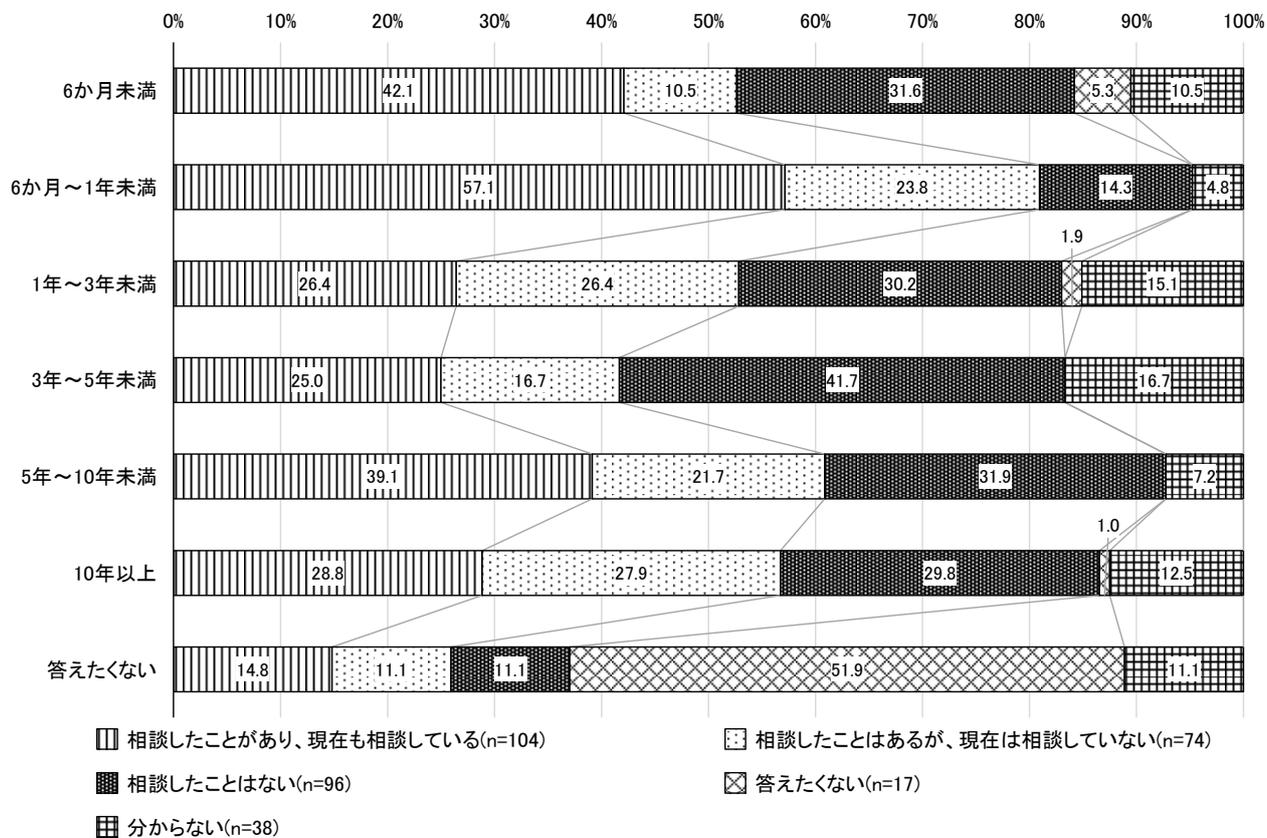
「相談したことがあり、現在も相談している」と回答した割合が31.6%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	相談したことがあり、現在も相談している	104	31.6
2	相談したことはあるが、現在は相談していない	74	22.5
3	相談したことはない	96	29.2
4	答えたくない	17	5.2
5	分からない	38	11.6
	無回答	0	-
	回答者数	329	100.0



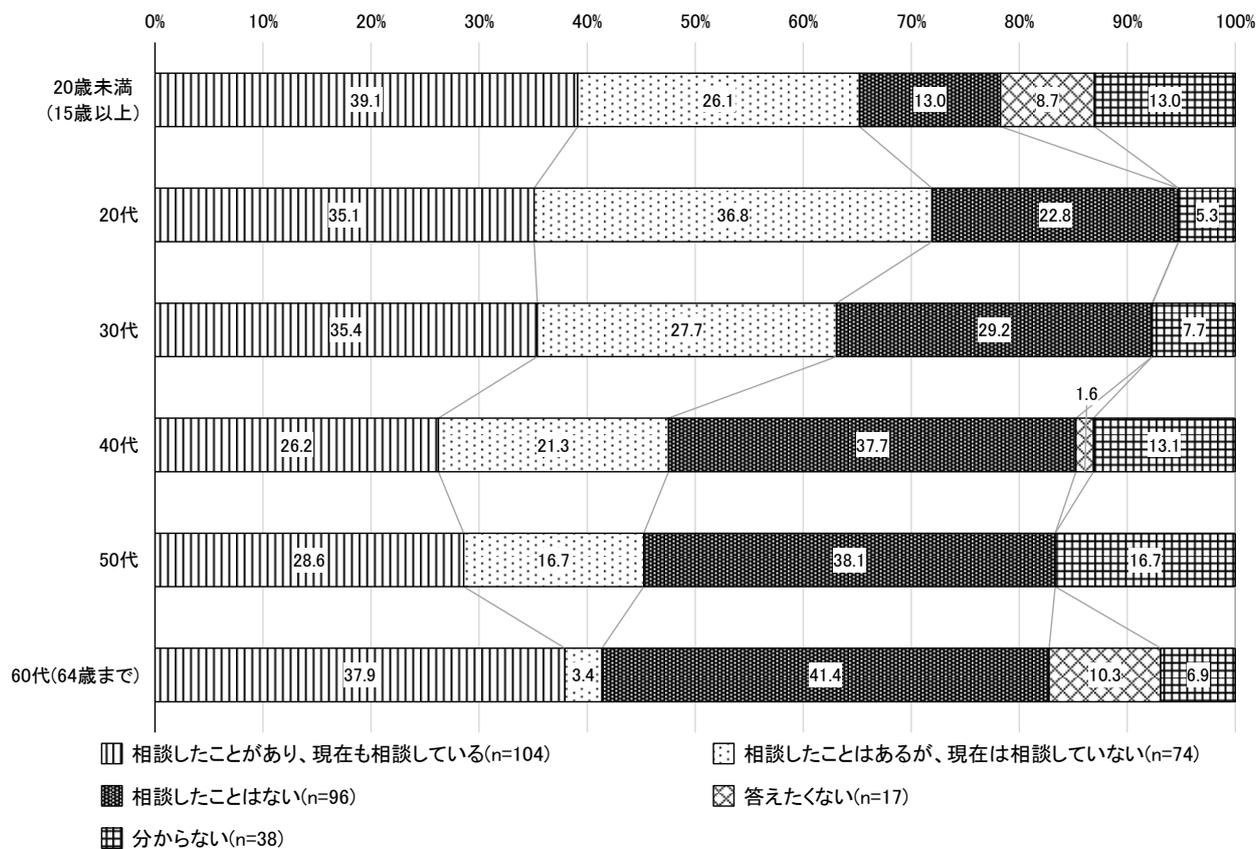
(1) 「専門機関等への相談状況」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の家族の方が「相談したことがあり、現在も相談している」と回答した割合が57.1%と最も多い。



(2) 「専門機関等への相談状況」と「年齢」の関係

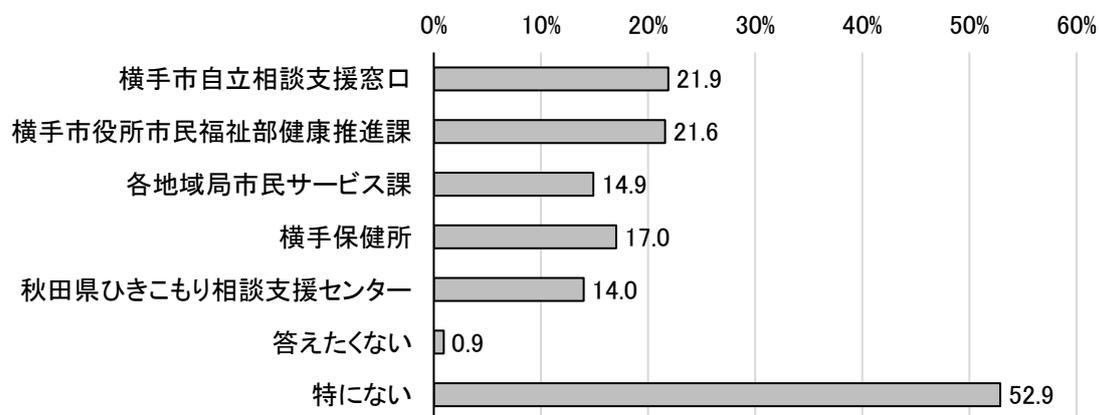
年齢「60歳代(64歳まで)」の家族の方が「相談したことはない」と回答した割合が41.4%と最も多い。



⑤相談窓口の有無について

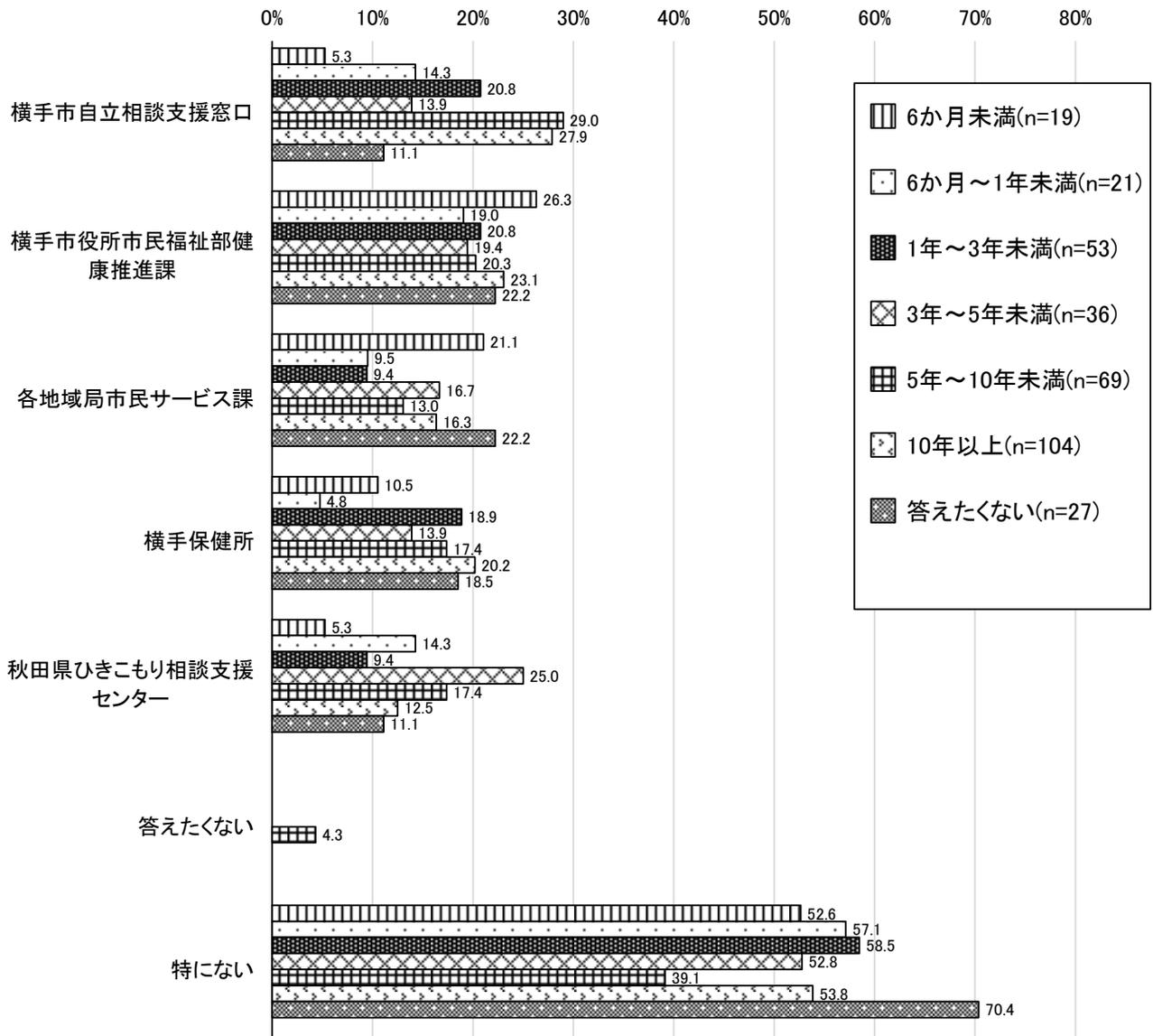
「特にない」の回答以外で「横手市自立相談支援窓口」と回答した割合が21.9%と最も多い

No.	カテゴリ名	回答数	割合(%)
1	横手市自立相談支援窓口	72	21.9
2	横手市役所市民福祉部健康推進課	71	21.6
3	各地域局市民サービス課	49	14.9
4	横手保健所	56	17.0
5	秋田県ひきこもり相談支援センター	46	14.0
6	答えたくない	3	0.9
7	特にない	174	52.9
	無回答	0	-
	回答者数	329	-



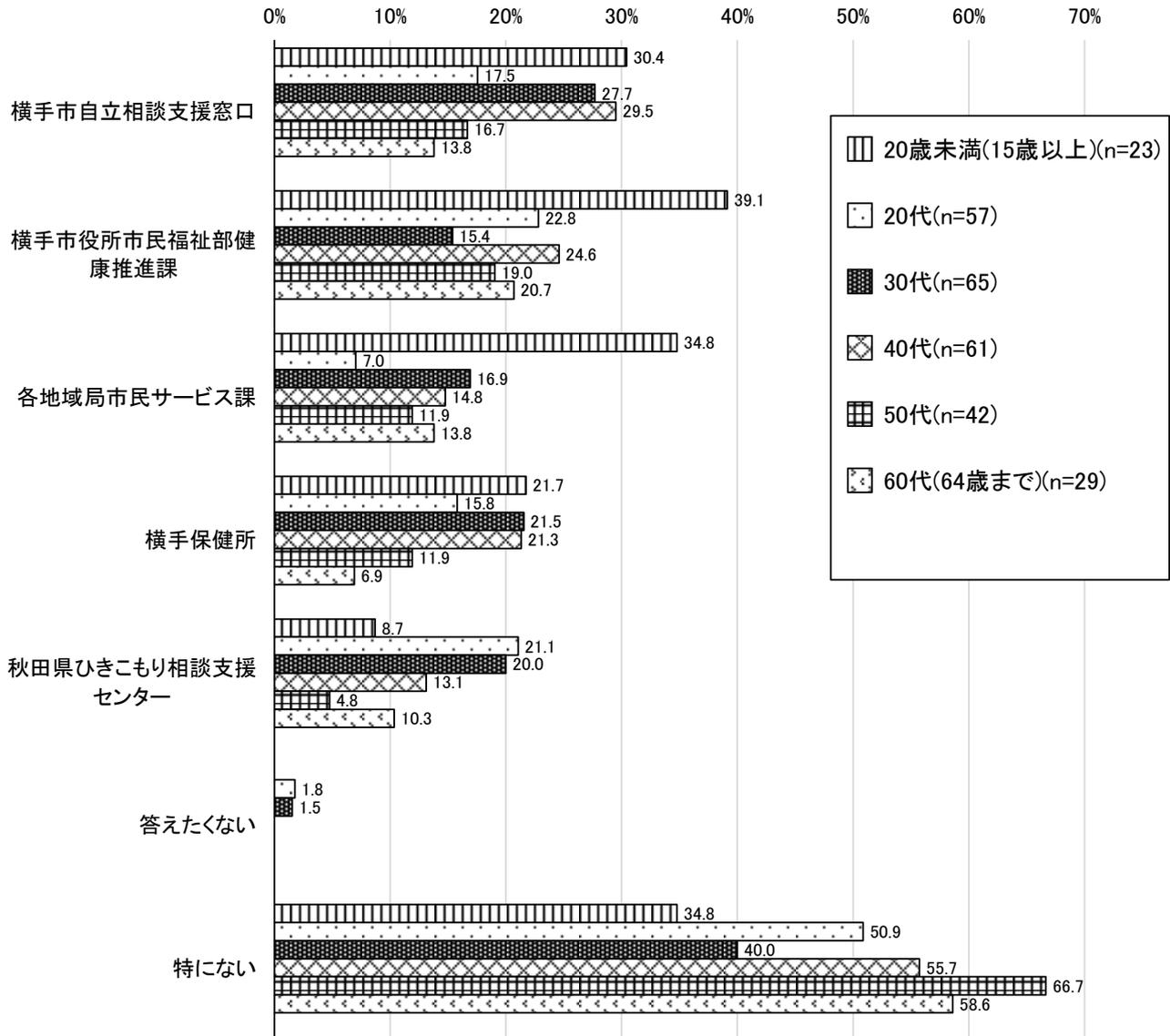
(1) 「相談窓口の有無」と「期間」の関係

「特にない」の回答以外でひきこもり期間「5年～10年未満」の家族の方が「横手市自立相談支援窓口」と回答した割合が29.0%と最も多い。



(2) 「相談窓口の有無」と「年齢」の関係

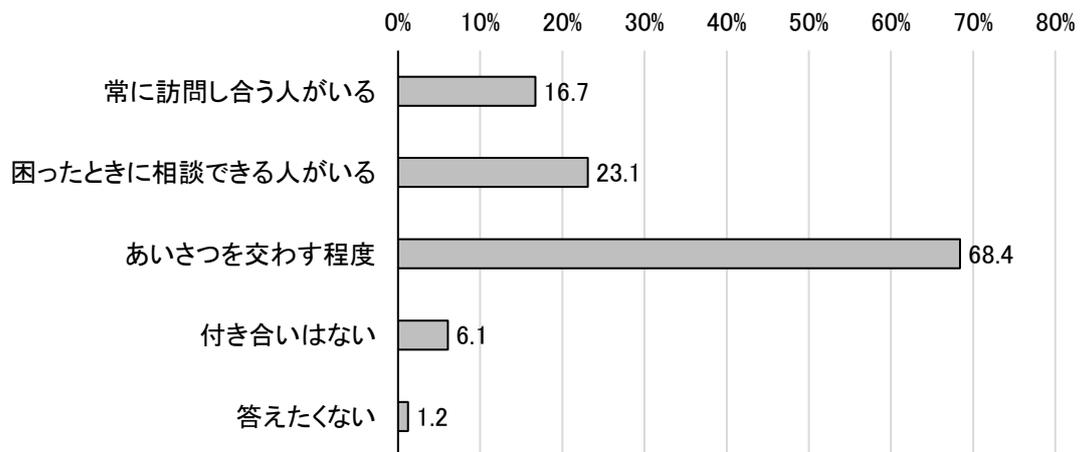
「特にない」の回答以外で年齢「20歳未満(15歳以上)」の家族の「横手市役所市民福祉部健康推進課」と回答した割合が39.1%と最も多い。



⑥近所付き合い

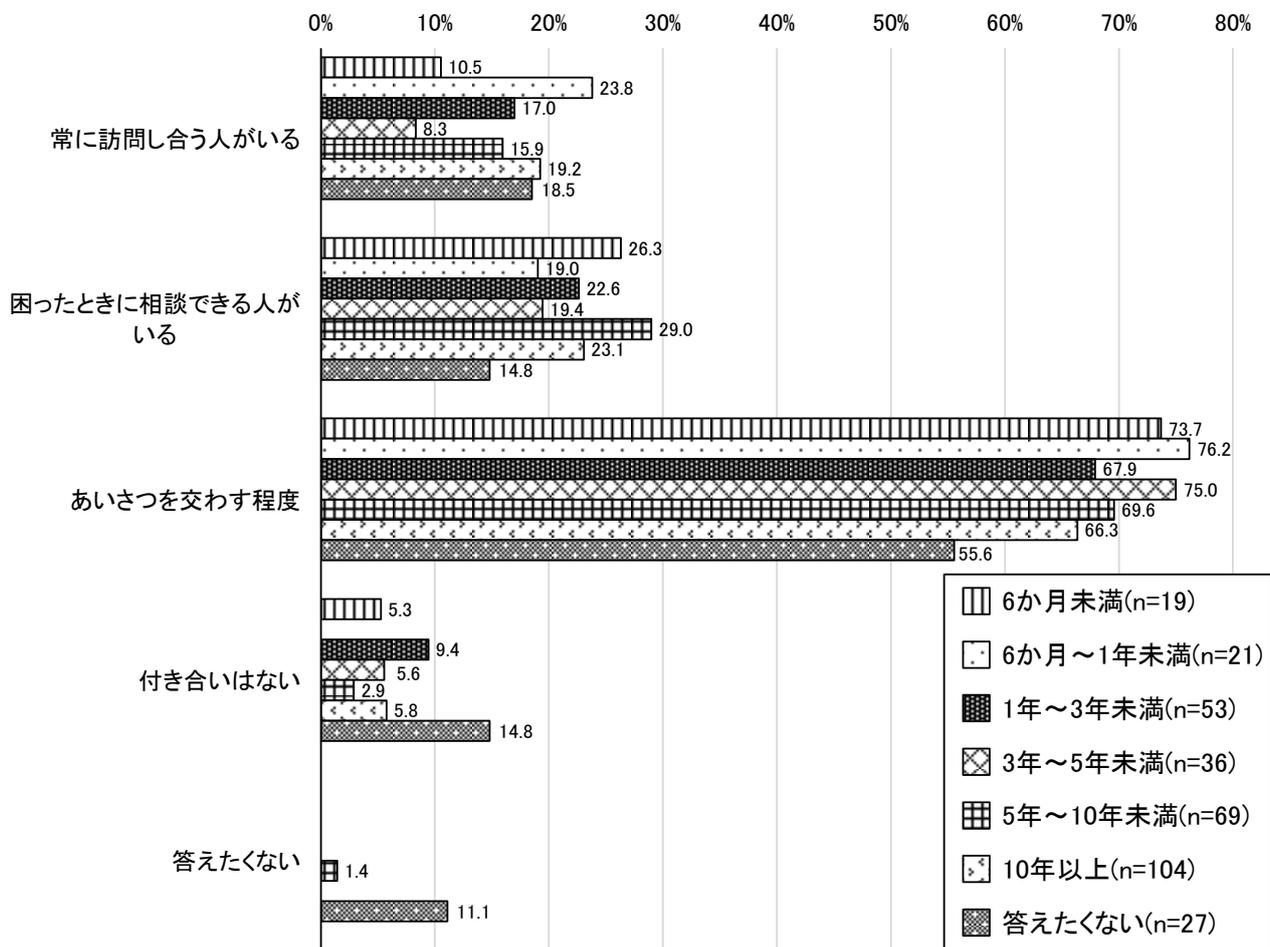
「あいさつを交わす程度」と回答した割合が68.4%と最も多い。

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	常に訪問し合う人がいる	55	16.7
2	困ったときに相談できる人がいる	76	23.1
3	あいさつを交わす程度	225	68.4
4	付き合いはない	20	6.1
5	答えたくない	4	1.2
	無回答	0	-
	回答者数	329	-



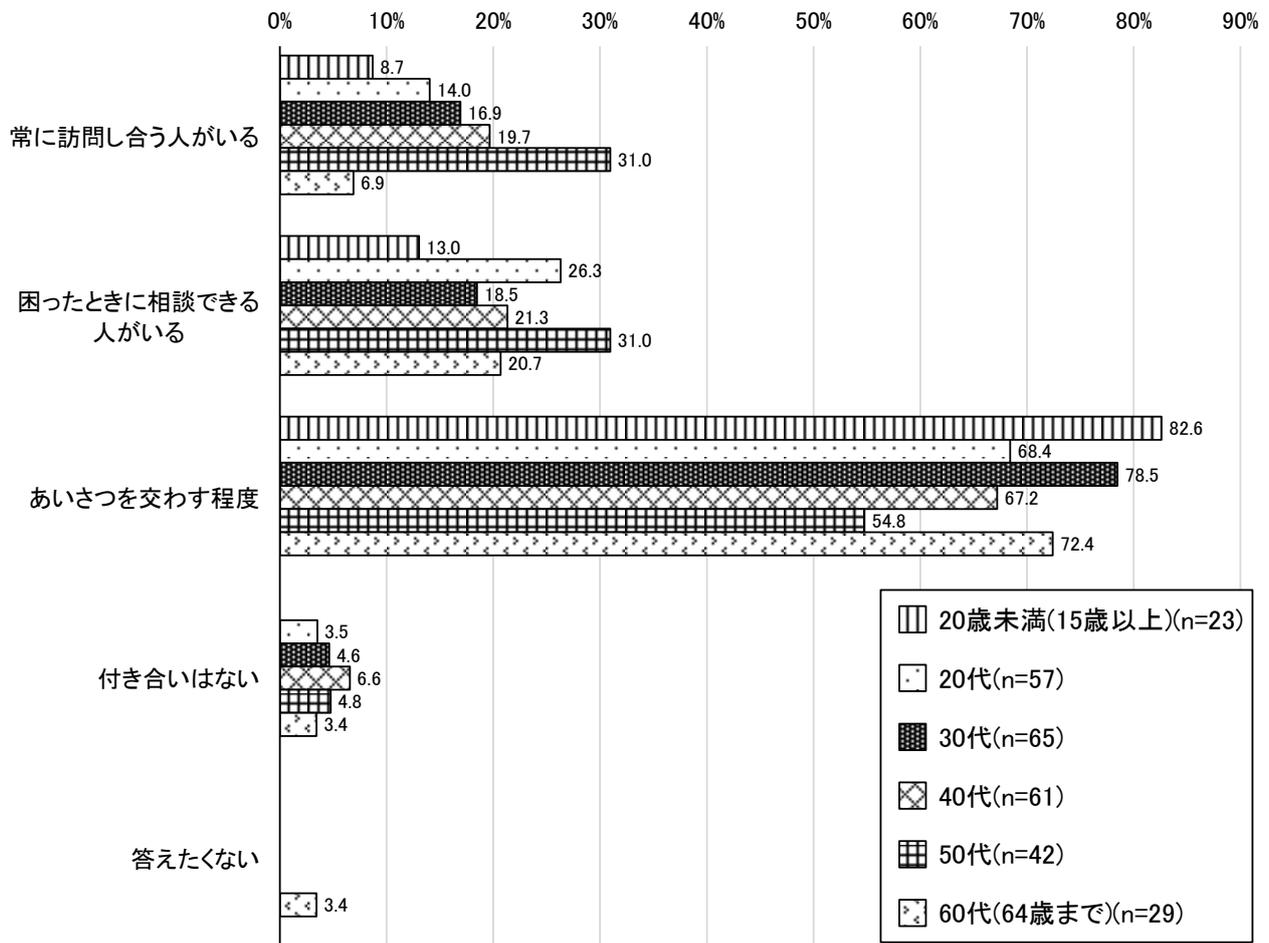
(1) 「近所付き合い」と「期間」の関係

ひきこもり期間「6か月～1年未満」の方が「あいさつを交わす程度」と回答した割合が76.2%と最も多い。



(2) 「近所付き合い」と「年齢」の関係

年齢「20歳未満(15歳以上)」の家族の方が「あいさつを交わす程度」と回答した割合が82.6%と最も多い。



5 ひきこもり当事者における回答内容の比較（本人とその家族の考え方）

①日常生活の不安（13 頁、P40 頁）

ひきこもり当事者本人の最大の不安は「収入・生活資金」であり、次いで「自分の健康」、「家族の健康」であった。一方、ひきこもり当事者を抱える家族の最大の不安はひきこもり当事者本人と同様に「収入・生活資金」であり、次いで「家族の健康」、「自分の健康」であった。

また、ひきこもり当事者本人は「仕事」についても日常生活に不安を抱いている傾向がある。

総じてみると、ひきこもり当事者本人もその家族も日常生活において収入面や健康面の不安を抱えている。そして、ひきこもり当事者本人は「仕事」への不安も抱えていることから就労に向けたアドバイスなど仕事ができる環境の整備をすることで収入面への不安も徐々に解消できるものと思われる。

②必要と思われるもの（16 頁、43 頁）

ひきこもり当事者本人が必要と思われるものについて、「短時間でも働ける職場」が最も多い回答であり、次いで「自分に合った仕事を探すこと」であった。一方、ひきこもり当事者を抱える家族が必要と思われることについて、「自分に合った仕事を探すこと」が最も多い回答であり、次いで「短時間でも働ける職場」であった。

総じてみると、ひきこもり当事者本人もその家族もほぼ同様の考え方で、「仕事」をすることが必要と思っていることが分かった。前述、日常生活の不安の考え方と同様に就労に向けたアドバイスなど仕事ができる環境の整備が改めて必要と思われる。

③相談相手（19 頁、46 頁）

ひきこもり当事者本人は「配偶者・パートナー」が最も多い回答であり、次いで「親」であった。一方ひきこもり当事者を抱える家族は「配偶者・パートナー」が最も多い回答であり、「友人・知人」であった。

また、ひきこもり当事者本人は「相談する人はいない」が3番目に多い回答であった。

総じてみると、ひきこもり当事者本人もその家族も「配偶者・パートナー」など相談相手がいる一方でひきこもり当事者本人が「相談する相手がいらない」という回答も一定数みられたことから、誰にも相談できず一人で苦しんでいる状況もあるのではないかと予想される。

④専門機関等への相談状況（22 頁、49 頁）

ひきこもり当事者本人は「相談したことはない」が最も多い回答であり、次いで「相談したことがあり現在も相談している」であった。一方ひきこもり当事者を抱える家族は「相談したことがあり現在も相談している」が最も多い回答であり、次いで「相談したことはない」であった。

総じてみると、ひきこもり当事者を抱える家族は専門機関等へ相談している傾向にあり、ひきこもり当事者本人も専門機関等へ相談はしている一方で「相談したことはない」という回答が最も多いことから前述同様、誰にも相談できず一人で苦しんでいる状況もあるのではないかと予想される。

6 調査結果を踏まえた考察

①ひきこもり当事者（500世帯）において最も多かった主な回答内容

総じてみると、男性で50歳代、ひきこもり期間は10年以上でひきこもるきっかけは「職場でのトラブル」が最も多い回答だった。また、その他のひきこもるきっかけは、就職活動がうまくいかずそのまま10年以上の月日が流れてしまったという回答もあった。

質問内容	回答内容	参照頁
性別	男性	64頁
年齢	50代	64頁
ひきこもり交流の状況について	家族とは交流するが、家族以外の人とは交流がない	65頁
外出の状況について	日常生活に必要なことのみ	65頁
ひきこもり状態の期間	10年以上	66頁
ひきこもり状態になるきっかけ	職場でのトラブル(「その他」を除く)	66頁
必要と思われること	自分に合った仕事を探すこと	67頁
サポートやアドバイスの条件	医師や心理学の専門家がいること	68頁
相談したことがあるか	相談したことがあり、現在も相談している	68頁
参加している活動について	文化活動(「特にない」「分からない」を除く)	69頁
活動していない理由	興味がないから	69頁
活動を始めるきっかけ	インターネットの検索サイトやSNS等による情報提供	70頁

②まとめとして

本調査のアンケート内容を総じてみると、ひきこもりになるきっかけは2つのパターンが多くみられた。1つは中学、高校など学生時代に不登校となり、10歳代のうちからひきこもりそのまま成人したパターンである。もう1つは、学校を卒業して働き始めたものの、職場でのトラブル等で退職してひきこもり状態になってしまうパターンで本調査の最も多かった回答である。

ひきこもり当事者への支援について考えた時、多くのひきこもり当事者は「収入・生活資金」に不安を抱き、「自分に合った仕事を探すこと」を必要に思っていることから専門機関等からの的確なアドバイスが必要と思われる。

本調査において、秋田県と横手市が設置・運営するひきこもりに関する相談機関を知らなかったという回答者が一定数見られた。

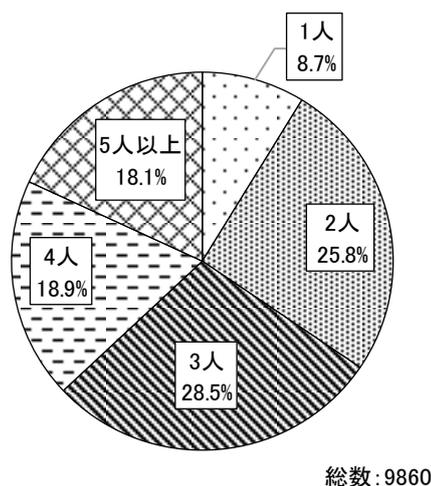
社会問題となっているひきこもりについて、ひきこもり当事者やその家族の方が相談できずに悩まれているケースも考えられ、気軽に相談できる専門機関の周知が重要である。

第3章 資料編

1 アンケート調査全体の回答内容

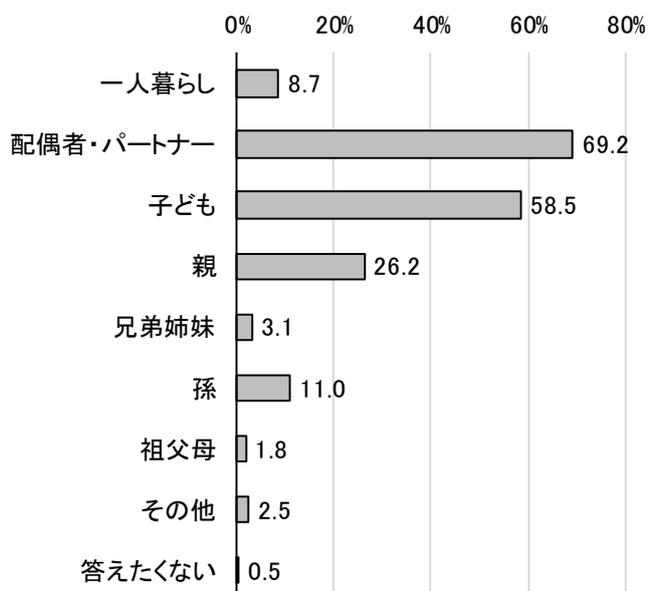
問1 あなたは現在何人で暮らしていますか

No.	カテゴリ一名	回答数	割合(%)
1	1人	862	8.7
2	2人	2540	25.8
3	3人	2809	28.5
4	4人	1864	18.9
5	5人	913	9.3
6	6人	540	5.5
7	7人	243	2.5
8	8人	66	0.7
9	9人	19	0.2
10	10人	3	0.0
11	11人	1	0.0
	無回答	65	-
	回答者数	9860	100.0



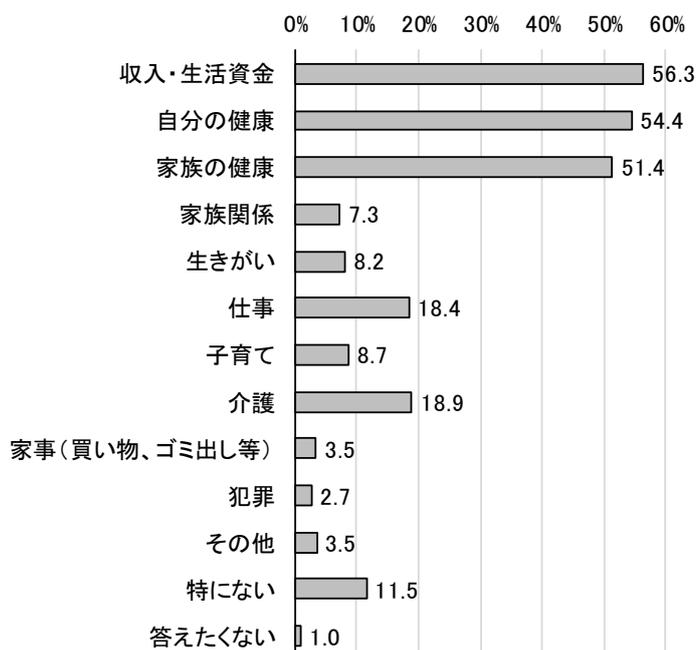
問2 あなたは現在どなたと暮らしていますか (複数回答可)

No.	カテゴリ一名	回答数	割合(%)
1	一人暮らし	862	8.7
2	配偶者・パートナー	6871	69.2
3	子ども	5806	58.5
4	親	2605	26.2
5	兄弟姉妹	312	3.1
6	孫	1089	11.0
7	祖父母	178	1.8
8	その他	249	2.5
9	答えたくない	48	0.5
	無回答	0	-
	回答者数	9925	-



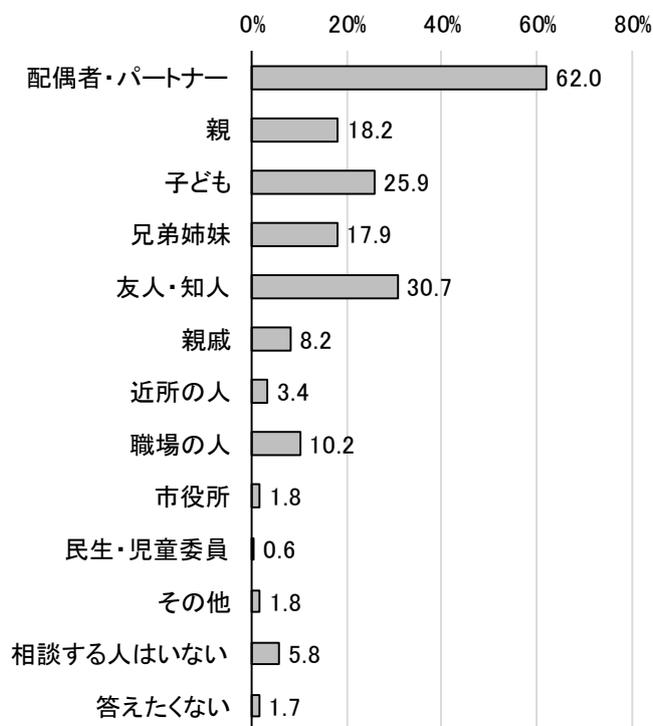
問3 あなたが日常生活において不安に思っていることは何ですか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	収入・生活資金	5584	56.3
2	自分の健康	5396	54.4
3	家族の健康	5097	51.4
4	家族関係	725	7.3
5	生きがい	811	8.2
6	仕事	1826	18.4
7	子育て	860	8.7
8	介護	1879	18.9
9	家事(買い物、ゴミ出し等)	343	3.5
10	犯罪	269	2.7
11	その他	347	3.5
12	特にない	1144	11.5
13	答えたくない	97	1.0
	無回答	0	-
	回答者数	9925	-



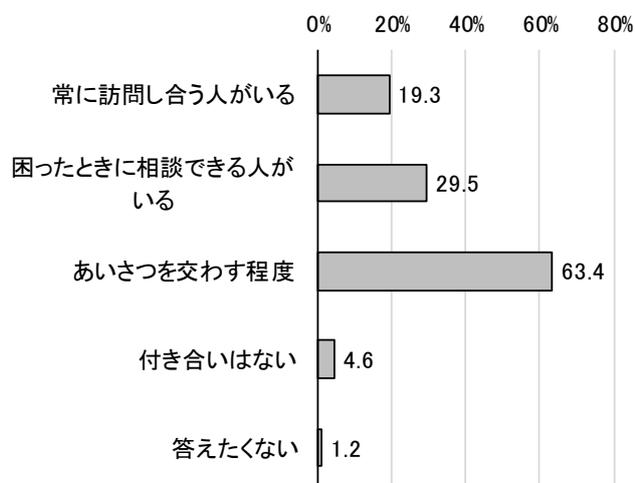
問4 あなたは日常生活の心配ごとや悩みごとの相談を誰にしますか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	配偶者・パートナー	6157	62.0
2	親	1810	18.2
3	子ども	2568	25.9
4	兄弟姉妹	1779	17.9
5	友人・知人	3044	30.7
6	親戚	815	8.2
7	近所の人	341	3.4
8	職場の人	1008	10.2
9	市役所	182	1.8
10	民生・児童委員	57	0.6
11	その他	180	1.8
12	相談する人はいない	578	5.8
13	答えたくない	164	1.7
	無回答	0	-
	回答者数	9925	-



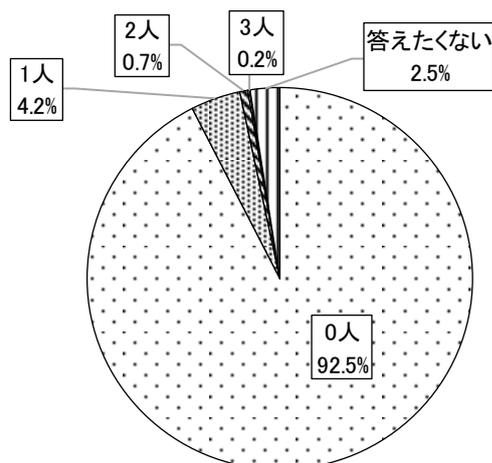
問5 あなたのご近所の方との付き合い方について、お聞きます（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	常に訪問し合う人がいる	1914	19.3
2	困ったときに相談できる人がいる	2931	29.5
3	あいさつを交わす程度	6290	63.4
4	付き合いはない	456	4.6
5	答えたくない	118	1.2
	無回答	0	-
	回答者数	9925	-



問6 あなたの世帯で「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方で、15歳（中学校卒業後）から64歳までの方は、現時点で何人いますか

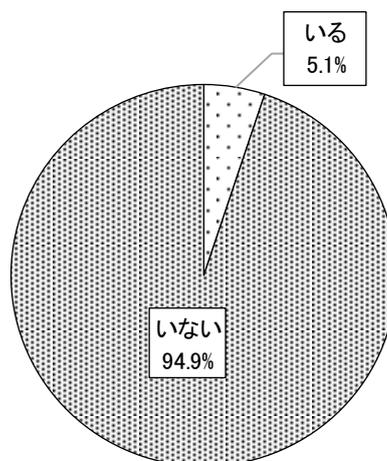
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	0人	9180	92.5
2	1人	414	4.2
3	2人	67	0.7
4	3人	15	0.2
5	4人	3	0.0
6	5人	1	0.0
7	6人以上	0	0.0
8	答えたくない	245	2.5
	無回答	0	-
	回答者数	9925	100.0



総数：9925

問7 あなたの世帯で「社会的参加を避け、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる 65歳以上の方はいますか

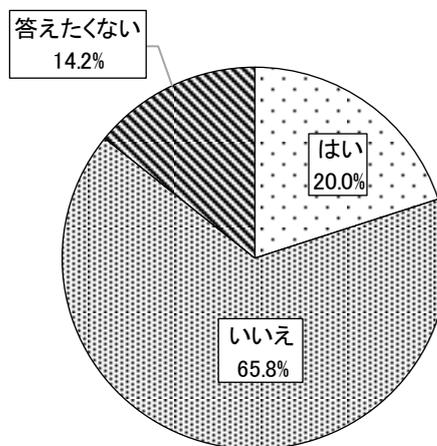
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	いる	508	5.1
2	いない	9417	94.9
	無回答	0	-
	回答者数	9925	100.0



総数: 9925

問8 この調査票に回答している方は、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方 (15歳〈中学校卒業後〉から64歳まで) ご本人ですか

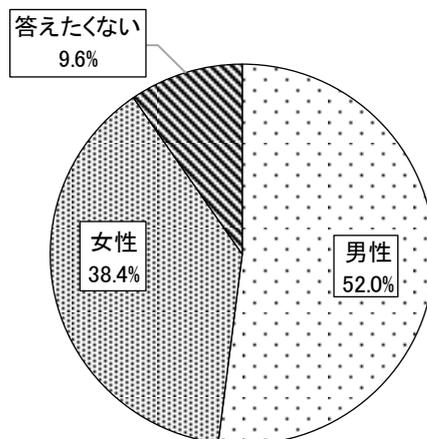
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	はい	100	20.0
2	いいえ	329	65.8
3	答えたくない	71	14.2
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	100.0



総数: 500

問9 その方の性別をお答えください

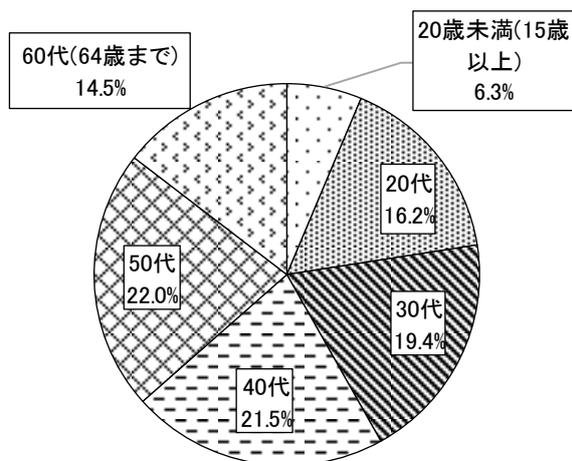
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	男性	260	52.0
2	女性	192	38.4
3	答えたくない	48	9.6
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	100.0



総数: 500

問10 その方の年齢をお答えください

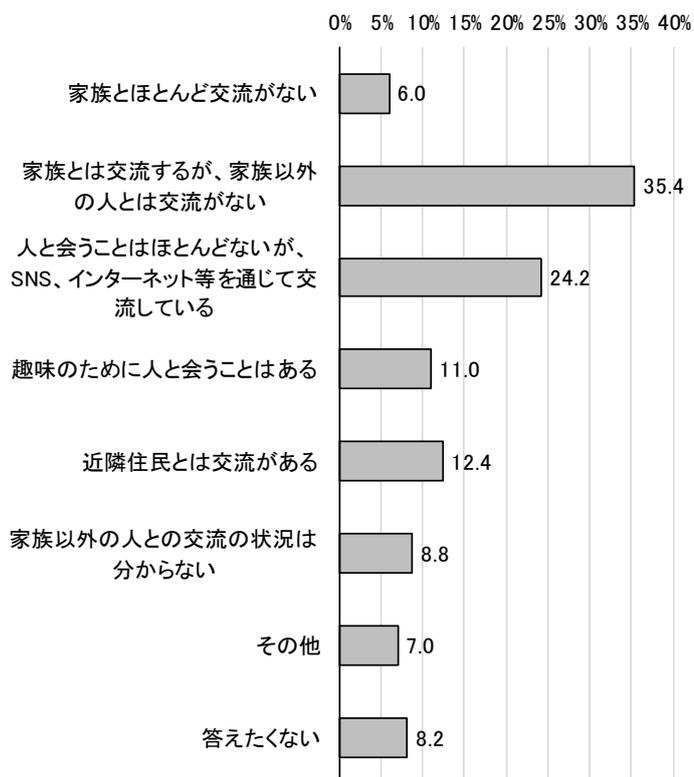
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	20歳未満(15歳以上)	26	6.3
2	20代	67	16.2
3	30代	80	19.4
4	40代	89	21.5
5	50代	91	22.0
6	60代(64歳まで)	60	14.5
	無回答	87	-
	非該当	9425	-
	回答者数	413	100.0



総数: 413

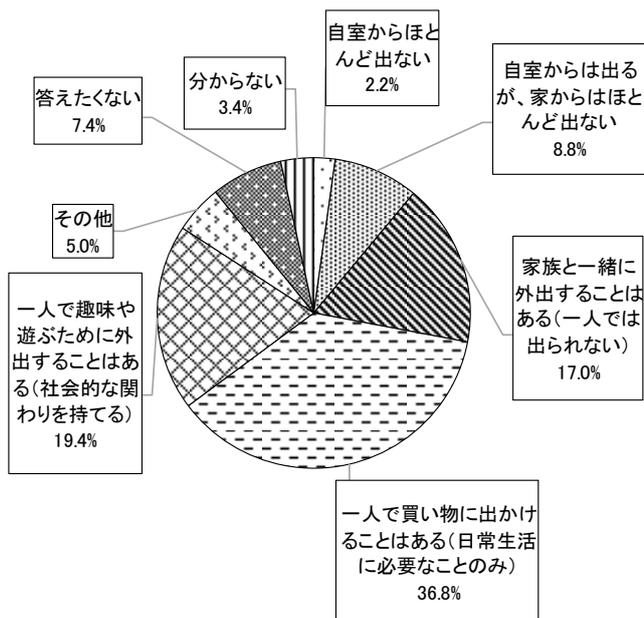
問 1 1 その方の交流の状況について、お答えください（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	家族とほとんど交流がない	30	6.0
2	家族とは交流するが、家族以外の人とは交流がない	177	35.4
3	人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて交流している	121	24.2
4	趣味のために人と会うことはある	55	11.0
5	近隣住民とは交流がある	62	12.4
6	家族以外の人との交流の状況は分からない	44	8.8
7	その他	35	7.0
8	答えたくない	41	8.2
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	-



問 1 2 その方の外出の状況について、お答えください

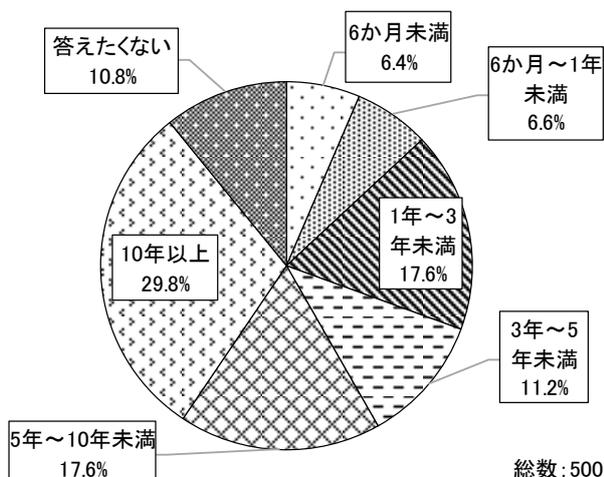
No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	自室からほとんど出ない	11	2.2
2	自室からは出るが、家からはほとんど出ない	44	8.8
3	家族と一緒に外出することはある(一人では出られない)	85	17.0
4	一人で買い物に出かけることはある(日常生活に必要なことのみ)	184	36.8
5	一人で趣味や遊ぶために外出することはある(社会的な関わりを持てる)	97	19.4
6	その他	25	5.0
7	答えたくない	37	7.4
8	分からない	17	3.4
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	100.0



総数: 500

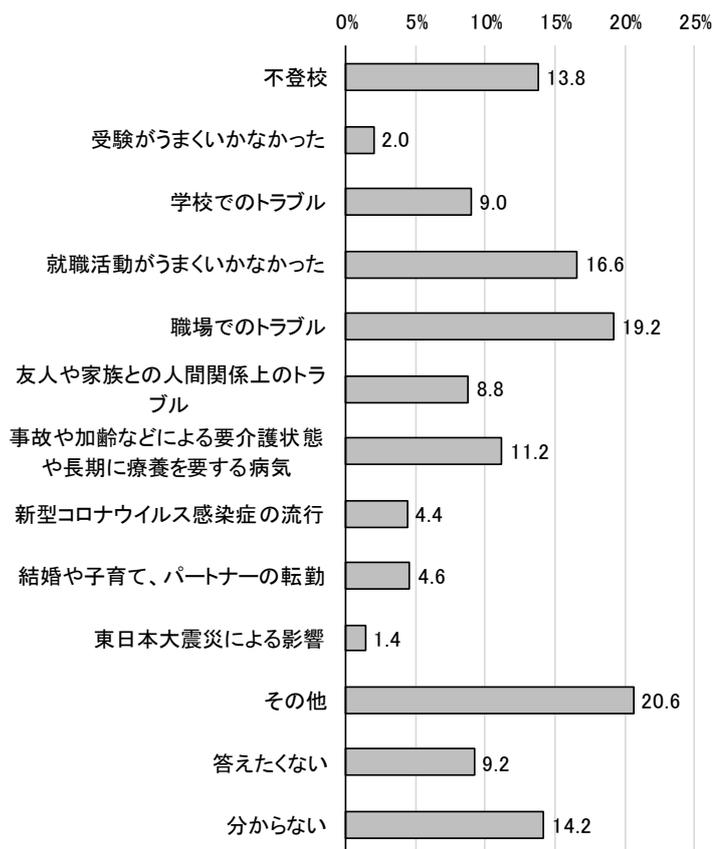
問 1 3 その方が現在の状況になって、どのくらいになりますか

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	6か月未満	32	6.4
2	6か月～1年未満	33	6.6
3	1年～3年未満	88	17.6
4	3年～5年未満	56	11.2
5	5年～10年未満	88	17.6
6	10年以上	149	29.8
7	答えたくない	54	10.8
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	100.0



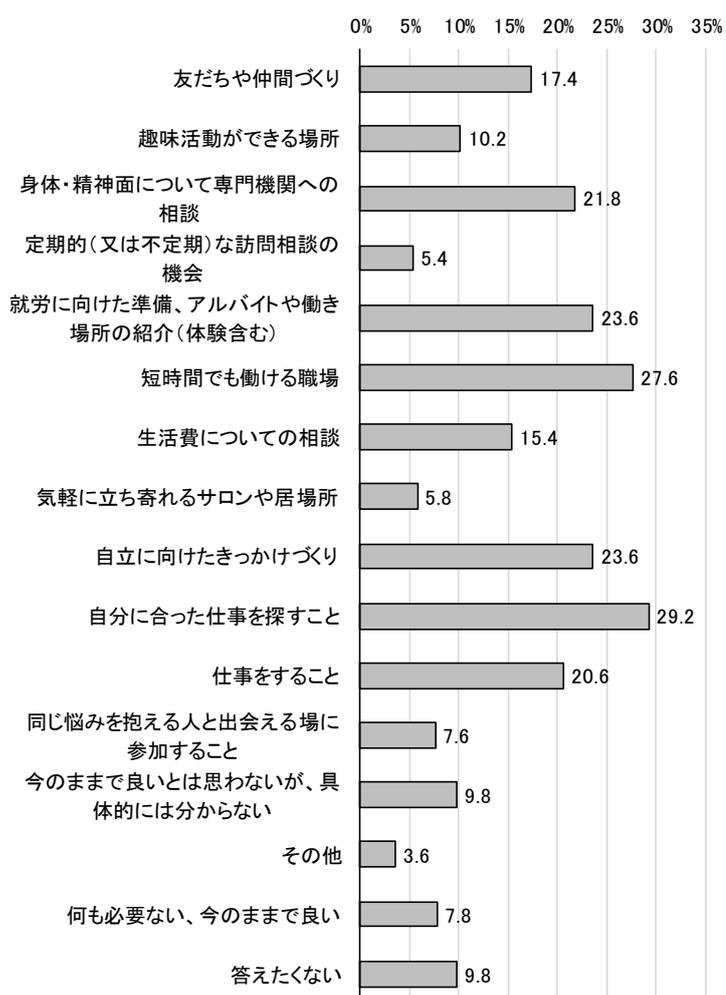
問 1 4 その方が現在の状況に至ったきっかけについてお答えください（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	不登校	69	13.8
2	受験がうまくいかなかった	10	2.0
3	学校でのトラブル	45	9.0
4	就職活動がうまくいかなかった	83	16.6
5	職場でのトラブル	96	19.2
6	友人や家族との人間関係上のトラブル	44	8.8
7	事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気	56	11.2
8	新型コロナウイルス感染症の流行	22	4.4
9	結婚や子育て、パートナーの転勤	23	4.6
10	東日本大震災による影響	7	1.4
11	その他	103	20.6
12	答えたくない	46	9.2
13	分からない	71	14.2
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	-



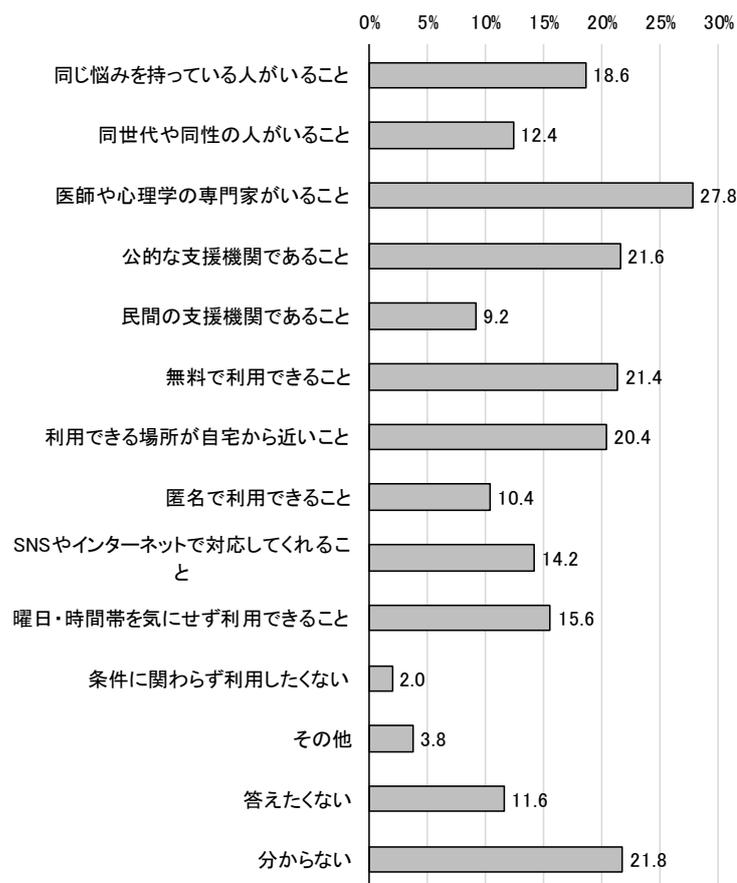
問15 その方にとって、これから必要と思われることはありますか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	友だちや仲間づくり	87	17.4
2	趣味活動ができる場所	51	10.2
3	身体・精神面について専門機関への相談	109	21.8
4	定期的(又は不定期)な訪問相談の機会	27	5.4
5	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介(体験含む)	118	23.6
6	短時間でも働ける職場	138	27.6
7	生活費についての相談	77	15.4
8	気軽に立ち寄れるサロンや居場所	29	5.8
9	自立に向けたきっかけづくり	118	23.6
10	自分に合った仕事を探すこと	146	29.2
11	仕事をする事	103	20.6
12	同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること	38	7.6
13	今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない	49	9.8
14	その他	18	3.6
15	何も必要ない、今のままで良い	39	7.8
16	答えたくない	49	9.8
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	-



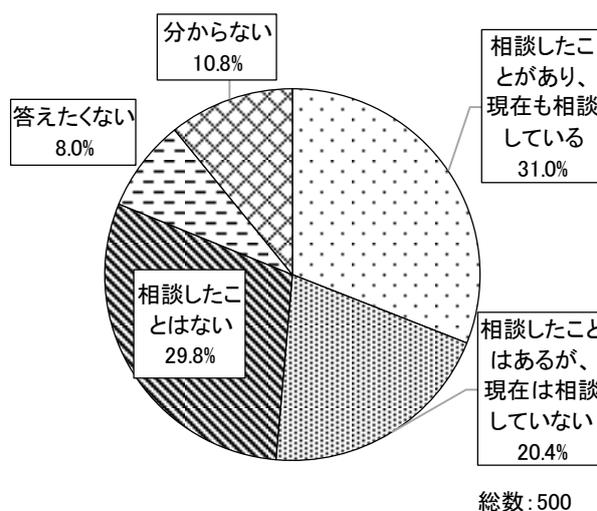
問16 その方が上記のようなことについてサポートやアドバイスを受けるとしたら、どのような条件があれば利用しやすいと思いますか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	同じ悩みを持っている人がいること	93	18.6
2	同世代や同性の人がいること	62	12.4
3	医師や心理学の専門家がいること	139	27.8
4	公的な支援機関であること	108	21.6
5	民間の支援機関であること	46	9.2
6	無料で利用できること	107	21.4
7	利用できる場所が自宅から近いこと	102	20.4
8	匿名で利用できること	52	10.4
9	SNSやインターネットで対応してくれること	71	14.2
10	曜日・時間帯を気にせず利用できること	78	15.6
11	条件に関わらず利用したくない	10	2.0
12	その他	19	3.8
13	答えたくない	58	11.6
14	分からない	109	21.8
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	-



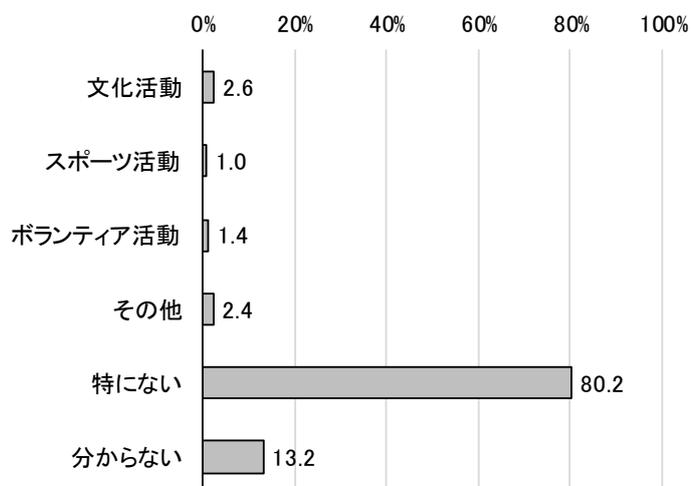
問17 その方は専門機関や医療機関などに相談したことはありますか

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	相談したことがあり、現在も相談している	155	31.0
2	相談したことはあるが、現在は相談していない	102	20.4
3	相談したことはない	149	29.8
4	答えたくない	40	8.0
5	分からない	54	10.8
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	100.0



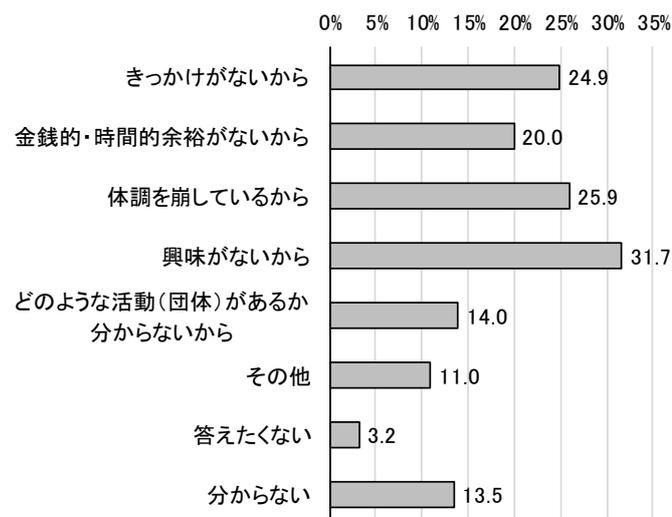
問 1 8 その方が参加している活動はありますか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	文化活動	13	2.6
2	スポーツ活動	5	1.0
3	ボランティア活動	7	1.4
4	その他	12	2.4
5	特にない	401	80.2
6	分からない	66	13.2
	無回答	0	-
	非該当	9425	-
	回答者数	500	-



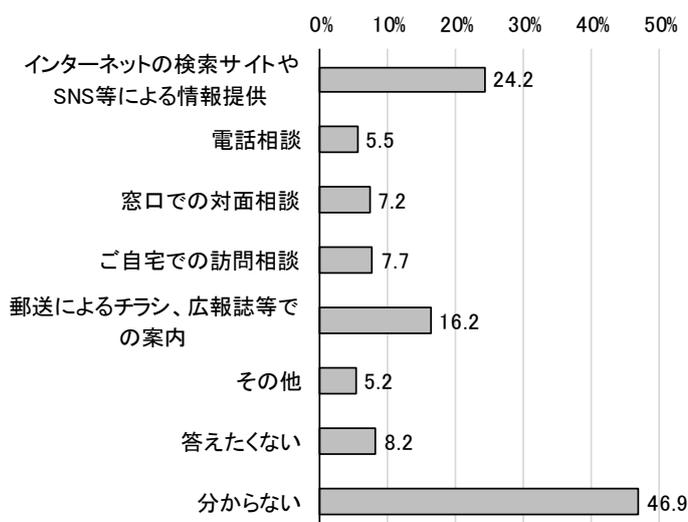
問 1 9 ①その方が現時点で文化活動などの活動をされていない理由は何ですか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	きっかけがないから	100	24.9
2	金銭的・時間的余裕がないから	80	20.0
3	体調を崩しているから	104	25.9
4	興味がないから	127	31.7
5	どのような活動(団体)があるか分からないから	56	14.0
6	その他	44	11.0
7	答えたくない	13	3.2
8	分からない	54	13.5
	無回答	0	-
	非該当	9524	-
	回答者数	401	-



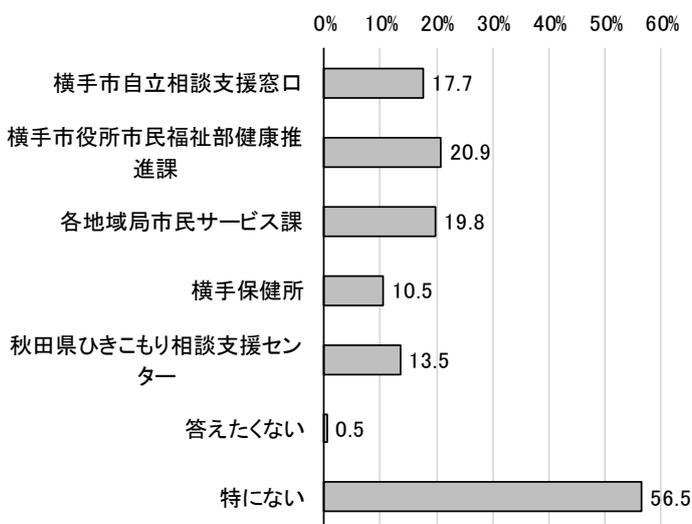
問19② その方が文化活動などの活動を始めきっかけになりそうな方法は何ですか（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	インターネットの検索サイトやSNS等による情報提供	97	24.2
2	電話相談	22	5.5
3	窓口での対面相談	29	7.2
4	ご自宅での訪問相談	31	7.7
5	郵送によるチラシ、広報誌等での案内	65	16.2
6	その他	21	5.2
7	答えたくない	33	8.2
8	分からない	188	46.9
	無回答	0	-
	非該当	9524	-
	回答者数	401	-



問20 秋田県と横手市が設置・運営する窓口のうち、ひきこもりに関する相談ができることを知っているものについてお答えください（複数回答可）

No.	カテゴリー名	回答数	割合(%)
1	横手市自立相談支援窓口	1752	17.7
2	横手市役所市民福祉部健康推進課	2072	20.9
3	各地域局市民サービス課	1961	19.8
4	横手保健所	1045	10.5
5	秋田県ひきこもり相談支援センター	1338	13.5
6	答えたくない	53	0.5
7	特にない	5605	56.5
	無回答	0	-
	回答者数	9925	-



2 本報告書に関する留意点(結果報告書を見る上での留意点)

- 集計対象者の総数は実数もしくは「n」と表示し、「n」は調査項目によって異なる場合がある。また、総数「n」は各属性区分における無回答者を含むため、各属性区分の「n」の合計とは一致しないことがある。
- 各項目の集計対象者数に対する比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、各項目の比率の合計は100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問での回答比率は、各設問の集計対象者数を基数として算出するため、すべての項目の比率を合計すると100%を超える。
- 本文中において、調査票の設問及び選択肢の語句を短縮・簡略化している場合がある。

3 調査票

アンケートのご依頼

令和6年2月

横手市の皆様へ

横手市まると福祉課

市民の生活状況に関する調査 ～社会参加に問題を抱える方への支援に向けて～

このアンケート調査は、横手市の15歳から64歳の方が属する全ての世帯を対象としたアンケート調査です。調査の目的は社会参加に問題を抱える方やそのご家族に寄り添い、安心してご利用いただける支援を行うための基礎資料を得るために実施するものです。ぜひ皆様のご協力を頂きますようお願いいたします。なお調査の基準日は令和6年2月1日現在としています。

● アンケート調査の回答方法

下記2つの方法のうち、いずれかをお選びいただきご回答をお願いいたします。

1 用紙から

同封しているアンケート用紙にご記入の上、同じく同封の返信用封筒に入れ、2月26日(月)までに投函ください。

2 WEBから(PCもしくはスマートフォンのいずれか)

■PC(パソコン) <https://form.fir.co.jp/yokote/>

上記のURLにアクセスいただき、同封しているアンケート用紙の右上にアルファベット小文字1文字+5桁の数字で記載されている

「WEB回答用ID」を入力の上、ご回答ください。

■スマートフォンから

右記QRコードを読み取り後、PC(パソコン)と同様の手順でご回答ください。



アンケート用紙

令和5年度 市民の生活状況に関する調査(横手市)
～社会参加に問題を抱える方への支援に向けて～

■ご回答される際は、ご家族のみなさんでも構いません。
■回答方法は、アンケート用紙(本紙)、またはWEB(PCもしくはスマートフォン)の2種類からお選びいただけます(詳しくは同封の「アンケートのご依頼」を参照ください)。
■アンケート用紙(本紙)で回答される場合は、
・同封の「アンケートのご依頼」の裏面にある個人情報取扱いについてお読みいただき同意ください。
・同意いただける場合は【1】の上にある必須チェックボックスに**必ず印**を入れてください。
・回答は、黒のボールペンまたはボールペンをご使用になり、あてはまる番号に「○」を付けてください。
・回答後は、同封の返信用封筒(封筒不要)にてお早目に投函ください。

必須チェックボックス 個人情報の取り扱いについて同意します

問1 あなたは現在何人で暮らしていますか
()人

問2 あなたは現在どなたと暮らしていますか(複数回答可)

1. 一人暮らし	2. 配偶者・パートナー	3. 子ども
4. 親	5. 兄弟姉妹	6. 孫
7. 親父母	8. その他()	9. 答えたくない

問3 あなたが日常生活において不安に思っていることは何ですか(複数回答可)

1. 収入・生活資金	2. 自分の健康	3. 家族の健康	4. 家族関係
5. 生きがい	6. 仕事	7. 子育て	8. 介護
9. 家事(買い物、ゴミ出し等)	10. 移動		
11. その他()	12. 答えたくない		

WEB回答用ID a12345

WEBで回答される方は2月29日(木)まで回答を入力してください

● アンケートについてのお問い合わせ

横手市まると福祉課 地域福祉係 「市民の生活状況に関する調査」調査担当まで

電話：0182-23-5881

FAX：0182-33-7838

Eメール：marugoto@city.yokote.lg.jp

令和5年度 市民の生活状況に関する調査（横手市） ～社会参加に問題を抱える方への支援に向けて～

- ご回答される方は、ご家族のどなたでも構いません。
- 回答方法は、アンケート用紙（本紙）、またはWEB（PCもしくはスマートフォン）の2種類からお選びいただけます（詳しくは同封の「アンケートのご依頼」を参照ください）。
- アンケート用紙（本紙）で回答される場合は、
 - ・同封の「アンケートのご依頼」の裏面にある個人情報の取扱いについてお読みいただき同意ください。
 - ・同意いただける場合は問1の上にある必須チェックボックスに**必ず**を入れてください。
 - ・黒の鉛筆又はボールペンをご使用になり、あてはまる番号に「○」を付ける又は()内に直接記入してご回答ください。
 - ・回答後は、同封の返信用封筒（切手不要）にてお早目に投函ください。（投函期限：2月26日）

必須チェック
ボックス

個人情報の取扱いに同意します

問1 あなたは現在何人で暮らしていますか

() 人

問2 あなたは現在どなたと暮らしていますか（複数回答可）

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| 1. 一人暮らし | 2. 配偶者・パートナー | 3. 子ども |
| 4. 親 | 5. 兄弟姉妹 | 6. 孫 |
| 7. 祖父母 | 8. その他 () | 9. 答えたくない |

問3 あなたが日常生活において不安に思っていることは何ですか（複数回答可）

- | | | | |
|------------------|------------|----------|---------|
| 1. 収入・生活資金 | 2. 自分の健康 | 3. 家族の健康 | 4. 家族関係 |
| 5. 生きがい | 6. 仕事 | 7. 子育て | 8. 介護 |
| 9. 家事（買い物、ゴミ出し等） | 10. 犯罪 | | |
| 11. その他 () | 12. 答えたくない | | |

問4 あなたは日常生活の心配ごとや悩みごとの相談を誰にしますか（複数回答可）

- | | | | |
|--------------|---------------|------------|---------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 親 | 3. 子ども | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 友人・知人 | 6. 親戚 | 7. 近所の人 | 8. 職場の人 |
| 9. 市役所 | 10. 民生・児童委員 | 11. その他 | |
| () | 12. 相談する人はいない | 13. 答えたくない | |

問5 あなたのご近所の方との付き合い方について、お聞きします（複数回答可）

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 常に訪問し合う人がいる | 2. 困ったときに相談できる人がいる |
| 3. あいさつを交わす程度 | 4. 付き合いはない |
| 5. 答えたくない | |

問6 あなたの世帯で「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方で、15歳（中学校卒業後）から64歳までの方は、現時点で何人いますか

1. 0人	2. 1人	3. 2人	4. 3人
5. 4人	6. 5人	7. 6人以上	8. 答えたくない

問7 あなたの世帯で「社会的参加を避け、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる 65歳以上の方はいますか

1. いる	2. いない
-------	--------

問8から問19は、問6で「1人」から「6人以上」までのいずれかと回答した方にお伺いします
問6で「0人」または「答えたくない」と回答した方は、**問20**へお進みください

問8 この調査票に回答している方は、「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方（15歳〈中学校卒業後〉から64歳まで）ご本人ですか

1. はい	「はい」と回答した方は、問9から問19は、 <u>ご自身のことについて</u> お答えください。
2. いいえ	「いいえ」「答えたくない」と回答した方は、問9から問19は、 <u>「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にある方（15歳〈中学校卒業後〉から64歳まで）</u> のことについて、お分かりになる範囲でお答えください。
3. 答えたくない	その状態にある方が <u>2人以上の場合</u> は、そのうちのお一人のことについてお答えください。

問9 その方の性別をお答えください

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問10 その方の年齢をお答えください

() 歳	令和6年2月1日時点での年齢をお答えください。 答えにくい場合には、無理にお答えいただかなくても構いません。
-------	---

問11 その方の交流の状況について、お答えください（複数回答可）

1. 家族とほとんど交流がない	2. 家族とは交流するが、家族以外の人とは交流がない
3. 人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて交流している	
4. 趣味のために人と会うことはある	5. 近隣住民とは交流がある
6. 家族以外の人との交流の状況は分からない	7. その他 ()
8. 答えたくない	

問12 その方の外出の状況について、お答えください

1. 自室からほとんど出ない	2. 自室からは出るが、家からはほとんど出ない	
3. 家族と一緒に外出することはある（一人では出られない）		
4. 一人で買い物に出かけることはある（日常生活に必要なことのみ）		
5. 一人で趣味や遊ぶために外出することはある（社会的な関わりを持てる）		
6. その他 ()	7. 答えたくない	8. 分からない

問13 その方が現在の状況になって、どのくらいになりますか

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月～1年未満 | 3. 1年～3年未満 |
| 4. 3年～5年未満 | 5. 5年～10年未満 | 6. 10年以上 |
| 7. 答えたくない | | |

問14 その方が現在の状況に至ったきっかけについてお答えください（複数回答可）

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 不登校 | 2. 受験がうまくいかなかった |
| 3. 学校でのトラブル | 4. 就職活動がうまくいかなかった |
| 5. 職場でのトラブル | 6. 友人や家族との人間関係上のトラブル |
| 7. 事故や加齢などによる要介護状態や長期に療養を要する病気 | |
| 8. 新型コロナウイルス感染症の流行 | 9. 結婚や子育て、パートナーの転勤 |
| 10. 東日本大震災による影響 | 11. その他 |
| () | |
| 12. 答えたくない | 13. 分からない |

問15 その方にとって、これから必要と思われることはありますか（複数回答可）

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 友だちや仲間づくり | 2. 趣味活動ができる場所 |
| 3. 身体・精神面について専門機関への相談 | 4. 定期的（又は不定期）な訪問相談の機会 |
| 5. 就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介（体験含む） | |
| 6. 短時間でも働ける職場 | 7. 生活費についての相談 |
| 8. 気軽に立ち寄れるサロンや居場所 | 9. 自立に向けたきっかけづくり |
| 10. 自分に合った仕事を探すこと | 11. 仕事をする事 |
| 12. 同じ悩みを抱える人と出会える場に参加すること | |
| 13. 今までで良いとは思わないが、具体的には分からない | |
| 14. その他（) | 15. 何も必要ない、今のままで良い |
| 16. 答えたくない | |

問16 その方が上記のようなことについてサポートやアドバイスを受けるとしたら、どのような条件があれば利用しやすいと思いますか（複数回答可）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 同じ悩みを持っている人がいること | 2. 同世代や同性の人がいること |
| 3. 医師や心理学の専門家がいること | 4. 公的な支援機関であること |
| 5. 民間の支援機関であること | 6. 無料で利用できること |
| 7. 利用できる場所が自宅から近いこと | 8. 匿名で利用できること |
| 9. SNSやインターネットで対応してくれること | 10. 曜日・時間帯を気にせず利用できること |
| 11. 条件に関わらず利用したくない | 12. その（) |
| 13. 答えたくない | 14. 分からない |

問17 その方は専門機関や医療機関などに相談したことはありますか

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 相談したことがあり、現在も相談している | 2. 相談したことはあるが、現在は相談していない |
| 3. 相談したことはない | 4. 答えたくない |
| 5. 分からない | |

～ひきこもりの悩み 抱えていませんか～

あなたや家族が抱えているさまざまな不安や困りごとを、どこに相談すればよいのかわからず、相談できないままになっていませんか。あなたの身近にも問題を相談できる窓口があります。まずは、相談しやすい窓口へお気軽にご相談をしてみませんか。

ひきこもり

ってどこに相談するの？



横手市にはひきこもり相談窓口があります。

お困りの方はぜひご相談ください。

横手市役所

市民福祉部 まるごと福祉課 地域福祉係

〒013-8601 秋田県横手市中央町8番2号（本庁舎4階）

電話：0182-23-5881 ファクス：0182-32-9709



相談窓口一覧